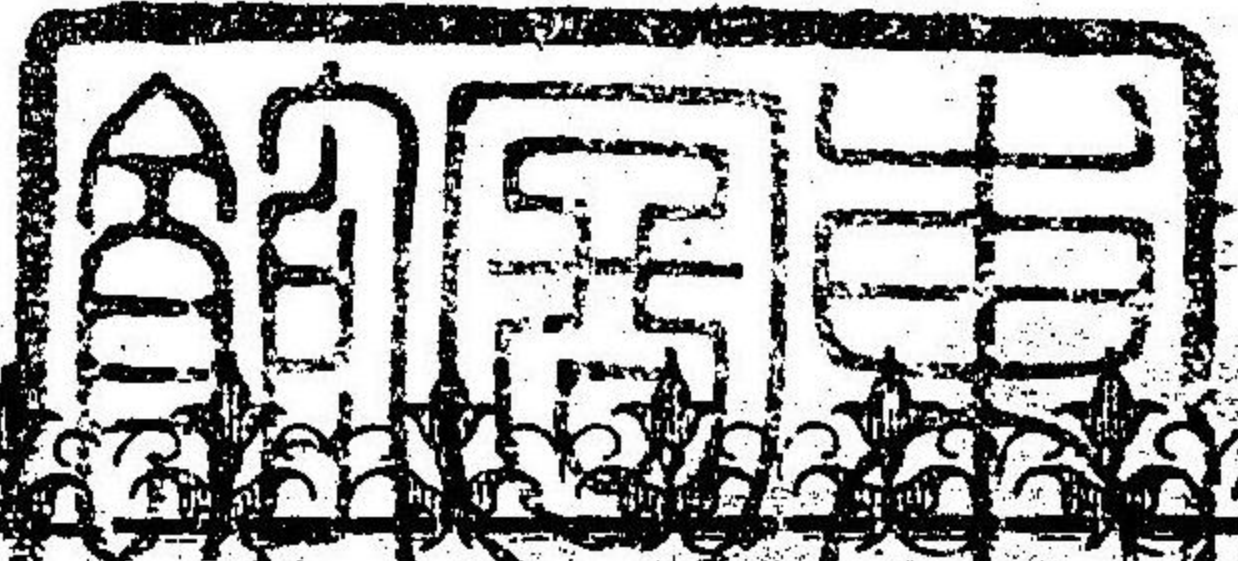


No. 5193



商法講義

第七册

舊太政官商法編纂局御反譯
佛國巴里法律大學教師法律博士ボワステール先生著
檢事法律學士福原直道先生
外務省參事官法律學士杉村虎一先生
檢事法律學士立木頼三先生
合譯



內閣法制局參事官商法編纂委員

長森敬斐君

內閣法制局參事官法律學士商法編纂委員

岸本辰雄君

校閱



此目錄ハ假
リニ添ユル
モノナルヲ
以テ卷尾ニ
總目錄ヲ附
スルコトス
ヘシ

氏 暮
商法講義第七冊目次

第十卷、保險ノ事第千三百六號乃至第千三百八號

第一章、保險契約其法式其目的物ノ事第千三百九號乃至第千三百六十一號

第一節 保險契約ノ法式ノ事第千三百十號乃至第千三百十五號

第二節 保險契約ノ成立ノ條件ノ事第千三百十六號乃至第千三百六十一號

第一項 人ヲ示ス事第千三百十八號乃至第千三百二十三號

第二項、保險ノ物件第千三百二十四號乃至第千三百四十二號

第一、保險物件ノ如何ナル物ナルカヲ定ムル(第千三百二十四號乃至第千三百三十四號)

(壹)、船体保險(第千三百二十五號乃至第千三百二十七號)

(貳)、商品即チ積荷ノ保險(第千三百二十八號乃至第千三百三十一號)

(參)、船体保險及積荷保險ニ普通ノ注意(第千三百三十二號乃至第千三百三十四號)

第二、被保物件ノ評價(第千三百三十五號乃至第千三百三十七號)

第三、被保金高ノ事(第千三百三十八號)

第四、積荷ノ證據(第千三百三十九號)

第五、前ノ諸規定ノ制裁(第千三百四十號乃至第千三百四十二號)

第三項、危險ヲ確定スル事(第千三百四十三號乃至第千三百五十五號)

第一、危險ノ場所タル海船ノ事(第千三百四十四號乃至第千三百四十五號)

第二、航海及ヒ其條件ノ事(第千三百四十六號乃至第千三百四十八號)

第三、危險ノ時間(第千三百四十九號乃至第千三百五十一號)

第四、法律ノ制裁(第千三百五十一號乃至第千三百五十五號)

第四項、保險料第千三百五十六號乃至第千三百五十九號、
第五項、再保險契約並保險料ヲ保險スル契約(第千三百六

十號乃至第千三百六十一號)

第二章、保險人及ヒ被保險人ノ義務ノ事(第千三百六十二號乃
至第千三百九十號)

第一節、保險契約ノ解除ノ原因(第千三百六十二乃至第千三
百六十八號)

第一、結約者ノ家資分散ニ因テ、解除(第千三百六十三號
乃至第千三百六十四號)

第二、被保險人ノ存意ニ從テ解除(第千三百六十五號乃至
第千三百六十六號)

第三、危險ノ變更ニ依テ、解除(第千三百六十七號乃至第

千三百六十八號)

第二節、被保險人ノ義務(第千三百六十九號乃至第千三百七
十號)

第三節、保險人ノ義務(第千三百七十一號乃至第千三百九十
號)

第一款、保險人ノ負擔ス可キ海上損失(第千三百七十二號
乃至第千三百八十號)

第二款、海上損失ノ算定ノ事(第千三百八十一號乃至第千
三百九十號)

第一、費用海上損失(第千三百八十二號)

第二、船ニ於ル特別ノ海上損失(第千三百八十三號乃至
第千三百八十四號)

第三、荷物ニ於ル特別海上損失(第千三百八十五號乃至第千三百九十號)

第三章、委棄ノ事(第千三百九十一號乃至第千四百二十二號)

第一節、委棄ノ出來得ヘキ場合(第千三百九十四號乃至第千四百八號)

第二節、委棄ヲ爲スニ付被保險人ノ履行スヘキ條件(第千四百九號乃至第千四百十四號)

第三節、委棄ノ効果(第千四百十五號乃至第千四百二十二號)

第九卷 運送契約ノ事(第千四百二十三號乃至第千四百二十七號)

第一章 運送契約ノ式則ノ事(第千四百二十八號乃至第千四百二十九號)

第二章、運送契約ノ要件(第千四百三十號乃至第千四百三十四號)

(一號)

第三章 運送契約貸主ノ權利(第千四百三十五號乃至第千四百四十號)

第一節 船ノ安着シタル時貸主ノ權利(第千四百三十五號乃至第千四百三十六號)

第二節、危難ニ遭遇シタル時貸主ノ權利(第千四百三十七號乃至第千四百三十八號)

第三節、運送契約貸主ノ權ト海上保險者ノ權ト共ニ生シタル場合(第千四百三十九號乃至第千四百四十號)

第十三卷 期滿得免ノ事(第千四百四十一號乃至第千四百四十五號)

第十四卷 訴テ拒ム事(第千四百四十六號乃至第千四百五十一號)

第四編 商事裁判所ノ事(第千四百五十二號)

第一卷 商事裁判所構成法(第千四百五十三號乃至第千四百六十四號)
四號)

第一章 商事裁判所建設ノ事(第千四百五十三號)

第二章 裁判官ヲ任命スル事(第千四百五十四號乃至第千四百六十號)

第三章 商事裁判所ノ附屬官吏(第千四百六十一號乃至第千四百六十三號)

第四章 商事裁判所ノ設ケナキ郡ニテ商業事件ヲ裁判スル方法(第千四百六十四號)

第二卷 商事裁判所ノ管轄(第千四百六十四號乃至第千四百七十一號)

第一章 商事裁判所ニテ管轄ス可キ事件(第千四百六十六號乃至第千四百六十九號)

第二章 商事裁判所中ノ管轄(第千四百七十號)

第三章 初審及ヒ終審ニ付商事裁判所ノ管轄(第千四百七十一號)

第三卷 商事裁判所ニテ訴訟ヲ爲ス方法(第千四百七十二號乃至第千四百七十四號)

第四卷 控訴院ニ訴訟ヲ爲ス方法(第千四百七十五號)

第十卷 保險ノ事



(第千三百六號) 海上保險トハ、保險者ガ、被保者ヨリ、拂フ、保險料ト稱スル所ノ、代金ニ依リテ、被保者ニ對シ、被保者ノ有スル、物件カ、受ケ、又ハ、受ケ、ル、海上危險ヨリ、被保者ヲ、脱免シ、且、被保者ガ、此等ノ、物件ニ、損失ヲ、被保者ニ、償フ、ト、テ、約スル所ノ、契約ナリトス。

海上保險契約ノ成立スルニハ、左ノ諸要件ナカルベカラズ。○第一、被保物件ノ、確實ノ、危險ノ、海上保險ニ付テハ、特ニ、此等ノ、危險ニ付約セラレタル、償金は、是レ、此契約ノ、主トシ、且、此償金ノ、最高點トシテ、定メラレタル、金高ヲ、被保金高トシ、云フ。○第四、此安全ヲ買フ、メ、拂フ、代金は、是レハ、保險料ト稱ス。是レ、此四要件ナリ。○若シ、被保ノ、物件確實ノ、危險ヲ、受ケザルキハ、保險契約ノ、賭博ト、變性シ、テ、總テ、訴權ヲ、生セサルモノトス。約定シタル、償金ノ、高受ケ

タル損害ヨリ最高ナルキハ亦タ前ニ同シ(民法典第九百六十五條)夫レ右ノ場合ニハ保險契約ハ變シテ一方ノ契約者ニ就テハ全クノ利益ノ名義ニテ又他ノ一方ノ契約者ニ就テハ損失ノ名義ニテ或ル事變ノ到來スルト到來セザルトニ從フテ或ル金高ヲ拂フノ約束シタルニ過ギズ結約者ノ一方ヨリ保險料ヲ拂フト否トヲ論セス右契約ハ賭博ニアラサレハ富ミトナルナリ故ニ決シテ適法正當ノモノニアラザルナリ

(第千三百七號) 海上保險契約ノ沿革。

古昔、*コントラ、アラグ、ロース* 譯シテ運契約ハアリタレトモ保險契約ハ絶テアラサリシナリ但シ羅馬人民ノ間ニハ保險契約ニ類似ノ二三契約行ハレタリ尤モ此契約ハ他ノ契約ノ附從トシテナシタルモノニシテ海上ヨリ軍兵ニ食料ヲ供給スル者途中風波又ハ敵兵ノ爲メ其食料

ヲ失フタルキ國庫ヨリ之ヲ償フヲ約スル如キ是レ一例ナリ○保險契約ハ中世ノ項ニモアラヌシテ海上ノ法律ノ古書中此契約ノヲ記スルモノナシ其古書トハ「*コンシユラ、トラ、メール*」*ロール、ドレロン、ウイス* ヒーノ海上法律是レナリ稍ク第十五世紀ニ至テ法文中此契約ノヲ記スモノアリ第千四百三十五年ノ「*バルスロース*」ノ法令ノ如キ是レナリ此法令ニハ當時保險契約ハ通常行ハル、モノ、如クス第十五世紀ニ至テ「*ギドン、ド、ラ、メール*」ハ全ク海上法律ノミノヲ記セリ(第十三見ルベシ)○カトリック教寺ハ通常利子附ノ貸借ノ如ク運賃借契約ヲ高利貸借トナシ禁止シタリ此ニ於テ保險契約起リタルモノ、如シ「*グレゴワール*」第七「*ナウイカナン、ウエル、ナン、アド、ノン、デア*」第千二百二十七年ヨリ第千二百三十四年ノ間(夫レ右禁制ヲ種々ノ詐僞ノ方法ヲ以テ脱センコトヲ工夫シ遂ニ危險ノ爲メ金ヲ取拂フノ約束ヲ廢シ海

上危険ヲ受ケタルキハ償金ヲ拂フノ約束ヲナスコトヲ發明シタリ是レ
 貸借トハ全ク相異ニシテ一モ相似ルコトナキヲ以テ能ク禁制外ニ行レ
 又以テ海上危険ノ損失ヲ免カル、ノ利益ヲ保有シタリ保險ノ契約初
 メテ起リシナリ

千六百八十一年ノ王令ハ海上保險ノ爲メ一卷ヲ供シ其事ヲ規定シタ
 リ(第三編第六卷)而シテ其保險ノコトヲ定メタル一卷ハ外國ノ立法者ハ
 大ニ之ヲ稱賛シ且取りテ以テ自國ノ法トナシタリ「ウワレン」氏ハ其卷
 ナ説明シ且他ノ諸卷ヲモ説明シタリ「エメリゴン」及ヒ「ボチエー」ノ二氏
 ハ別ニ海上保險ノコトニ付書ヲ著シタリ此書ハ今日尙ホ商法典中保險
 ノコトノ最良ノ説明書ナリ〇千八百七年ノ商法典ハ大概王令ヲ全ク摸
 寫シタリ

(第千三百八號) 此二箇ノ法令ハ實ニ廣大ニシテ其制法者ハ此法令ヲ

以テ法律ヲ全國一樣ニナスニ足ルト思惟シタルナラシ然レモ海上保險
 ノコトニ付テハ其結果ヲ得タルコト實ニ少々ナリトス商法典ニ於テハ海
 上保險ノコトニ關スル諸件ヲ規定ス其規定ハ命令法ニ非スシテ結約者
 ノ契約ノナキキニ其代用ヲナス者ナリ是故ニ其規定アルニ關セス又
 其規定ニ反シテ人民ノ結約シテ常ニ行フ所ノ件々ハ商業ノ行ハル、
 各地ノ常行ノ慣習トナリテ同一ノ地方ノ保險者ノ間ニハ一樣ノ規律
 トナレリ然レモ各港ニ於テ其慣習法律實ニ相異ナルナリ斯クハ地方
 一様ノ慣習法ノ行ル、様ニナリタルコトハ海上保險契約ノ證書ノ書式
 ナ活版摺ニナシテ之ヲ用ヰルニ大ニ依ルモノトス夫レ各海上保險會
 社ハ其特別ノ活版ノ書式ヲ有ス其書式中故ラニ存シ置キタル空白ノ
 所ニ各契約ノ特定ノ條件及ヒ一般行ハル、約束ニ反スル條件ヲ書シ
 填スルナリ此等ノ書式ハ各社相競争スルト互ニ得意ヲ熱心ノ求メン

トスルトニ依リテ一地方ノ保險者ノ間ニハ一様ニナルノ傾キ呈シ其
 一地方ノ結約者ノ法律トナリタリ是レ保險者殊ニ被保者ニ於テハ大
 利益トナルナリ被保者ハ保險契約ヲナスニ總テノ各種ノ契約書ヲ一
 々取調ベ且其結果ヲ比較スルノ勞ヲ省クナリ何トナンハ其書式ヲ常
 ニ用ヰルヲ以テ其互ニ甲乙ナキコトヲ知リ得レハナリ是故ヲ以テ一
 地方ノ保險契約ノ證書ハ一書式ニ歸シ其地方固有ノ書式ヲ有スルナ
 リ然レモ一地方ニ限ルヲナルヲ以テ各地方ノ書式ヲ比較スルハ
 相似タル所モアレドモ又相異ナル所許多アリ夫レ斯ノ如クナルノ故
 ニ各港ニ固有ノ海上保險契約書アリ「ポルドー」ノ保險契約書「マルセイ
 ヲ」ノ保險契約書「ハーブル」ノ保險契約書其他「ナント」「ドレケルカ」「バイヨ
 ン」等ノ保險契約書ノ如キ是レナリ殊ニ又巴里ノ保險契約書アリ蓋
 シ巴里ニ於テハ交通ノ便開ケテヨリ資本流通滑カニシテ積荷主多ク

相集リ海上保險契約ヲ多クナスニ依ルナリ（ルモコエー君ハ余輩ノ屢
 々引用スル良書ニ於テ主

タル海上保險契約書ノ説明ヲ與ヘタリ其書
 二冊ニシテ巴里千八百四十三年ノ版ナリ
 斯ノ如ク慣習ノ區々ナルヲハ我カ立法ノ一般ノ精神ニ反シ且佛國固
 有ノ性質ノ傾斜ニ反スルモノニシテ亦大ナル弊害アリ其弊害トハ
 殊ニ危險ヲ區分スルノ慣習ト同一ノ保險契約ヲ許多ノ保險者ヲシテ
 ナサシムルトノ慣習是レナリ斯カルガ故ニ保險者ノ保險スル金高ハ
 誠ニ少量ナリトス佛國內地交通ノ繁ナルニ依リテ同一ノ海上保險契
 約ヲ數地方ノ保險者ヲナサシムルヲ多クアリ且其地方慣習ノ相異
 ナルヲ以テ同一ノ事ニ付テ甚々相異ナル數箇ノ地方法律ニ從ハサル
 ヲ得ス又假令ヒ同一ノ書式ヲ以テ各地方ノ保險者ト契約ヲナスモ其
 結約者ハ其書式ヲ慣知セサルヲ以テ其文意ノ區域ヲ理解セサルナリ
 是故ニ訴訟ノ起ルヲ多シ斯ク弊害不都合ノアルヲ世人ハ感悟シ有

識者ハ地方慣習ノ相異ナルノ弊ヲ匡正シ之ヲ一様ニナスヲ希望スルニ至リタリ

右希望ヲ達スル爲メ千八百六十五年ニ大會ヲ起スヲ企テタレモ其果ナカリキ其後千八百七十三年ニ一大會ヲ起シ保險料ヲ一様トスル爲メ保險者巴里ニ集合シ保險契約ノ諸條件ヲ一様スルノ必要タルヲ知ラシメタリ此會ニ於テ許多ノ日數ヲ費シテ有益ノ討議ヲナシタル後全國一様ノ二箇ノ書式即チ一ハ船体ノ保險契約ノ書式並ニ一ハ積荷ノ保險契約ノ書式ヲ確定スルヲコナリタリ一同ノ協議ヲ以テ此二ツノ書式ニ「ボリス、フランセ、トズ」譯シテ佛國海上保險契約書ノ名稱ヲ付與セリ船体ノ保險契約ノ書式ハ直ニ大概各地方ノ承諾スル所トナリ舊書式ヲ廢除シ千八百七十三年七月十五日ヨリ行ハル、トナリシモ「ハイブルト」セ「マロー」トノ保險者ハ之ヲ用サルヲ承諾セス

チ猶ホ舊ヲ墨守ス第二ノ書式ハ積荷主ノ數艤裝者ヨリ最モ許多ナルヲ以テ討議ヲ充分ニ盡サ、ルノ故ニ行ハレ難シ之ヲ實施スルハ巴里ト「ボルドー」ノ二府ナルノミ且其二府ニテモ遠路ノ航海ノミニ付テ用キルナリ數年ヲ出テスシテ一層進歩スルキハ佛蘭西全國ニ於テ佛國海上保險契約書ヲ用キルニ至ルハ論ヲ俟タサルヘシ「アルフレ」ト、ク「ルシ」君ハ右保險契約ノ書式ヲ作ルニ關係シタル人ニシテ一小冊子ヲ著ハシ其書式ヲ掲記シテ説明ヲ與ヘタリ其冊子ハ同君ノ他ノ著書ノ如ク實際ノヲ論シ誠ニ事理ヲ明カニス（巴里「ラヒット」町第四方「セ」氏）余輩ハ此書ヲ引用スルヲ多シトス

本卷ニ於テハ商法典ノ編纂區分ニ從フテ講述セン但シ小區分ヲナシ易ラシムル爲メ款ヲ章トナスヘシ故ニ余輩ハ左ノ如ク論述セントス
○第一ニハ保險契約ノ組成、○第二ニハ結約者雙方ノ義務、○第三ニハ

物件ノ拋棄是レナリ

十

第一章 保險契約其法式其目的物ノ事

(第千三百九號) 第三百三十二條ハ本章ノ講目ト看做スヲ得ルナリ

第三百三十二條 保險契約ハ書面ニ認ムヘシ其書面ニハ之ヲ記シタ

ル日ノ日附ヲ記スヘシ

其證面ニハ之ヲ記シタルヲ午前ナルカ又午後ナルヲ記スヘシ

其證面ハ私印ノ證書タルヲ得

其證面ニハ空白ヲ存スヘカラス

其證面ニハ左ノ件々ヲ記スヘシ

保險ヲナサシメタル者ノ氏名及ヒ住所所有者タルノ身分又ハ仲

買人タルノ身分

海船ノ名前及ヒ其叙記

船長ノ氏名

荷物ヲ積入レタル地又ハ積入ルヘキ地

海船ノ出帆シタル港又ハ出帆スヘキノ港

海船ノ積荷ヲナシ又ハ荷卸ヲナスベキノ港又ハ「ラード」(灣ニシテ

泊スヘキ所)

海船ノ立寄ルベキ場所

保險ヲナサシムル荷物又ハ物件ノ性質價額又ハ評價

危險ノ初リ又終ルベキ時

被保ノ金高

保險契約ノ保險料又ハ利益

争訴ノ場合ニハ結約者双方中裁人ノ判斷ニ從フヲ結約シタルトシ
ハ其契約書

及ヒ一般ニ結約者雙方ノ約定シタル其他ノ諸條件

余輩ハ右記載ノ件中保險契約ノ法式ニ屬スル諸條件ト其成立ニ屬スル諸條件トヲ區別シテ論ゼントス

第一款 保險契約ノ法式ノ事

(第千三百十號) 第三百三十二條ニ依ルキハ保險契約ハ之ヲ書面ニ認ムルコトヲ要ス此定規ハ已ニ王令中ニアリタリシモ其意義如何ニ付テハ議論區々ナリ即チ本條ノ書面ハ保險契約ノ成立ノ一要件トシテ(アドソラソクテーム)要スル乎又ハ單ニ證據ノ爲メ(アド、プロハシヨキーム)要スル乎是レ其議論ノ由テ起ル所トス諸家一般ノ說ハ其書面ハ單ニ保險契約ノ證據ノ爲メ要ストナセリ然レモ法律ノ書面ヲ要スルハ百五十「フゾンク」以下ナルキト雖モ又書付ノ證據ノ端緒アルキト雖モ證人ノ證據ヲ全ク禁止スルノ意ナル乎ノ問題ニ付猶ホ議論一ナラズ余輩

ノ說ニテハ此レト類似ノ問題ノ起リタルキ已ニ開陳シタル如ク第三百三十二條ハ商法典ノ特別法ニ例外ナシ(第百九條民法典ノ普通法ヲ適用シタルニ過キサレモノトス彼ノ商法典ノ特別法ニ依ルキハ證人ノ證據ハ一モ要件ヲ要セス何レノ場合ヲ問ハズ許サル、モノタレハ書面ノナキハ保險契約ヲナシタルコトヲ自白又ハ誓或ハ又百五十「フゾンク」以下ナルキハ證人又ハ書面ノ證據ノ端緒アルキハ證人ヲ以テ証スルコトヲ得ルナリ其理由ヲ述ベシ○夫レ法文ノ意義疑シキハ結約者ニ取リテ最大ノ自由ナル意義ニ解釋シ可成丈々例外ノ定規ノ區域ヲ廣メザルヲ要ス○王令ニ於テ右定規ニ付議論區々ナルニ商法典ノ編纂者其中最モ苛酷ナル說ヲ取リタルキハ其旨ヲ明記スベキナリ然ルニ之ヲナサハルナリ○理論上ノ理由ヲ捨テ又立法者ノ存意ヲ儘ニ知り得ザルキハ民法典ノ普通法ヲモ全ク取ラズ又商法典ノ特別

法ヲモ全ク適用セサル中立ノ説ヲ許スヲ能ハサルナリ
 (第千三百十一號) 保險契約ハ私印ノ證書ヲ以テナスヲ得(第三百三十二條第四項)余輩ノ已ニ許シタル規則ニ依ルキハ其契約ノ證據ノ付テハ民法典ノ總テノ定規ヲ適用セサルテ得ズ故ニ余輩ハ此規則ヲ遵守シ保險契約ヲ私印ノ證書ヲ以テナシタルキハ其證書ハ雙務ノ契約ノ場合ノ如ク結約者ノアル丈テ幾通ニモ作ラザルヲ得ストス(民法典第千三百二十五條)然レモ實際ニ於テハ此論ハ左程有益ナルヲ見ス何トナレバ商業ノ行ハル、地ニ在テハ保險料ハ正貨ヲ以テ直ニ計算セズ被保者ノ記作シタル切手ヲ以テ計算スルノ慣習ナレハナリ夫レ切手ヲ以テ計算チナスハ義務ノ辨償即チ拂ヒト同様ナリ是レ已ニ余輩ノ説キタル所コシテ保險契約ハ被保者ノ已ニ義務ヲ盡シタルヲ以テ片務ノ契約トナル故ニ第千三百二十五條ハ此ニハ適用セス若

クハ切手ヲ以テ計算スルハ拂ヒト同様ナリトノヲ此證據ノ問題ニ適用セザラシカ被保者ノ義務ハ其記シタル切手ニ依リテ全ク證明シレタルヲ以テ保險證書ハ保險者ノ義務ヲ證明スルノ用アルニ過キス故ニ其證書ハ片務ノ證書ナリトス

第三百三十二條第四項ノ反對觀ノ解釋法ニ依ルキハ保險契約ノ證書ハ公正證書ノ式ニ認ムルヲ得ルナリ是故ニ先ツ公證人コ依頼シテ其公正ノ通常ノ書式ニテ認ムルヲ得ヘシ

然レモ亦商業世話人ニ依頼ノ保險證書ヲ認ムルヲ得(第七十九條)而シテ商業世話人ノ方ハ公證人ヨリ其證書ヲ作ルト上手ナリトス余輩ハ第百九條ニ記ス所ノ「ボルドロー」(解在上)ノヲ説キタルキニ商業世話人ノ認タメタル證書ノ性質ヲ説明シタリ且余輩ノ考ニテハ法律ノ精神ヲ探究スルキハ其「ボルドロー」ノ中ニハ商業世話人ノ如キ公吏ヲ

ヒシエ、ビエプリックノ作りタル總テノ証書ヲ包含スルモノトス余輩
 ノ已コ論シタル如ク証書ハ公正ノ証書ナレドモ裁判ヲ仰ガズシテ自
 ラ執行ノ力ヲ有セズ又書入質入權ノ構成ヲ記ス可能ハズ又偽造ノ訴
 ヘアルマテハ確證トナラサルノ故ヲ以テ完全ノ公正ノ証書ニハアラ
 ザルナリ然レモ其証書ハ証書ヲ二通ニ作ルノ法式ボン又ニアツアル
 一ベトヲ記スノ法式ヲ履行スルヲ要セサルモノコシテ他人ニ對シテ
 モ其日附ヲ確乎トナシ其手署ヲ慥カニスルノ効力アルモノトス
 本然ノ公正証書ト右不完全ノ公正証書トノ著シキ區別ハ其証書ハ双
 方ノ者ノ手署ナケレバ證據トナラズ(第九九條)且商業世話人ノミノ手
 署アルモ完全ノ効力ヲ有セサルニアリ第七十九條ハ此論意ヲ認メ益
 ヲ確ニス本條ニ曰ク商業世話人ハ其姓名手署ヲ以テ其証書ノ真正ナ
 ルヲ証スト然レモ保險者保險ノ証書ニ手署シタルモハ假令ハ商業

世話人ノ手署ヲナササル前ト雖モ其保險者ノ義務ハ成立スルモノト
 ス何トナレハ商業世話人ノ手署ハ公證人ノ証書ニ於ケル如ク其証書
 ノ証書タル所以ノ緊要タル一法式ニアラザレハナリ公證人ノ証書ニ
 公證人ノ手署ナキモハ假令ハ雙方ノ者ノ手署アルトモ証書ノ草稿タ
 ルニ過キザルモノトス此規則ハ實際ニ於テ大ニ益アルヲナリ夫レ保
 險契約証書ハ一名ノ保險者ノ手署ヲナシタルヲ以テ完全トナラザル
 モハ商業世話人ハ其証書ヲ各保險者ニ示シテ其各人ヲシテ其手署ヲ
 ナサシム而シテ其各人ハ其手署ヲナシタル時ヨリ義務ヲ負フヘシ是
 レ其手署ヲナスハ其意ヲ示スヲ以テナリ○被保者若シ保險料ノ切手
 (ビエ、ド、ブ、リ、ム)ニ手署シタルモハ保險証書ニ手署スルヲ必要トセ
 サルナリ

第七十九條ハ公證人モ商業世話人ト同シク保險証書ヲ認ムルヲ得

ル者トス此ニ於テ一問題ヲ生出ス即チ公證人ハ其證書ヲ作ルル公證人ノ本然作ルベキ證書ノ法式ニ從ヒ正本ヲ取リテ作ルベキカ將タ又余輩ノ已ニ示シタル商業世話人ノ證書ノ法式ニ從フテ作ルベキカ是レナリ余輩ハ已ニ論シタル如ク此問題ヲ可決シテ公證人ハ商業世話人ノ證書ノ法式ニ從テ作ル事ヲ得ルモノトス(第五百九十五號)其理由ヲ示サン〇夫レ法律ハ公證人ヲシテ商業世話人ト同様ニシタルヲ以テ觀レハ商業世話人ト同様ノ法式ニテ保險證書ヲ作ルヲ許シタルハ論ヲ俟タザル所ナリ〇且斯ク商業世話人ト同様ニ公證人ヲシテ其證書ヲ作ラシムルヲ以テ實際ノ需ムル處ニ適フモノトス

(第一千三百十二號) 何レノ場合ヲ問ハズ保險證書ニ空白ヲ存スヘカヲズ(第三百三十二條第五項)是レ總テノ證書ニ常ニ要スルヲニシテ且此事ニ付テハ之レニ違フトモ別ニサンクシヨシ即チ罰アラサルナリ

但シ之ニ違フノ結果ハ其證書ノ信用薄クシテ其空白ノ處ニ其證書ヲ記シタル後書入レタル事ヲ容易ニ信用セザルト是レナリトス且裁判官ハ事實ヲ審査スルルキ其効力如何ヲ判定スルニ全權ヲ有スルカ故ニ是等ノ事ヲ以テ先ツ其サンクシヨシトス

法律ハ保險證書ニハ總テ他ノ契約ニ於ケル如ク日附ヲ記スベキナリ(第三百三十二條第二項)此定規ニ違反シタルルキハ如何處分スルヤ別段明定セサルヲ以テ其日附ナキハ普通法ノ結果ノミチ生出スルモノトス即チ其契約ノ適法ナルトニ付キ疑ハシキト且其證書ヲ手署シテ保證シタル商業世話人ノ陳述ヲ以テ證據トナスト能ハサルト是レナリ其他日附ヲ記スヲ付其午前ナルヤ又午後ナルヤノ下ヲ記スヲ要ス(第三百三十二條第三項)其證書ニ手署シタル時ハ何時ナルヤ之ヲ知ルヲ殊ニ左ノ二點ニ付緊要ナリ〇第一同一ノ危險ヲ數名ノ保險者段々

ニ保險スルキ其被保物ノ價額最初ノ數人ニテ省之ヲ保險シタルキハ其以後ノ保險者ノ契約ハ無効トナルヘシ故ニ其保險契約ヲナシタルノ順序ヲ知ルニ必要ナリトス(第三百三十三條第三百五十九條)○第二凡ソ保險契約ハ其保險シタル危險其契約ノキ已ニ存立セスシテ之ヲ其雙方ノ者ノ知り得ヘキキハ無効ナリトス(第三百六十五條第三百六十六條)故ニ其通信ノ到着スル時ニ關シテ契約ニ手署シタルノ時ヲ知ルニ必要ナリ(ルモニエー氏第五十七號法律ニ於テ其契約ヲナシタルノ午前ナルカ又ハ午後ナルカノノミヲ記スヲ要シ其時間ヲ記スヲ要セス裁判官ハ實際其時ヲ精密ニ知ルヲ要スルキハ書狀簿冊等ノ如キ他ノ證據ヲ以テ審定スルヲ得而シテ若シ其精密ニ知ルヲ能ハザルキハ午前又ハ午後ノ同一ノ時ヲ示シタル保險契約ハ同時ニナサレタルモノト看做スナリ若シ其手署中日附ノナキモノアルキ又ハ午前ナ

ルヤ午後ナルヤヲ示サ、ルモノアルキハ他ニ其事ヲ證スベキ事實ノ證據アルキ之ニ依ルベシ而シテ若シ其時ヲ確實ニ且ニ精密ニ知ルノ證據ナキハ斯ノ時ヲ以テ契約ヲナシタリト論スルニ付利益ヲ有スル者ハ其論ヲ申述スルヲ許サズ(民法典第千三百十五條)○ベタリド氏第千二十一一〇多クノ諸家ハ右場合ニ於テハ午前又ハ午後ナルヲ記シアル契約ヲ以テ以前ニナシタル者トナスベキトス即チ○ロクレー氏商法典精義第四冊第八丁○ルモニエー氏第五十八〇然レモ是レ此說ハ法文ニ依ルモ又ハ法ノ精神ニ依ルモ根據ナシ○數名ノ保險者同一ノ保險證書ニ手署シテ日附ヲ記サ、ルヲ多クアリ此場合ニハ商業世話人其證書ヲ終結シ手署スルキ其證書ノ末ニ日附ヲ記スヘシ而シテ此日附ヲ以テ其各手署ノ日附トナス故ニ其手署ハ同時ニ共ニナシタル者トス但シ何レノ場合ヲ問ハズ其前後ノ反對ノ證ヲ立ルヲ得ルナリ○然レモ商業世話人ノ證書ヲ終結スルキ記シタル日附ハ不充分ニ日附ヲ記シタル各保險者ノ契約ノ時ヲ確定スルノ

用ヲナスモキモノニアラスト判定サレタルハ理アリトス何トナレハ
余輩ノ已ニ示シタル如ク慣習ニ依ルルハ結約者ハ商業世話人ノ手署
セザル前已ニ義務ヲ負フタレハナリ且商業世話人ハ自己ノ手署ヲナ
シ日附ヲ記スト雖モ他ノ手署者ノ手署其商業世話人ノ手署ノ其實ニ
存在シタルニ於テハ其各手署者ノ手署ヲナシタル時ヲ保證セサルナ
リ

(第千三百十三號) 第三百三十三條 同一ノ保險證書ハ或ハ荷物ノ
ニ付或ハ保險料ノニ付又ハ各種ノ保險者ノニ付數箇ノ保險契
約ヲ包含スルヲ得

一通ノ同一ナル保險證書ヲ以テ證明シタル數箇ノ保險ハ一箇ノ契約
タルカ又ハ數箇ノ契約タルカナ知ルニ付間々困難ナルニアリ余輩ハ
後ニ之ヲ説クノ機會アラソ

(第千三百十四號) 保險證書ノ主タル文面ノニ付左ニ其委シキヲ
説カン

先ツ通常ハ其證書ノ頭ニ左ノ体裁ニテ又ハ左ニ類似ノ体裁ニテ其證
書中主タル條件ヲ約言スル小表目アリ(舊保險證書ト相違ヒ佛國保險
條件ヲ記シタル後即チ保險證書ノ中央ニ置ナリ余ノ考ニテハ其表目
ヲ中央ニ置クハ不都合ナリトス何トナレハ法律ノ定メニ違反シテ保
險證書ノ中央ニ空行)即チ表目トハ
餘白ヲ存スレバナリ

年 月 日

番 號

商業世話人 某君

海 船

海船賃貸料ノ幾割ニテ保險シタル金高

船 長 某君

證書稅及印稅

航 海

何所へ航海

海船賃貸料ノ高

其表目ノ次ニ活版ニシタル諸箇條ヲ置ク其箇條ハ手署人ナル保險者ノ約定シタル保險契約ノ一般ノ條件ヲ規定スルモノトス而シテ余輩ノ已ニ示シタル如ク其諸條件ハ同一ノ地方ノ保險者ハ幾人アロフトモ皆ナ一様ニシテ且又佛國全國ノ保險者ノ間ニモ一様ニナルノ傾向アリ此等ノ諸條件ハ誠ニ多クシテ且精シキモノナリ船体ニ關スル佛國保險證書ノ如キハ三十一ヶ條モアリ又積荷ニ關スル佛國保險證書ニハ二十ヶ條アリ且其中二三ノ條ハ頗ル長シトス是故ニ細字ヲ以テ二行ニ版行スルモ一枚數ハ半枚ノ以上アリトス

保險證書第三ノ部分ニハ其契約中ノ特別ノ約定ノ條件雙方ノ人々ノ其人ニ相違ナキコトヲ示ス所ノ總テノ事件危險ヲ受ク可キ物件保險ニタル金高支拂フ可キ保險料其他雙方ノ者ノ記入スルヲ欲スル所ノ諸條件ヲ證記ス但シ第三ノ部分ハ版行シタル文言ヲ記載ス然レモ其文

面中所々ニ空白ヲ存シ約定シタル諸事件ヲ書キ填ムナリ若シ又其條件ナキモハ法律ノ定メニ從ヒ墨線ヲ以テ塗抹ス法律ノ定メニハ證書中空行餘白ヲ存スルヲ禁止ス例ヘハ左ノ如キ版行ノ書式ヲ第三ノ部分ニ置クナリ

商業世話人ナル 君ノ媒介ヲ以テ前ニ記シタル諸條件ニ從

ヒ且左ニ記ス所ノ諸條件ニ依リテ 君ニ 拂フヘキ

保險料ヲ以テ下ニ手署シタル ハ 君ニ

金高ヲ保險ス云々、ハ、ハ、

若シ版行ノ記載ノ件ト手カラ書記シタル件ト相矛盾スルモハ書記シタル件ヲ取ルナリ是レ雙方ノ者ハ手カラ書記シタル件ニハ重ニ意ヲ注ケバナリ

一段保險證書ヲ認メタル後或ハ之ヲ補足スル爲メ或ハ書加チナス爲

メ又ハ刪除ヲナス爲メ等ニテ前證書ニ變更修正ヲナスベキヲ往々アリ此ノ時ハ別ニ其附帶トシテ小書面ヲ認タム之ヲ「アウナント」稱ス

保險證書ノ登記税ノ事

(第千三百十五號) 千八百七十一年八月二十三日ノ法令第六條ニ從テ保險證書ハ強迫税ヲ拂フモノトス若シ之ヲ拂フタルキハ登記ハ双方ノ求メニ依リ無償ニテナスナリ其税ハ保險料及ヒ其附從ノ金高ノ合高ノ百「フランク」ニ付五十「サンチム」ナリトス尤モ百「フランク」ノ「テ」シ「ム」ハ百「フランク」中ニ入ルモノトシ算セザルナリ其税ハ分數ヲ算セズ二十「フランク」毎ニ徵收ス且各契約ニ付徵收スル最低ノ税額ハ「テ」シ「ム」ヲ含マシメ二十五「サンチム」ナリトス且又前ノ保險ヲ延期シ保險料又ハ被保金高ヲ増シ更ニ危險ヲ受クベキ金高ヲ加ヘ又ハ保險料ヲ拂フ等ノ契約ヲ其後ニナスキハ前ト同一ノ税額ヲ拂フベキ者トス

第二節 保險契約ノ成立ノ條件ノ事

(第千三百十六號) 余輩ハ今ヨリ第三百三十二條ノ各項ノ事ヲ説明セソトス余輩ハ先ツ證明スベキ「ア」リ第三百三十二條ノ末項ニ於テ結約者雙方ハ自己ノ氣ニ入ル事ヲ勝手ニ定ムル「ア」ヲ得ルノ權ヲ付與シタル「ア」是レナリ但シ其雙方ノ者ハ其約定ヲナスニハ余輩ノ已ニ示シタル如キ又以下説明スル所ニ由テ明ニ生スル如キ保險契約ノ其契約タル所以ノ諸元素及ヒ後ニ余輩ノ説ク所ノ法律ノ禁止ノ事ヲ遵守セサルベカラザルモノトス

第三百三十二條ノ末項ノ直前項ハ一般ニ禁止シタル所ノ約束ヲ保險契約ニ於テナス「ア」ヲ許ス是レ其約束トハ「ク」ロ「ズ」コ「ン」ブ「ロ」ミ「ソ」リ「ワ」ル(若シ争ノ起リタルキハ之ヲ中裁人ニ任カシ其判斷スルニ從テ契約ナリ)譯シテ中裁契約是レナリ此契約ニ於テ保險契約ヨリ生スル争ヲ中裁人ノ判斷ニ任カス是ノ契約

ハ訴訟法典第一千六條ニ於テ一般ニ禁ス同條ニ依ルキハ中裁契約ニハ
争ノ事件ト中裁人ノ姓名トヲ記スベシ若シ反スルキハ其契約ハ無効
ナリトス是故ニ未タ生セサル争ノ爲メ中裁契約ヲナス能ハザルナリ
(以上第三百九十六號參看)

前ニ陳スル所ノ外第三百三十二條ニ於テ要シタル諸記載ノ件々ハ左
ノ四箇ノ意ニ歸着ス由テ之ヲ分テ四項トナシ其各項ニ就テ之レニ關
スル諸件々ヲ細カニ説明セントス其四項トハ第一ニ人ヲ示ス事○第
二ニ被保物件ノ事○第三ニ物件ヲ保證セシメタル危險ノ事○第四ニ
拂フヘキ保險料ノ事是レナリ余輩ハ其外ニ猶ホ一項ヲ加ヘ第五項ト
ナシ又保險契約及ヒ保險料ノ保險契約ノ事ヲ講述セントス(第三百四
十二條參看)

(第一千三百十七號) 一〇〇〇〇〇〇
一般ノ注意ノ事

結約者双方ハ最モ明カニ最モ確カニ保險契約ノ諸元素ヲ記スルヲ
注意スベシ保險ヲ依頼スル者即チ被保者ハ其記載ヲナスルハ殊ニ大
注意ヲナスベシ蓋シ少々ニテモ相違ノ虞アルキハ保險契約ヲ取消ス
ルヲ得ヘキナリ夫レ保險契約ハ他ノ總テノ契約ト同ク一般ノ契約
ノ規則ニ從ハサルベカラス是レ元則ナリ然レモ其保險契約ノ目的物
ヲ定ムルトハ頗ル困難ニシテ他ト大ニ異ナル所アリ固ヨリ目的物ヲ
定ムルトハ凡ソ契約タルモノ、大緊要ニシテ欠クヘカラサル要件ニ
シテ保險者ノ義務ノ目的物ハ相離レサル二箇ノ元素ヲ有ス理論上ニ
テハ之ヲ區別スルヲ緊要ナリトス夫レ保險者ハ某物件ニ付某危險ニ
對シ被保者ヲ擔保スルヲ約ス此某物件ト某危險トハ其二箇ノ元素
ナリ故ニ保險者ノ其義務ハ何タルモノガハ其保險シタル物件ト其物
件ニ付其負擔スル所ノ保險トヲ確カニ知ルコトヲサレバ定ムルヲ能

ハザルナリ若シ其物件ト危険ト、中一ヲ確定スルヲナキ場合又ハ其確定ノ不充分ナルキハ保險契約ハ確定シタル目的物ナキ爲メ又ハ其目的物上ニ錯誤アルノ爲メニ無効トナルモノトス或ハ其爲メ固ヨリ成立セサルコトアリ若シ危険ノ定メ方ノ不充分ナルコト附從タル事ニ關スルキハ物質上ノ錯誤タルベクシテ取消スルヲ得ル契約トナルナリ故ニ前ニ記ス彼ノ二箇ノ元素ハ之ヲ知ルコト實ニ大切ナリトス

夫レ危険ノ定メ方ハ種々ナル情狀ニ依リテ異ナリ其情狀ヲ知ルニハ保險契約ノ總テノ元素ヲ知ラザルベカラズ危険ノ場所、其時其區域ノ廣狹ヲ定ムルコト直接ニ目的トスル約定ノ件ノミナラズ現在約定ヲナス人及ヒ保險シタル物件ニ關スル諸約定ヲ知ルヲ要スルナリ故ニ余輩ハ本款ニ於テハ常ニ第三百四十八條ノ適施ヲナサザルヘカラス第三百四十八條ハ陳スベキコトヲ陳セズ又ハ僞リテ陳シテ危険ノ實ヲ誤

ラシメタルキハ保險契約ヲ取消スモノニシテ且商法典ノ他ノ諸條ニ於テモ第三百四十八條ヲ適用スルナリ

若シ相違ノ廉アリテ契約ヲ取消スルキ其相違ノ廉一方ノ者ノ過失ニ出テタルキ其一方ノ者ハ他ノ一方ノ者ニ損害ヲ拂フヘキハ普通法ノ一般ノ元則ナリ(民法典第千三百八十二條)若シ其一方ノ者ノ詐僞又ハ惡意アルキハ他ノ一方ニ對シテ償ヲ拂フベキハ勿論ナリトス夫レ保險契約ニ於テハ危険ノ條件ヲ定ムベキ者ハ被保者ナリ何トナレバ其保險セシメントスル物件ハ如何ナル物件ナルヤ又其物件ノ受クヘキト思フ危険ハ如何ナル危険ナルヤヲ定ムルハ被保者タレバナリ故ニ右等ノ事ヲ明カニ陳述スベキハ被保者ノ義務ナリ故ニ若シ被保者其陳述ニ相違ノコトナシ又ハ不充分ナルコトヲ陳シ遂ニ保險契約ヲ取消シトナサシメタルキハ保險者ニ對シテ償ヲ拂ハザルヲ得ス

保險契約ノ取消及ヒ解除ハ(第三百四十九條)之ヲ保險契約ノ「リ」スト「ロ」ル「ス」ト云フ而シテ其保險契約ヲ「リ」スト「ロ」ル「チ」ノ保險契約ト云フ「リ」スト「ロ」ル「ス」トハ羅何語ニテ「ステルノ」ト云フ「ステルノ」トハ後ニ戻ルノ意ナリ譯シテ取戻ニトス)

多クノ場合ニ於テハ法律ハ被保者カ保險者ニ拂フベキ償ノ高ヲ豫メ見積ニテ定ム蓋シ裁判官事實ヲ審査シテ其高ヲ判定スル「ハ」甚ダ難シ何トナレハ保險契約ハ偶然ノ契約ナルヲ以テ其結果ノ如何ヲ未ダ知ラサレハナリ即チ保險者ハ一錢ヲモ仕拂ハスシテ保險料ヲ儲ケトナスト「アリ」又之ニ反シテ僅少ナル保險料ヲ得テ頗ル巨額ノ金高ヲ拂フ「アリ」其結果ノ知レザル前ニ「アレ」ハ右ノ損害ノ償額ノ儘ナル元素ハニツ「アレ」ノミ即チ第一ニ「ハ」保險者カ其保險ヲナスニ付テ費シタル入費其骨折自己ノ總入費(食料衣服料)ノ消却第二ニ「ハ」保險ヲ多クナス

「ハ」好マサル時ハ斯ノ保險ヲナシタル爲メ他ノ保險ヲナス「ハ」妨ケラレヌル「ハ」是レナリ然ルニ斯ク分析シテ論スレバ其元素ハ知り得ベケレドモサテ其諸元素ハ幾干ノ價アルカヲ定ムル「ハ」困難ナリ是故ニ法律ハ通常其償高ヲ豫シメ見積ヲ以テ被保金高ノ二百分ノ一ト定メタリ(第三百四十九條第三百五十八條第三百六十一條)然レモ詐僞又ハ惡意アル場合ニハ其償金トシテ保險料ノ全高ヲ拂フベキモノトシ(第三百五十七條)又ハ其二倍ノ金高ヲ拂フベキモノトス(第三百六十八條)○又保險者ノ詐僞ヲ行フ「ハ」ナシト云フベカラス若シ之レアル「ハ」場合ニ依リテ保險料ノ二倍ノ金高ヲ拂ハシメテ之ヲ罰スルナリ(第三百六十八條)

第一項 人ヲ示ス事

(第千三百十八號) 第三百三十二條ニハ保險者ノ姓名ヲ保險證書ニ示

記スルヲ決定メスト雖モ之ヲ示記ス可キハ勿論ナリ其姓名ヲ記シ其人ヲ示スハ實コ欠クヘカラサルヲナリ其人ヲ示スハ其手署ヲ保險證書ノ終ニナサシメテ之ヲ示シ且其手署ノ傍ニ種々ノ記載ヲナシテ之ヲ示スナリ

保險者モ亦其何人ナルヲテ周密ニ示記セザルヲ得ス法律ハ其氏ト其住所トヲ示記スベキモノトス(第三百三十二條第七項)要スル所ハ其人ハ其人ニ相違ナキヲ確定スルヲ要シ且確定セサルベカラズ故ニ法律ノ云フ如ク氏ト住所トヲ示記スルヲ以テ未タ足ラサルヲアリ例ヘバ兄弟二人同一ノ家ニ住スルヲアリ此場合ニ其氏ト住所トヲ示記スルトモ其孰レナルヲ知ルベカラズ故ニ其他其名ヲ記スベキナリ是故ニ右ニ反スル場合ニ於テハ即チ氏ノミヲ記シテ外ニ類似ノモノナク錯誤ヲ生セサルハ氏ノミヲ記スヲ以テ足レリトス且又被保者ノ氏

ヲ記スヲナキモ他ノ事ヲ記シ其誰ナルカヲ知ルベキ例ヘバ被保者ノ船名ヲ記シ此船ハ何某ノ所有ナルヲ明カニ知ルハ其被保者ノ氏ヲ記サベシモ保險契約ハ適法ナリトス○被保者ハ何國人ナルヲ記スヲ要ス夫レ戰時ニアリテハ被保者ノ物件敵國ノ者ニ屬スルハ之ヲ掠收スル等ノヲアリテ其物件特別ノ危險ヲ受クルヲアリ故ニ其何國人タルヲ記スヘキナリ

(第千三百十九號) 法律ハ被保者ノ氏ト其ニ其所有者ハ身分又ハ仲買人ノ身分即チ被保物件ノ所有者ナルカ又ハ仲買人ナルカノヲ記スベシトス是ニ由テ保險ヲナサシメ得ル者ハ物件ノ所有者又ハ其仲買人即チ其代理人ナリト斷言スルモノアリ然レモ其斷言ハ不當ナリ被保者ハ物件ヲ保存スルニ付著大ナル利益ヲ自ラ有スベキナリ是レ唯々要スル所ニシテ敢テ其所有者タルト仲買人タルトヲ問ハサルナリ

其理由ヲ説カン○夫レ商法典ニ於テ保險者自己ノ保險シタル物件ヲ他人チシテ又保險セシムルヲ得第三百四十二條然ルニ其物件ハ其保險者ノ所有ニアラズ故ニ物件ノ所有者ニアラザル者亦タ保險ヲナスヲ得ルハ明ナリ○或ハ難シテ曰ク保險ヲナスルハ其被保ノ物件ハ保險料ノ拂ノ爲メ引當トナリ其物件上ニ先取特權附着スルナリ而シテ此先取特權ハ其物件ノ所有者ニアラザレハ之ヲ構成スルヲ得ス(第百九十一條第十項)故ニ其所有者ニアラザレバ保險ヲナサシムルヲ得スト此難問ニ答フルヲ容易ナリ夫レ其特權ノハ保險ニ於テ論者ノ云フ如キ欠クベカラサルモノニアラス若シ被保者其特權ヲ定ムルノ能力ヲ有セザルキハ保險者ハ其分限ヲ知ルヲ以テ其特權ヲ頼ミトナサ、ルナリ且保險者カ又保險ヲナサシムルヲ得ルヲ以テ觀レバ其特權ハ保險ニ於テ欠クベカラサル者ニアラザルヲ知ルベキ

ナリ○以上ニ陳スル所ニ由テ余輩ハ入額所得者ハ其入額所得權ノ附着スル物件ヲ自己ノ要スル所ニ從フテ保險セシムルヲ得ルト論定ス且又物件ノ借主又其預主モ其物件ヲ保險セシムルヲ得ルト論定ス其借主又ハ其預主ハ其物件ヲ特別ノ危險ニ依リテ損失セシメタルキハ其所有者ヨリ要價ノ訴ヲ受ケサルベカラス千八百七十四年十二月十日ノ法令第十七條ニ於テ書入質權ヲ有スル債主ニ其書入質權ノ附着スル物件ヲ保險セシムルヲ明許シタリ故ニ質權ヲ有シ又ハ先取特權ヲ有スル債主モ亦其物件ヲ保險セシムルヲ得ベシトナスベキナリ前ト同シク商品上ニ質權ヲ有スル債主ハ其質物ヲ保險セシムルヲ得ルナリ○通常ノ債主クレアンシニ、キログラフエールハ其負債主ノ所有スル物件ヲ保險セシムルヲ得ルカノ問題ヲ決スルヲ最モ困難ナリトス余輩ハ其債主其物件ヲ保險セシムルニ付確乎タル

利益ヲ有スルキハ保險セシムルヲ得ベシトス例ハ其物件其負債主ノ資産中ノ最大ナル部分ヲ占ムルノ場合ノ如キキハ其物件ヲ保險セシムルヲ得ベシ然レモ其債主ハ負債主ノ名ヲ以テ其物件ヲ保險セシムルヲ得ス何トナレハ是レ其負債主ノ權ヲ代リテ行フコアラサレハナリ(民法典第千百六十六條)其事タル全ク負債主ニ義務ヲ負ハシムル新ナル權利ヲ生スル所爲ニシテ第千百六十六條ニ於テ債主ニ許ササル所トス

(第千三百二十號) 物件ノ所有者其物件ヲ保險セシメタルキハ其保險ノ其被保ノ物件上ニ先取特權又ハ書入質權ヲ有スル其債主ニ全ク益スルカ否ヤノヲ論セサルベカラズ之ヲ言ヲ替ヘテ云ヘバ(論題)保險契約ニ於テ保險者カ拂フ所ノ償金ヲ其被保物件上ニ先取特權又ハ書入質權ヲ有スル債主其物件ニ代ヘテ受クルヲ得ル乎ノ問題はレ

ナリ千八百七十四年十二月十日ノ法令第十七條ニ於テハ海船上ニ書入質權ヲ有スル債主其海船保險セラレタルキ損失シ保險者ヨリ償金ヲ拂フキハ其償金ヲ受クルノ權アル者トス且又千八百五十八年五月二十八日法令第十條ニ於テ「レセビセ」(解在上)又ハ「ウワラン」(同上)持主ハ共同倉庫ニ預ケアル商品ニ代ヘテ保險ノ償金上ニ權利ヲ有スルモノトス然レモ何レノ法文ニモ海船上ニ先取特權ヲ有スル債主其海船ノ保險ノ償金ヲ受クルノ權利アルヤ否ヤノヲ定メズ又保險セラレタル商品上ニ先取特權ヲ有スル債主其物件ノ保險ノ償金ヲ受クルノ權アルヤ否ヤノヲ定メサルナリ斯ク右等ノ場合ニ付定規ナキヲ以テ本論ノ問題ハ之ヲ否決シ彼ノ債主ハ償金上ニ權利ヲ有セサルモノト爲ス者最モ多シトス其理由ヲ説カン○夫レ先取特權ハ制限法ニ屬スルモノニシテ類似ヲ以テ他ノ物件ニ及ボスヲ能ハザルナリ○法律

ノ何レノ法文ニ於テモ保險ノ償金ヲ以テ被保物件ニ代權セシムルコト「シユブロカション」ヲ定メザルナリ○此償金ハ其物件ノ所有者カ自ラ約定シタル契約ニ由テ自己ノ爲メ得タル利益ナリ故ニ其償金ハ其一般ノ資産中ニ入ルモノトス尤モ其償金ハ右ノ理合ニ依リテ其所有者ノ債主總体ノ利益トナリテ其總体中ノ者ヨリ之ヲ得ンコトヲ負債主ニ代リテ請求スルコトヲ得(民法典第千百六十六條)然レモ其請求シテ得タル所ノ償金ハ其債主總体ノ利益トナルナリ但シ一般先取特權トシテ其資産ノ全体ニ權利ヲ有スル者ノ先取權ヲ行フハ格別ナリトス○若シ右ノ如クナラズ其債主中ノ二三人ノ利益トナルタメニハ其所有者先取特權ヲ有スル債主ノタメ其代理人又ハ事務管理人トシテ初メ保險契約ヲナスヲ要スベシ然ルニ其所有者初メ保險契約ヲ取結ヒタルニ右ノ如キ考ヲ有セサルナリ其保險ヲナサシムルヤ二三債主ノ爲メ

計ラヌコト全ク自己ノ爲メ計ルコトノミヲ思惟シタルナリ○尤モ千八百五十八年五月二十八日法令第十條及ヒ千八百七十四年十二月十日法令第十七條ハ保險ノ償金ヲ以テ被保物件ヲ代權セシム然レモ其時ニハ之ヲ定ムルニ付右法令ノ如ク別段ノ條文ナカルヘカラス且其條文ハ特別ノ理由アルニ依リテ設ケタルモノトス其理由トハ共同倉庫ヲ設立シ又海船ノ書入質權ヲ制定シテ信用ヲ増加シ金融ヲ滑カニスル爲メ右條文ノ如クスルヲ必要トスル是レナリ○質權及ヒ書入質權ハ契約ヲ以テ定ムルモノナレカ故ニ其權ノ存スル物件ノ所有者其物件ヲ保險スルハ自己ノ爲メ計リ又其物件ヲ引當トナシタル債主ノ爲メ計リタルモノナリト論スルハ先取特權ノ場合ニ比スルハ最モ解シ易シ先取特權ハ多クハ人ノ存意ノ如何ヲ問ハス又其約定シタル義務ナキモ法律ヲ以テ定ム故ニ先取特權ノ存スル物件ノ所有者其

物件ヲ保險セシムルハ自己ノ爲メノミナラス其特權ヲ有スル者ノ爲
ノヲモ計リタルモノト論スル最モ解シ難キヲナリトス是レ其諸理由
ナリ

前號ニ於テ論シタル如ク先取特權ヲ有スル債主ハ其海船上ニ有スル
利益ヲ保險セシムルヲ得ベシ

(第千三百二十一號) 保險契約ハ仲買人他人ノ爲メ之ヲ約定スルヲ
得(仲買人ハ原名^{コン}ミシヨリ^ト云)此場合ハ保險證書ニ於テ豫
定ス其證書中被保者ノ名ヲ書寫スル爲メ備フル所ニ、、、ノ爲メ
約定スル、、ノ語ヲ記ス是レ本人ノ自ラ保險契約ヲサズ他人ニ委
任シニ爲ス場合即チ仲買人ニ委任シテ爲ス場合ヲ豫定シテ斯クナス
ナリ○此場合ニハ余輩ノ一般仲買契約ヲ説明スルキニ論シタル元則
ヲ適用セサルヲ得ス而シテ其元則ハ爲替手形ニ於テ他人計算ノ手形

振出人ノヲニ適用シタリ夫レ右ノ場合ニ於テハ保險者ハ仲買人ノミ
ト約束ス故ニ其仲買人ノミヲ信ス保險料ノ負債主トシテハ其仲買人
アルノミ故ニ其仲買人破産シタルキハ其破産ノ結果ヲ保險ザルヲ得
ズ然レモ其仲買人ニ保險ノヲテ委任シタル者即チ本人ノ破産スル
アルモ保險者ハ無關係ニシテ一モ其害ヲ受ケサルナリ此場合ニ於テ
ハ仲買人ニ委任ヲナシタル者ノ姓名ヲ證書ニ記シタルキト雖モ保險
者ノ負債主ハ常ニ仲買人ニシテ其本人ノ姓名ヲ記シタルト否トチ問
フヲナシ何トナレバ保險者ハ仲買人ノミヲ信スレバナリ假令ヒ本人
ノ姓名ヲ記スモ之レニ由テ保險者ハ仲買人ヲ終始訴フルノ權ヲ棄テ
ザルヤ明カナリ固ヨリ明約ナクシテ二人ノ義務者ヲ保險者ハ此場合
ニ於テ有スヘキノ理ナク又之ヲ有スルトスルハ保險證書中ニ仲買契
約アルヲ明記スルノ意ニ反スルナリ此仲買契約アルハ保險契約ハ

或人ノ爲メナサレタルヲ明示スルモノニシテ若シ此或人ハ仲買人ニ委任ナシタル者トスルキハ仲買人ニ對シ保險者ヨリ何モ要求ナスヲ得ザル者トス若シ其或人ハ仲買人ナルキハ其仲買人ニ委任ナシタル者ニ對シ保險者ハ要求權ヲ有セサルナリ然ルニ保險者ト契約ナシタルハ仲買人ニシテ其名前ヲ以テナシタルナリ而シテ保險者ハ之ヲ承諾シテ故ニ保險者ハ其仲買人ノミニ對シテ訴權ヲ行フベキモノニシテ決シテ其仲買人ニ委任ナシタル者ニ對シテ訴權ヲ行フベキモノニアラサレハナリ或ル説者ハ仲買人ト之ニ委任ナシタル者トノ間ニ連帶義務アルモノトス以上余輩ノ陳シタル理由ハ其説者ノ論ノ非ニシテ取ルニ足ラサルヲ證スルナリ

第三百三十二條第六項ハ若シ仲買人仲買ノ名義ニテ保險契約ナシタルキハ其仲買人ナルヲ保險證書ニ明記スベキモノトス商法典編

纂錄ニ依ルニ其理由トスル所ハ若シ仲買人自己ノ荷物ヲ海船ニ積入レタルキハ海難ニ依リテ其積荷ノ消失シタルトアレモ其保險ノ償金ヲ自ラ有スル丁能ハサルヲ恐ル、ニアリ且若シ其積荷ノ安着シタルキハ委任ナシタル者ヲシテ其保險料ヲ拂ハシムルヲ恐ル、ニアリ實際ニ於テハ右法律ノ望ム所ヲ遵守セス保險證書ニハ所有者ノ計算ノ爲メ契約ス誰某トノ數語ヲ記スノミ又ハ其數語ニ代用スル書式ヲ記シ仲買人ニ委任ナシタルトアリヤ否ヤヲ知ラサシムルナリ又之レノミナラズ其委任ナシタル本人ハ誰レナルヤヲ知ル丁能ハサルナリ斯ク實際ニ行ハル、ハ其原因スル所事ヲ秘密ニスルヲ望ムニアリテ是レ商人ノ爲メ最モ必要トスル丁多シトス此ノ如キ場合ニハ仲買人ハ已レニ委任ナシタル本人ヲ保險者ニ明示スルヲ要セサルヘシ但シ保險者ノ危害ヲ受クル者ノ誰ナルヤヲ疑フキハ搭別

ナリトス何トナレハ此時ハ仲買人ハ其積荷ノヲテ証明スル爲メ其積荷ヲナス者ノ氏名又ハ其保險契約ヲナスハ誰レノ爲メナルヤ其者ノ氏名ヲ保險者ニ示スヲ最モ多シトス○仲買人ニ委任シタル者ノ氏名ヲ示スヲ危險ノ有無ニ影響ヲ來タスベキ其氏名ヲ示サレバ保險契約ハ無効トナルコトアリ

(第千三百二十二號) 仲買人ノ手署シテ其本人ヲ示サレバ保險證書ハ持主證書即チ無記名證書ト同様ノ便益ヲ與フルナリ其保險證書ハ之ヲ指圖附ノ式ニ認ムルコトヲ得此場合ニ於テハ其證書ハ裏書ヲ以テ他人ニ讓渡スヲ得ルナリ此式ニ保險證書ヲ認ムルハ「トレイト」トキエマシテ「解在上」ノ場合ニハ殊ニ必要ナリトス之ヲ詳言スレバ爲替手形ヲ記シ其擔保トシテ之ニ積荷目錄ヲ添附シ其擔保タルコトヲ全カラシムル爲メ其荷物ヲ保險セシム此場合ニハ其保險證書ヲ指圖附ノ式

ニ認ムルコト必要ナリトス其保險證書ハ爲替手形ト積荷目錄ト共ニ流通スルナリ

(第千三百二十三號) 保險契約ニ於テ義務ヲ負フタル諸人ヲ定ムルニ又其諸人ハ其保險契約ヲナスニ付キ有スベキ能力ノヲ論定セザルベカラズ而シテ此論定ヲナスニ保險ニ於テ約定シタル義務ハ商事タルノ性質ヲ有スルヤ否ヤノヲ確定スルヲ要スルナリ保險者ニ取リテハ其保險ヲナスハ商事タルヲ明々タリ(第六百三十三條)何トナレバ有料保險契約ニ於テハ(此保險ハ海上ノ事ニ付テ行ハル、ト多シ)保險者ハ保險料ヲ取テ之ヲ集積シテ以テ利ヲ射レバナリ而シテ其集積シタル高ノ中ニテ利益ヲ取り除ケ其殘高ヲ以テ海難ノ到來シタルキハ其償ヲ拂フモノトス被保者ノ方ニ就テ觀ルキハ其保險契約ヲナス事ハ商事ニアラス何トナレバ其事ハ商業ノ義解中ニ入ラザレバナリ

但シ其事ハ被保者ガ海船又ハ荷物ヲ以テ行フ商業ノ附從トシテ商事トナルヲ屢アリ此場合ニ於テハ其保險契約ハ商事ヲ行フノ能力アル者ニアラザレバ之レヲナスコト能ハザルナリ然レモ射利ノ目的ヲ有セズ只運送ヲナサントスル物件例ヘバ移住スルモ運送スル諸道具ノ如キ物件ヲ保險セシムル事ハ全ク民事タリ故ニ之ヲナス能力ハ民法典ノ元則ニ從フテ規定セザルベカラザルナリ

第二項 被保ノ物件

被保物件ニ就テハ左ノ二項ノ事ヲ保險證書中ニ明記セザルベカラス
○第一ニハ其物件ノ如何ナル物ナルコトヲ定ムルコト
○第二ニハ其物件ノ評價
○第三ニハ保險セラレタル金高其後ニ至テハ積荷ノ證據ヲ立テザルベカラス故ニ第四ニハ積荷ノ證據ノコトヲ論スベシ又第五ニハ以上ノ諸事件ニ付テノ法律ノ裁判ヲ論スベシ

第一 被保物件ノ如何ナル物ナルカヲ定ムルコト

(第千三百二十四號) 何レノ場合ヲ問ハス凡ソ契約ノ目的タル物件ヲ確定スルハ緊要ノコトナリトス保險契約ニ於テハ其目的タル物件ノ如何ナル物ナルカヲ定ムルヨリハ第一ニ危險ノ確實ナルコトヲ証定シ且ツ保險契約ハ通常賭博ノ如キモノニアラザルヲ證明スル爲メ緊要ナリトス第二ニ危險ノ輕重ヲ定メ且ツ其ノ事ニ付キ錯誤ヲ生スルコトナカラシムル爲メ緊要ナリトス(第三百四十八條)○余輩ノ已ニ説キタル如ク被保物件ノ如何ナル物ナルカヲ定メザルコト又ハ其ノ物件ニ付キ錯誤アルコト又ハ危險ノコトニ付キ錯誤アルアレバ保險契約ノ取戻(リ)ストールス(生)スルモノトス(第三百四十八條)第三百五十七條及ヒ以下)注意ス可キコトアリ若シ被保者ハ危險ヲ實ニ受ケザル可キ物件ヲ保險セシムルヲ得ズト雖トモ海難ノ爲メ損害ヲ受ケ又ハ損失ス可キ

總テ、貨物ヲ保險セシムルハ最モ己レノ利益トスル所ナリ故ニ被保者ハ若シ注意ヲナス人ナレバ保險ヲ以テ償ヲ得ル爲メ海難ニヨリテ損失ス可キ所ハ若干高ナルヲ精細ニ知ルノミナラズ必ズ知ラザルベカラズ、

第三百三十四條 保險契約ハ目的物トシテ左ノ物件ヲ有スルコトヲ得可シ

空船ナルト又ハ積荷アルト艤裝シタルト艤裝セザルト獨行ナルト又ハ同行船アルト其間ハズ船舶ノ船体及ヒ龍骨

諸船具

艤裝

食料

運賃シタル金高

積荷ノ諸品物及ヒ航海ノ危險ヲ受ク可クシテ金高ニ評定スルヲ得可キ其ノ他總テノ物件又ハ貨物

第三百三十四條ハ保險セシムルコトヲ得可キ所ノ物件ヲ示定ス右

ト第三百四十七條トヲ參照スルハ必要ナリ第三百四十七條ハ前ニ反シテ保險セシムルコトヲ禁止シタル物件ヲ規定ス即チ

第三百四十七條 保險契約ハ左ノ物件ヲ目的物トシタルトキハ無

効ナリトス

船内ニアル荷物ノ海船賃借料

荷物ニ付テ希望シタル利益

海員ノ雇賃

運借リシタル金高

運賃シタル金高ノ海上利益

余輩ノ説明ニ於テハ海船ト其總附屬物トノ保險即チ「アシユランス」シ
ユル「コール」譯シテ船体保險ト積荷ノ保險即チ「アシユランス」シユル、フ
ツキユルテ「譯シテ船舶保險トテ區別スルハ必要ナリトス」余輩ハ此
ノ二個ノ保險ニ適用スル所ノ事ヲ附論ス可シ

第壹 船体保險

（第一千三百二十五號）「コール」テ「ユ、ナウイル」海船ノ体ノ義又ハ「コール」及
ヒ「キイユ」船体及ヒ龍骨ノ義又ハ「ナウイル」海船ノ義ヲ保險シタルトキ
又ハ其語ニ代用ノ語ヲ用キテ之ヲ保險シタルトキハ其保險契約ハ海
船ノミナラズ總テノ附屬品ヲモ包含スル者トス第三百三十四條ニ於
テハ其附屬品ハ之ヲ區分シテ別々ニ保險スルコトヲ得ルモノトス即
チ「ア、ク、レ、エ、イ、ア、バ、ロ、ー」諸船具ト譯ス此語中コハ小艇及モ小舟（アノ）
ヲモ含ム「アルム、マン」機裝ト譯ス評言スレバ航海ヲナス様ニ海船ヲナ

スニ付キテ費シタル諸入費即チ修繕費、出帆ノ時拂フタル諸入費、海關
稅等乗組人ニ前拂シタル金、高軍料及ヒ食料是レナリ此ノ最終ノモノ
ハ「ウ、イ、ク、チ、ユ、ア、イ、ユ」食料ト譯スノ名ヲ以テ別々ニ保險ヲナスコトヲ
得○若シ保險ヲナサシメントスル者右等ノ諸物件ヲ別々ニ保險ナキ
シメタルトキハ其物件ノ互ニ混同セザル様注意シテ語ヲ用ユベシ然
ラザルハ大ニ不都合ヲ生ズ可シ例ヘバ若シ海船チ一モ制限セズシ
テ船体ノミヲ表スル代價ヲ記シテ保險セシメタル後又其諸船具ヲ保
險セシメタルトキハ保險者ハ諸船具ハ兩度保險セラレタリト申述シ
第三百五十九條ヲ適用セシムヲ要求スルモ之レヲ破フルノ答言ナキ
ナリ此ノ場合ニ於テハ海船ノ保險契約ニ記シタル代價ハ被保ノ總テ
ノ物件ノ代價ヨリ少ナルヲ以テ其ノ危險ノ一部ヲ被保者自カラ擔當
ス可キコトアリ（船體ニ付キ佛國保險証書第五條）

船體保險契約ニ於テハ海船ハ第三百三十二條第八項ニ從フテ如何ナル船ナルコトヲ最モ精シク叙記ス可シ何トナレバ其海船ハ保險契約ノ目的物タレバナリ但シ假令其船名ヲ記スコトヲ脱シ又ハ相違ノ名ヲ記スルコトアルモ締約者雙方ノ間ニ於テ保險ノ目的タル海船ハ何等ナルヲ知リ得ルキハ是レニテ足レリトス前ニ反ノ海船ノ何船ナルコトヲ錯誤ヲ以テ叙記シ甲ナル海船ト思惟セシ所乙ナル海船タル如キコトアルキハ其叙記ノ錯誤善意ニ出テ危險ノ輕重ニ付キ初メ考ヘタル所ヲ變セシメザルキト雖トモ其保險契約ハ取消トナル者トス何トナレバ契約ノ目的物ヲ錯誤スレバナリ(以下第千三百五十二號參看)○右ノ外危險ノ輕重ニ影響ヲ來タス可キ總テノ情狀ヲ明記スベシ(第三百三十四條第二項)且ツ殊ニ(何トナレバ商法典ニ於テ叙記スル條件ハ禁令ノ文面コアラズ)船舶ハ空船ナルカ又ハ荷物ヲ積ミタルカヲ明記スルヲ

要ス蓋シ積荷ヲナサシムル海船ハ運轉スルコト容易ナリ故ニ坐礁膠沙ノ害ヲ受ケル少シ然レトモ海船賃貸料ヲ得ルコト能ハス而シテ其賃貸料ヲ得ル能ハザルノ情狀ハ物件拋棄(デレスマン)ノ場合ニ於テハ保險者ノ害トナルヘシ何トナレバ其賃貸料ヲ海船ト共ニ拋棄スレバナリ
 ○又船舶ノ艦裝シタルカヲ明記スルヲ要ス而シテ其艦裝ノ語ハ巡捕(原「グールスト」云フ海上ヲ巡邏)ノ爲メ艦裝シタル意義ニ解スルモノトスモテ戰利捕獲スルヲ謂フ)蓋シ此ノ場合ニ於テ保險者戰ノ危險ヲ船舶ニ對シテ保証シタルトキハ其船舶ハ最モ危害ヲ受ケ易キモノトス○又船舶ハ同行船アルカヲ明記スルヲ要ス評言スレバ戰時ニ於テ船舶軍艦ノ保護ヲ受ケ航海スルヲ要スルカヲ明記スルナリ之レヲ「エスコルト」又ハ「コンウワ」ト云フ
 ○若シ海船ノ所屬國危險ノ輕重ヲ知ルニ付キ關係ヲ有スルトキハ國旗ハ如何ナルカヲ記スヲ要ス

(第一千三百二十六號) 海船ノ所有者ハ余輩ノ示シタル船体諸船具諸儀
 装ノ如キ諸物件ヲ明カニ又ハ暗ニ目的トナス所ノ保險契約ヲナシテ
 以テ總テノ損失ノ償ヲ得ルヲ得可キヤ其所有者ハ海船ノ損失シタ
 ルキハ自カラ失フタル償ヲ全ク得ルヤ○先ツ考フレハ其所有者ハ保
 險ヲ以テ償ヲ得ザル所ノ入費ヲ有スルガ如シ是レ航海中乗組人ノ雇
 賃ナリトス然レモ此ノ雇賃ハ難船又ハ海船ノ分取又ハ其掠奪ノ場合
 ニハ拂フヲ要セザル者トス(第二百五十八條)故コ海船ノ所有者ハ其雇
 賃ニ付キテハ損失ヲ受ケザルナリ是故コ第三百四十七條ハ海員ノ雇
 賃ヲ保險セシムルヲ禁止シタリ而シテ難船又ハ海船ノ禁止ヲ守ラ
 サルヲ得ズトズ海船ノ損失シタルトキ水夫ハ其雇賃ヲ得ル能ハスノ
 先キニ前拂ヲ以テ得タル金高ノミヲ所得トス然レモ此ノ金高ハ難船
 ノ入費中ニ入ルモノトス故コ難船者ハ之レヲ保險セシメテ其損失ヲ

償ハシムルコトヲ得但シ法律ノ草案ニ依ルトキハ難船ノ時ト雖トモ
 水夫ハ雇賃ヲ受クルノ權アリ(其草案トハ第二百五十八條ノ修正按ノ
 コトナリ)此ノ草案ノ意ヲ推シテ之レカ結果ヲ論スルトキハ難船者ニ
 雇賃ノ金高ヲ保險セシメ得ルヲ許サザル可カラザルヤ明ナリトス
 此ニ至ルマデハ余輩ハ難船者ガ保險契約ヲナシテ以テ己レノ支出シ
 タレ金高ノ償ヲ得ルコトヲ説キタリ然レトモ海難アルキハ其自カラ
 失フ可キモノアリ即チ航海ノ爲メ約定セタル海船賃貸料是レナリ此
 ノ賃貸料ハ難船又ハ船ノ坐礁膠沙ノ場合又ハ荷物ヲ分取セラレタル
 場合ニハ受クルコトヲ得ザルモノトス(第三百二條)サレバ其海船賃貸
 料ハ難船者之レヲ保險セシメ得ルヲ以テ至當ナリトセサルヤ請フ之
 レヲ論セン先ツ注意スベキハ難船者難船ノ諸入費ヲ保險セシムルト
 キハ海船賃貸借書及ヒ積荷目錄ニ於テ約定スル所ノ如キ難海船賃借

料(フレイ、グリュ)ヲ保險セシムルコトヲ望ムヲ得ザルナリ何トナレバ其海船賃貸借料ハ右艤裝ノ諸入費及ヒ海船ノ毀損費ヲ償フタメ供用セラレタルモノナレバナリ若シ右艤裝ノ諸入費ヲ已ニ保險セシメタルトキハ艤裝者ハ海船賃貸料中此ノ諸入費ヲ拂フタメ供用セラレタル部分ハ其海船賃貸料ヲ得ザルモ己レノ損失トナラザルナリ故ニ艤裝者ハ其部分ヲ保險セシムルコト能ハザルナリ是ニ由テ觀レバ艤裝者ハ艤裝ノ諸入費ノ外ニ絶海船賃貸料ヲケテ保險セシメンヲ望ムハ理ナキニアラズ(亦タ他ノ場合ヲ考フコトヲ得即チ艤裝ノ諸入費ヲ除ナリ是レベテ子ツシ氏ノ難海賃貸料ト海船トヲ保險セシムルノ場合是レ上保險ニ於テ子ツシ氏ノ元則論デユル正當ナルコトハス即チ海下巴里千八百二十五年版)然レトモ是レ法律ニ於テ許ス所ナル乎論セザル可カラズ○我が現行ノ法律ニ於テハ艤裝者ニ禁スル所トス第三百四十七條第二項ヲ見ル可シ此ノ禁止ノ理由ハ荷物ニ付キテ希望

セラレタル利益ヲ保險セシムルヲ禁止セタルノ理由ト同一ナリトス(以下第千三百三十一號參看)夫レ保險契約ヲオスノ目的ハ損失ノ償ヲ得ルニ止リテ利益ヲ得ルノ目的ニアラストハ彼ノ王令ノ古昔ノ諸註解者及ヒ商法典ノ編算者ノ云ヒシ所ナリ海船賃貸料ハ之ヲ保險セシムルトキニハ未ダ艤裝者ノ利益トナラズ艤裝者ハ之ヲ得ルノ希望ヲ有スルノミニテ其賃貸料ヲ得ザルコトアルモ其損失トハナラザルナリ故ニ艤裝者海船賃貸料ヲ保險セシムルヲ得ズ是レ其ノ理由ナリ○右答フル所非ナリ該問題ハ英吉利、和蘭、合衆國、「ハンブル」ノ如キ最モ商業ノ盛ナル諸國ノ法律ノ如ク解答セザル可カラズ夫レ約定ニ付タル海船賃貸料ハ荷物ニ付キ得ント希望スル利益ノ如キ不正ニシテ想像ニ屬スルモノニアラズ海船ノ所有者ハ其海船賃貸料ヲ得ルニ付キ要スル所ノ諸件ヲ自カラ盡シ全ク確定ニシテ明白ナル約束ニシテ

殊ニ先取特權ヲ生シタル約束ニ依リテ海船賃貸料ヲ受クルノ權ヲ有ス(第二百八十條)然レハ艤裝者ガ之レヲ所得トナシタルニ付缺ク所ノモノハ何ツヤ即チ海船ノ無事ニテ到着スルヤ否ヤノコト是レナリ其安着ヲ妨クル所ノモノハ海難ナリトスサレバ保險ヲナシテ以テ其害ヲ防ク所ノモノ正ニ其海難ニアルナリ海船賃貸料ヨリ他ノ諸物件ヲ保險シテ損失ノ償ヲ得ントスルモ正ニ其海難ヲ保証スルコト非ラズヤ是ニ由リテ觀レバ約定シタル海船賃貸料ハ保險ヲナスコトヲ得ル其他ノ諸物件ト同様タルナリ故ニ海船賃貸料ヲ保險スルコトヲ禁止スルハ全ク理ニ適セザルナリ是故ニ商法典ニ付建議セラレタル修正接ニハ其禁止及ヒ其他之レニ類スル禁止ヲ廢止ス

右海船賃貸料ヲ保險スルコトヲ禁シタルハ千六百八十一年王令ニ於テハ(第三篇第六卷第十五條)得可キ海船賃貸料(フレ、アフエール)ニ止マ

リ他ニ及ハザルナリ商法典ノ諸註解者ハ其禁止スル所ハ前ト同シク得可キ海船賃貸料ニ限ルモノト解釋ス是ノ解釋ハ其主張スル所ノ理由ト編纂録トニ原キテ起ルナリ夫レ得可キ海船賃貸料トハ約定シタル海船賃貸料ニシテ海船ノ安着シタルトキハ其拂テナスコトヲ約定シタルモノヲ云フ而シテ此ノ語ハ既得海船賃貸料ノ語ニ反對スルモノトス是レハ原名「フレ、アフエール」ト云フモノニシテ前拂ヒシタル海船賃貸料又ハ海船ノ安着セザルト雖トモ拂フコトヲ約定シタル海船賃貸料ナリトス此ノ海船賃貸料ヲ得ルノ權利ハ實ニ確定ニシテ決メ取消スヲ得ズ故ニ其海船賃貸料ハ前ト同シク保險スルヲ禁止サレタルトナス爲メ如何ナル道理ヲ附スルモ是レニ適用セザルナリ然レトモ或ハ曰ク論者ノ云フ如ク此ノ海船賃貸料ハ得權アルモノニシテ確乎タルモノトスレバ決シテ危險ヲ受クルナシ然ルニ何故ニ之レヲ

保險スルヤト或ハ之レニ答辨シテ曰ク其海船賃貸料ヲ拂フ者無資力ナルノ險アリ故ニ其無資ノ危險ヲ保証セシムルナリト夫レ然リ然レトモ海上危険ニアラサルヲ以テ海上保險ノ事ニ於テ論定スルモノニアラス故ニ或者ノ理由ハ不當ナリ或者ニ對シテ答辨トシテ陳ス可キハ左ノ一事アリ夫レ右海船賃貸料ハ確定ハ則チ確定ナリト雖トモ物件拋棄ノ場合(アレカマン)ニ於テ艤裝者之レヲ得スシテ失フコトアリ何トナレハ海船ヲ拋棄スルトキハ其賃貸料ヲモ共ニ拋棄スルヲ要スレバナリ是レ此ノ海上危険ニ對シテ海船賃貸料ヲ保險セシムルナリ

九〇海船賃貸料ヲ拂フテ海船ヲ乘組ミタリト假定スルハ其ノ外ニ雙方ノ者ハ荷卸ノ爲メ初メ示シタル場合ニ到リテ承諾シタリト假定セヨ此ノ場合ニ於テハ引延スルヲ請求シ船長ノ海船賃貸料ニシテ所得トナハ實際至(稀ナリ)〇右海船賃貸料ハ艤裝者ノ既得トナルモノナリ然ルニ其賃

賃料ヲ拂フ旨ヲ約シタル積荷主之レヲ保險セシムルコトアリ何トナレハ海難ノ到來シタルトキハ全ク積荷主ノ損失トナノバナリ斯ク積荷主ハ其賃貸料ヲ保險セシムルノ權利アリ此ノ權利ハ第三百四十七條ノ禁止ヲ規避スルノ一手段トナレナリ

(第千三百二十七號) 此ノ禁止ハ人民ノ利益ヲ害スルモノナルヲ以テ海上法律ヲ改正スルコトヲ建議シタル者アリ然レトモ實際ニ於テハ之レガ改正ヲ俟タズニテ此ノ禁止ヲ規避ス其爲メ二方法ナリ即チ第一ノ方法〇艤裝者積荷主ヲシテ海船賃貸料ヲ艤船ノ場合ト雖トモ拂フト陽ニ承諾セシム且ツ其海船賃貸料ヲ積荷主ヨリ保險者ヲシテ保險セシメシム而シテ陰ニ積荷主ヲシテ其積荷ノ艤船シタル場合ニ於テハ普通法ノ場合ト同様ノ地位ヲ有セシム(第三百二條)且ツ其保險契約ノ費用ハ積荷主ニ艤裝者ヨリ計算スルナリ何トナレハ此保險契

約ハ積荷主チノ之レヲナスヲ契約セシムル所ノ約束ト同シク全ク
 裝者ノ爲メニナシ艤裝者ヲシテ得可キ海船賃貸料ヲ保險セシムルト
 同様ノ地位ヲ有セシムレバナリ此ノ如キ積荷主ト艤裝者ト取結ブ契
 約ハ適法ノモノトス第二ノ方法○實際法禁ニ反シテ公然レ、レ、エ、
 一ル「ヲ保險セシムル固ヨリ此ノ契約ハ法律ノ面前ニ於テハ無効ニシ
 テ訴權ヲ生スベキモノコアラズ其契約ヲ執行スルト否トハ契約者ノ
 信ヲ守ルト否トニ依ル故ニ此ノ保險證書ヲ名ケテ面目ノ保險證書(ボ
 リストン、ハ、ル)ト云フ保險者ハ如此キ保險ヲナスハ己レノ利益アル
 ノ故ニ其保險證書ヲ決シテ違反セズシテ嚴然執行ス然レトモ保險者
 ニシテ信ナク德義ヲ顧ミザル者ト此保險ヲナシタルトキハ違約ノ害
 ヲ受ケザルヲ得ズ且ツ殊ニ保險者ノ破産シタルトキハ被險者ハ權利
 ヲ失フ何トナレバ破産管財人ハ保險ノ法律上無効ナルコトヲ申立ツ

レバナリ是レ決シテ保險契約ノ實際大ニ行ル、ノ障礙トナラザルナ
 リ船体ノ佛國保險證書中其保險ヲナスコトヲ明記ス左ノ約條文アリ
 (第二十二條保險者ハ(中略)第二ニ証明ス可キ海船賃貸料ノ百分ノ六十
 ナ、超過シタル海船賃貸料ヲ保險スル、フ、チ謝絶ス云々)此ノ文面ニ依
 ルトキハ海船賃貸料ノ保險ハ之レヲナスコトヲ承諾スト雖トモ難海
 船賃貸料(フレ、フリユ、)ヲ保險スルヲ互ニ禁止ス(以上第千三百二十
 六號參看)其百分ノ六十ハ難海船賃貸料(フレ、フリユ、)ヲ表示スル者トス

第貳 商品即チ荷積ノ保險

(第千三百二十八號) 此ノ保險契約ニ於テモ前ト同シク被保物件ハ如
 何ナル物ナルカヲ精細ニ確定シ之レヲ保險證書ニ記スヲ要ス而シテ
 之レヲ精細ニ確定スルノ度ハ保險者ノ望ム所ヲ以テ基準トス夫レ賣
 買契約ニ於テ物件ノ種類ト其分量トヲ確定シテ賣買スルコトアリ是

レト同シク保險契約ニ於テ荷物チ一々細記セズ一ト纏メユシテ保險
スルコトアリ

一荷物チ保險セントナサン此ノ場合ニハ其保險證書ニハ可成其荷物
ハ如何ナル物カチ細記スルヲ要ス尤モ被保者ノ知り得ル所丈ケチ記
スナリ例ヘバ箱又ハ包ミノ符標、荷物ノ性質、其種類、其量目、其員數等ヲ
記ス是レ此ノ場合チ第三百四十八條ニ於テ定ム其餘ニ保險契約ニ記
ス所ト積荷目録ニ記ス所ト異コシテ危險ノ輕重ニ付キ雙方ノ思フ所
チ左右スルトキハ保險契約ハ取消ニコトヲ得ルモノトス

又海船一艘ノ積荷チ一々之レカ性質ヲ細記セズシテ保險ニ特別ノ危
險ヲ保證セザルコトヲ約束スルコトアリ其ノ荷物ノ總体ヲ示スニシ
ヤルシユマン「積荷」カレギーワン「同シク積荷ノ意」ソワキルター「船舶」ノ
語ヲ用ケルヲ得ルト雖トモ海船ハ通常何船ナルコトヲ細密ニ叙記ス

此ノ場合ニ於テ往路ノミノ積荷又ハ歸路ノミノ積荷チ保險ス之
レチ「マルシヤ」ノ「デイス」メント「レ」入ノ「荷物」ノ「義」又ハ「マルシヤ」ノ「イ
ス」トリ「ル」出ノ「荷物」ノ「義」ヲ以テ示指ス蓋シ航海ノ基點タル港ノ
點ヨリ云フナリ且ツ又目方又ハ嵩サ又ハ價ヲ以テ定メタル物件チ保
險スルコトヲ得其物件ハ被保者ノ撰ム所ニ任ス此ノ場合ニ於テハ保
險チナスチ依託シタル物件ノ所有者ノ名前ト海船ノ名前トヲ儘カニ
記スヲ以テ足レリトス○商法典ハ若シ被保者其到着スルヲ待ツ所ノ
積荷ハ如何ナルモノカチ儘カニ知ラザルトキハ其積荷ノ如何ナルモ
ノカチ記サズ漠然トシテ保險チナスチ許ス即チ

第三百三十七條「エ」エール「デ」ユウ「ア」ソ「土」亞非利加ノ北部海洋及ヒ
「ニ」於テ又ハ「ア」亞非利加ノ海岸ニ於テ及ヒ世界ノ其他ノ部分ノ地ニ於
テ「歐」羅「巴」ニ向ケ爲シタル積荷ハ之レヲ積入レタル海船ノ如何ヲ問

ハ○ス○其○海○船○ヲ○示○ス○コト○ナ○ク○又○其○船○長○ヲ○示○ス○コト○ナ○ク○シ○テ○保○險○セ○ラ○ル○コト○ヲ○得○

荷○物○ハ○此○ノ○場○合○ニ○於○テ○ハ○其○性○質○及○ヒ○種○類○ヲ○示○ス○コト○ナ○ク○シ○テ○保○險○セ○ラ○ル○コト○ヲ○得○

然○レ○ト○モ○保○險○証○書○ニ○ハ○荷○物○ヲ○差○送○ラ○レ○タ○ル○者○又○ハ○預○シ○ベ○キ○者○ヲ○示○ス○可○シ○若○シ○保○險○契○約○証○書○中○ニ○反○對○ノ○約○束○ア○ル○ト○キ○ハ○格○別○ナ○リ○ト○ス

本條第三項ニ依ルトキハ預リ主ノ名前ヲ記スハ缺少可カラザルニアラズ何トナレバ別段ニ約束ヲナシテ以テ之レヲ記スヲ止ムルヲ得可ケレバナリ○余輩ノ考ニテハ第三百三十七條ハ制限ヲ定メタルニアラズ例ヲ示シタルニ止マルナリ故ニ歐羅巴へ歸航スル積荷ニモ適用スルモノトス蓋シ交通ヲ非常ノ處分ヲ以テ禁止シ爲メニ被保者其積荷ハ如何ナル物カヲ知ラザルコトアリ

(第千三百二十九號) 被保者ガ積入ル可キ總テノ荷物ニ對シ約定ノ航海ニ付キ期限間確定ノ金高ヲ保險セシムルコト往々アリ是レヲ「ボリス、プロタント」云フ(動保險契約ノ義此ノ場合ニ於テハ其保險契約ハ本然ノ保險契約ナリト云フヨリモ寧ロ保險契約ヲ爲スノ約束ナリト云フ可シ而シテ其保險ノ効ハ被保者ガ荷物ヲ積入レタルヲ保險者ニ告知スルニ隨フテ生ス其告知スルヲ「デ、ク、ラ、シ、ヨ、ン、ダ、リ、コ、ン、ト」云フ(是レハ積荷告知ト譯ス)此ノ告知ハ積入チナスニ隨フテ認タムル連續シシテナス小契約(アウナシ)ヲ以テナスナリ且ツ其告知ヲ以テ保險ノ目的物ハ如何ナル物カヲ確定スルナリ若シ其告知ヲ海難ノ報知前ニナサシムルキハ保險契約ハ取戻トナルナリ(第三百五十七條第三百五十八條)○但シ動保險契約ヲナシタルトキハ雙方ノ者ハ互ニ義務ヲ負ヒ被保者ハ其契約ニ於テ示ス所ニ包含スル一切ノ荷物ヲ他人チシテ保險

セシムルコトヲ得ザルモノトス

七十

(第千三百三十號) 被保者ハ被保物件ヲ示指スル爲メ用ヰル語ノ意義ニ最大ナル注意ヲナス可シ何トナレバ其語ニ依リテ事ヲ判斷スレバナリ殊ニ又保險契約不充分ニシテ更ニ新ナル約束ヲ以テ之レヲ補足ス可キトキコハ最モ其語ヲ用ヰルニ注意スルハ緊要ナリトス被保者ハ同一ノ物件ヲ再度保險セザル様ニ注意ス可シ蓋シ再度保險セシムルトキハ被保ノ金高ニ餘額ヲ生スルコトアリ例ヘバ被保者一積荷ヲ二十ノ額ニテ保險セシメ其積荷ハ砂糖二十ト茶二十トヲ以テ成ル者ト思惟シタリ斯ルキハ砂糖ノミニ付キ更ニ二十ノ額ニ付キ保險ヲナサハル様注意ス可シ夫レ若シ之レヲ保險セシメタリトセン砂糖ハ先ノ保險ニ於テ十ノ額中ニ包含スルヲ以テ其被保金高ニ付キ十ノ額ヲケノ餘額ヲ生ス茶モ亦タ先ノ保險ニ於テ十ノ額中ニ入ルヲ以テ其被

保金高ニ十ノ額ノ超過ヲ生ス是故ニ更ニ補足保險ヲナサントスルトキ被保險者ハ一切ノ積荷ヲ更ニ二十ノ高ヲ以テ保險セシムルカ又ハ砂糖ニ付キ十ノ高及ヒ茶ニ付キ十ノ高ヲ以テ更ニ保險セシムルヲ要ス

(第千三百三十一號) 荷物ノ保險契約ハ其荷物ノ出帆マデニ要シタル諸入費ヲ勿論包含スルモノトス即チ其買入代金積荷ノ場所マテノ運送費出帆ノ時拂フタル諸税及ヒ積荷ノ諸入費ハ皆チ保險金高中ニ入ルモノトス(第千三百三十九條參看)○但シ假令ヘ此等ノ金高ヲ保險スルモ積荷主ハ己レノ受ケル損害ノ一切ノ償ヲ得ルコト能ハズ夫レ荷物多少毀損シテ到着シタリトセン此時ト雖トモ積荷主ハ其海船賃貸料ノ金高ヲ拂ハザルヲ得ズ且ツ其賃貸料ヲ償フニ足レリト思惟シタル利益ヲ荷物ノ毀損ノ爲メニ得ル能ハス而シテ保險者ニ對シテハ荷物

七十一

ノ毀損ノ償ノミヲ得ルナリ故ニ己レノ受ケタル損害ノ一切ノ償ヲ得ルコト能ハザルナリ是故ニ被保者ハ右場合ニ於テ拂ハザルヲ得ザル海船賃貸料ヲ保險セシムルヲ以テ己レノ正當ノ利益トナス可キナリ然レトモ如何ニセシ第三百四十七條第二項ニ於テ被保者及ヒ艀裝者ニ海船賃貸借料ノ保險セシムルコトヲ禁止ス尤モ其禁止スル所ハ得可キ海船賃貸借料(フレイ、アフエール)即チ艀船ノ時ニモ拂フコトヲ約セザル賃貸借料ナリトス(反説ニハ〇コウ一氏保險第六十及ヒ以下〇止ハ受ク可キ海船賃貸借料ノミニ適用シ拂フ可キ海船賃貸者ガ海船賃貸借料ヲ保險セシムルコトヲ禁シタルノ理由ハ其事物ヲ考察スルコト充分ナラザルヲ証ス蓋シ立法者ハ賃貸借料ハ荷物ノ消失ニタルトキハ拂フヲ要セザルヲ以テ其賃貸借料ヲ保險セシムルコト生セザルモノト思惟シタリ然レトモ賃貸借料ハ荷物ノ實ニ毀損シ

恰モ價ノナキ様ニナリテ到着シタルトキト雖トモ拂フヲ要スルコトヲ思惟セザリシナリ商法典改正案ニハ其ノ保險ヲナスコトヲ許ス、積荷主ハ前ノ如ク海船賃貸料ヲ拂フテ其償ヲ得ザルノミナラズ尙ホ損失ニ歸スルモノナリ夫レ荷物ノ消失シタルトキハ積荷主ハ届先ノ地ニ於テ其荷物ヲ賣拂フテ得可キ所ノ一切ノ利益ヲ猶ホ得ルコト能ハザルナリ是レ其利益ハ荷物ニ付キ希望シタル利益(アロヒ、エスベレ)ニシテ第三百四十七條第三項ニ於テ保險セシムルコトヲ禁スル所ノモノナリ此ノ禁止ハ艀裝者ガ海船賃貸料ヲ保險スルコトヲ禁止シタルト同一ノ理由ニ依ル此ノ理由ハ余輩ノ前ニ駁シタル如ク取ルニ足ラザルモノトス之レヲ論ゼンニ夫レ保險契約ヲナスノ意ハ海難ニ依リテ受ケタル一切ノ損害ヲ償ハシムルニアリ〇彼ノ荷物ニ付キ希望シタル利益ハ偶然ノ利益ニアラズ荷物ノ運送ニ依リテ必然直接

ニ生ス可キモノトス勿論其利益ノ高ハ前以テ雙方ノ者之レヲ約定セザルコト能ハザルナリ然レトモ其高ハ荷物ノ到着ノ地ニ於テ荷物ノ到着シタル時又ハ到着ス可キ時其荷物ノ有スル時價ヲ考察スルトキハ容易ニ知ルコトヲ得ルナリ此ノ利益ハ正當確實ナル業ヲ行フテ以テ之レヲ得ルノ道ヲ開クナリ出帆前ニ荷物ニ付キテ費ヤシタル諸入費及ヒ航海ノ諸入費ハ積荷主ハ此ノ利益ヲ目的トシテ費スナリ而シテ積荷主ハ其業ヲ續テ行フニ付キ利益ノ必然ナルコトヲ要ス凡ソ積荷主業ヲナスハ先キニ行フタル者ノ利益ヲ目的トシテ之レヲ行フモノトス○要スルニ其目的トスル利益ヲ積荷主チシテ得サレムルモノハ獨リ海上ノ災變ナリトス故ニ其災變ニ對シテ利益ヲ保險セシムルヲ要ス然ラザレバ其利益ヲ得ルコト必然タラズ是レ此ノ諸理由アルノ故ニ彼ノ希望シタル此ノ利益ハ積荷主他ノ物件ト同様ニ保險セ

シメ得ルコトヲ要スルナリ(七丁及ヒ以下第一冊第七十丁及ヒ以下第百四十二丁及ヒ以下)○テレチリ氏曰ク元ト彼ノ利益ハ之レヲ保險シタルト雖トモ交通ノ便今日ノ如ク容易ナラザルヲ以テ其ノ高ヲ許定スルニ付キ困難ヲ生シタリ故ニ亟ニ其ノ保險ヲセザルヲ以テ元則トナシタリト○外國ノ諸法律ニ於テ希望ヒラレタル利益ヲ保險スルコトヲ許ス和蘭商法典第五百九十三○葡葡牙商法典第七百條○獨乙商法典第七百八十三條○英米二國ニ於テモ其ノ保險ヲナスコトヲ許(商法典改正案ニハ之ヲ保險スルコトヲ許ス○尤モ前ニ於テ論辨シタル如ク正ニ論スル利益ハ相場ノ差ヨリ實ニ生スル利益ニシテ許定スルヲ得可キ者ニアリテ決シテ積荷主ノ積荷ノ到着後得ント希望スル未定必然ナラサル利益ニハアラザナリ此ノ如キ利益ハ其得可キ利益トハ云フ可カラズ殊ニ又確實ナラズトス此ノ如キモノハ偶然ニシテ許定スルノ方法ナキモノナリ假令ヒ之レヲ得ザルモ確實ノ損失ニアラズ保險契約ニ於テ保証ス可キモノニアラザルナリ
實際ニ於テハ商法典ノ改正ヲ待タズ既ニ被保者ハ希望セラレタル利

益ヲ保險セシム如何ニシテ之レヲナスト云フニ被保ノ物件ヲ其價ノ割合ヨリ高ク評價シテ以テ利益ヲ保險セシムルナリ通常ノ增高ヲ其物件ノ價ノ百分ノ十ト定ム是レ決シテ法外ノ高ニアラズ此ノ事ハ荷物ニ付テノ佛國保險證書中明定スルナリ(第十五條見ル可シ)本論ノ事ニ付キテハ法律ノ定メ苛酷ナルヲ以テ其適施ヲ制限スルヲ要スルナリ夫レ遠方ニ運送シタル荷物ヲ以テ買入ル、所ニ「ルト」譯シテ歸リ荷物ヲ保險セシムルコトアリ而シテ歸リ荷物ニ付キ初メ運送シタル荷物ノ價ヨリ最高ノ價ヲ記ス是レハ其差送りタル荷物ヲ以テ儲ケタル利益ヲ計算スルニ依リテナリ如此キ保險契約ヲ以テ希望セラレタル利益ノ保險契約ナリトナス可カラズ何トナレバ歸リ荷物ヲ海船ニ積入レタルモ其利益ハ已ニ得タルモノニシテ得ント希望シタルモノニアラザレバナリ

第參 船体及保險及積荷保險ニ普通ノ注意

第三百三十五條第一項 保險契約ハ前記ノ物件ノ總テニ付キ又ハ其部分ニ付キ一所々又ハ別々ニナスコトヲ得

(第千三百三十貳號) 第三百三十四條ノ記ス所ノ諸物件ヲ保險契約ニ於テ之レヲ合記シテ保險スルコトヲ得又ハ之レヲ別々ニ記シテ其名ニ付キ保險ヲナスコトヲ得○一箇ノ保險契約中ニ諸物件ヲ合記スルトキモ一所ニ之レヲ保險スルコトヲ得又ハ別々ニ之ヲ保險スルコトヲ得可シ若シ契約中ニ示ス一切ノ物件ヲ一物ノ如ク觀テ保險シタルモハ之レヲ一所ニ保險シタル者ト云フ故ニ其中ノ二三物件缺クルトキハ保險契約ハ其他ノ物件ニ全ク適用シ之レヲ保險シタルモノトナルナリ例ハ海船ト積荷トヲ一物トナシ一所ニ二十ノ高ニ付キ保險セシメ而シテ積荷ヲナサバルトキハ其二十ノ高ハ全ク海船ニ適用シ保

險高トナルナリ○若シ保險シタル金高ヲ分別シテ各高ヲ保險契約中
 ニ記ス諸物件ノ各々ニ適用シ其一物缺クルトキト雖トモ物件ニ適用
 シタル金高ヲ其他ノ物件ニ適用セザル様ニシテ保險契約ヲナシタル
 トキハ之レヲ別々ニ保險ヨタルモノト云フナリ例ハ海船ニ付キテ
 ハ十ノ額及ヒ荷物ニ付キテ十ノ額ヲ保險セシメタリトセン若シ積荷
 ノアラザルトキハ海船ハ唯十ノ額ニ付キ保險セラレ、ナリ而シテ
 其保險契約ハ他ノ十ノ額ニ付キテハ効ナキナリ○第三百六十條第三
 百六十一條及ヒ以下第千三百四十二號ヲ比較ス可シ
 (第千三百三十三號) 余輩ハ以上ニ於テ海船ト荷物ト保險契約ニ通用
 スル注意ノコトヲ陳シタリ今ヨリ運賃契約ノ場合ニ於テナス所ノ保險
 契約ヲ討論セントス蓋シ運賃契約ハ海船ニ付キ又ハ船舶ニ付キ又ハ
 其二箇ヲ合シタル者ニ付キナスコトヲ得第三百三十二條及ヒ第三百

四十七條ノ定ムル所ヲ左ニ示サン夫レ運借主ハ運借シタル金高ヲ保
 險セシムルコトヲ得ストス(第三百四十七條)是レ實ニ至當ナリ何トナ
 レバ運借主ハ其金高ニ付キ危險ヲ受クレ、トナシ運借ノ引當タル物件
 ノ消失シタルトキハ其金高ヲ返還セザレバナリ是ト同様ノ理由ニテ
 運借ノ金高物件ノ全價ヲ充タストキハ其運賃貸借ヲナシタル物件ヲ
 保險セシムルヲ得ズ此ノ定規ハ余輩ノ前ニ陳シタル改正按ニ於テ論
 ホ取リタリ○運賃主ハ運賃シタル金高ヲ保險セシムルヲ得第三百三
 十二條何トナレバ運賃主ハ引當トシテ運賃契約ヲナシタル物件消失
 シタルトキハ其貸シタル金高ヲ得ザレバ其金高ヲ以テ海上危險ヲ自
 カラ負擔スレバナリ運賃主ハ運借主ノ保險者ナリト云フモ可ナリ而
 シテ運賃主ノ後ニ運賃金ニ付キ保險契約ヲナスハ法律ノ全ク許ス又
 保險ナリトス(第三百四十二條)○然レモ運賃主其貸シタル金高ノ海上

利益ヲ保險セシムルコトヲ得ズ海上利益トハ物件ノ安着ノ時受ク可
 シト約シタル利子ナリ尤モ此ノ利子ハ海難ノ到來シタルトキハ受ク
 ルヲ能ハザルノ恐レアルモノトス此ノ禁止ノ理由ハ海船賃貸料ノ保
 險又ハ荷物ニ付キテ希望シタル利益ノ保險ヲ禁止スルト同一ノ理由
 ニ依ルナリ即チ海上利益ハ全ク僥倖ノ利益ナリ○此ノ利益ハ運貸主
 之レヲ全ク失フノ恐レアルニ依リテ初メテ正當ノ者トス若シ其恐レ
 ナキハ非理ノ利益トス是レ理由トナス所ナリ（アロセー氏第二千九十九
 八ニ於テ彼ノ禁止ノ理
 由ハ高利貸ヲナスコトヲ恐ルニ依リテ然レトモ余輩ハ本項ノ理
 債主ノ海上利益ノ保險契約ヲ得ルコトキハ其ノ利子反テ減少シ未
 ルコトヲ示ス可シ）其理由ヲ以テ保險ヲ禁スルハ非ナリ請フ之レヲ
 論セン夫レ余輩ハ海上利益ハ正當確實ナル契約ヲナシテ以テ得タル
 利益ナリトス且ツ海上利益ハ特權ヲ以テ擔保セラレタル債主權ニシ
 テ海上危険アルノミニ依リテ得ルコトノ必然ナラザルモノトス若シ

保險ヲナシテ以テ海上利益ヲ確乎必然タラシメントスルハ正ニ其海
 上危険ヲ恐ル、レバナリ海上利益ハ運貸主ノ受クル危険大ナルトキ
 ハ隨フテ高大ナルナリ然ルガ故ニ其海上利益ヲ保險スルヲ許シ運貸
 主ノ受クル危険ナキニ至ルトキハ利益ノ高ハ競争ノ効ニ依リテ通常
 利子ノ高ニ減少スルモノトス是故ニ商法典改正案ニ於テ之レカ禁止
 ヲ解キタリ

（第一千三百三十四號）余輩ハ海員ノ雇賃ヲ保險スルコトヲ禁止セタル
 事ニ付二三言ヲ陳スベシ（第三百四十七條）余輩ハ此ノ禁止ノ適例ノ一
 ナリ然レモ此ニ解カントスルノ禁止ハ右禁止ヲ擴張シテ水夫ニ及ヒ
 其雇賃ヲ保險スルコト水夫ニ禁シタル是レナリ是レ理由ハ艱船ノ場
 合ニ承夫ハ己レノ雇賃ヲ受クルヲ得ズトナシタルト同一ノ理由ナリ

(第二百五十八條)即チ水夫何レノ場合ニ於テモ雇賃ヲ得ルコト必然ナルトキハ難船ノ場合ニ海船ヲ助クルニ盡力セスト立法者ハ恐レタリ新ク恐ヲ抱持スルハ妄想ニ屬スル者ナリト商法典改正案ニ於テ判定シタルヲ以テ第三百四十七條ノ禁止ハ最早之レヲ存スルノ理ナキモノトス故ニ改正案ニ於テ之レヲ廢止シタリ水夫ハ多クハ蓄財ノ何ヲルチ知ラズ今日アルチ知リテ明日アルチ知ラザルモノナリ其雇賃ヲ保險スルコトヲ許シタルトキハ水夫ヲシテ蓄財ノ心ト後チテ慮ルノ心トヲ益々發起セシムルナリ

第二 被保物件ノ評價

(第一千三百三十五號)保險シタル物件即チ被保物件ノ代價ヲ評定スルハ被保者が危險ニ由リテ失フ高チ定ムルヲ以テ目的トス而シテ海難到來シテ損害ヲ受ケタルトキ其高チ算定スルノ基本トナルモノトス

若シ物件ノ評價ニ付キテ締約者雙方同意アルトキハ後ニ至リテ評價ノ點ニ付キ爭論ノ起ルコトアラサルナリ

第三百三十二條第十四項ニ於テ保險證書ニ荷物ノ代價又ハ評價ヲ示ス可シト定ム然レトモ若シ之レヲ示サザルトキハ保險證書無効ナリトノ罰ヲ附ジテ評價又ハ代價ヲ記ス可シト命ゼザルナリ是レ第三百三十九條ニ於テ代價又ハ評價ノ記載ナキトキニ之レヲ知ルノ方法ヲ示定スレバナリ保險證書中ニ代價又ハ評價ノコトヲ記サザリントキハ其保險證書ヲ名ケテ「ボリス、ウ、ウ、エルト」譯シテ無價保險證書ト云フ若シ其ノ代價又ハ評價ヲ記シタルトキハ其保險證書ヲ名ケテ「ボリス、ウ、ウ、エルト」譯シテ有價保險證書ト云フ荷物ノ代價ヲ保險契約書中ニ記載セザル場合ヲ先ツ説カン即チ

第三百三十九條 若シ荷物ノ代價契約ニ依リテ定メラレザルトキハ

其代價ハ勘定附又ハ帳簿ヲ以テ之レヲ証明スルコトヲ得之レナキ
ニ於テハ其評價ハ積荷ノ時積荷ノ場所ニ於テノ時相場ヲ以テ定ム
可シ其時相場ニハ積入マデニ費シタル諸費用及ヒ拂フタル諸税銀
ヲ算加スルモノトス

本條ニ於テ記ス如ク代價ノ証明ハ被保者之レヲナスノ任アルモノト
大何トナレバ其証明ハ被保者ガ請求スル權利ノ基礎タレバナリ(民法
典第千三百十五條)夫レ被保者ハ其受ケタル損害ノアル故ニ償金ヲ受
ケルノ權アルモノコシテ償金ノ額ハ其損害ノ高ニ割合フテ定ムルモ
トトス余輩ハ本條ニ從フテ荷物ノ代價ヲ組織スル三箇ノ元素アルコ
トヲ説明シテ即チ積荷ノ場所ニ於テノ荷物ノ代價任拂フタル諸税
銀積入マデニ費シタル諸費用是レナリ(第千三百三十一號參看第一ノ
元素ニ付キ一論題起ルナリ即チ

(論題) 荷物ノ買入ノ代價ヲ証明スルコトヲ得ル場合ニハ勘定附又ハ
帳簿ヲ以テ証明サレ且ツ運送ノ諸費用ヲ加ヘタル其買入價代ヲ基
本トナス可キ乎又ハ積荷ノ場所ニ於テ荷物ノ時相場ヲ基本トナス
可キ乎

固ヨリ其時相場ハ買入代價ヨリ或ハ高キコトアリ或ハ低キコトアリ
諸家多クハ其時相場ヲ以テ荷物ノ代價ヲ定ムルノ基本トスレドモ余
輩ハ之レニ反シ基本トナス可キモノハ其買入代價ニ荷物運送ノ諸費
ヲ加ヘタル高ナリト思考ス之レヲ論ゼン○夫レ荷物ノ買入代價ヲ以
テ其價ヲ証明スルコトヲ得ザルトキニ限リ第三百三十九條ハ時相場
ヲ以テ荷物ヲ評價ス可シト命定スルナリ○被保者ガ危險ニ依リテ失
フノ恐レヲ抱ク所ノモノハ出帆ノ港ニ至ルマデニ荷物ニ付キ仕拂フ
タル代金ナリトス被保者ハ荷物ヲ出帆ノ港ニ於テ賣ルノ意ナキヲ以

テ其港ニテ其價低廉ナルモ決シテ之レニ關係ナキナリ荷物ハ只其港
 ナ通行スルニ過ギス若シ荷物ノ價其港ニテ買入ノ價ヨリ高昂ナルコ
 トアルモ被保者ハ其價ヲ以テ荷物ノ價ヲ評定サレシコトヲ請求スル
 ナ得ズ何トナレバ被保者ハ荷物ヲ其港ニテ賣ルトチ欲セザレハナリ
 若シ其高價ヨリ生ズル利益ヲ得ント欲セシナレハ初メ荷物ヲ海船ニ
 積込マズ之レヲ其時其港ニテ賣拂ヒ以テ利益ヲ得可キナリ斯クナ
 サ、リシハ其時此利益ヲ得ルチ欲セザリシヤ明カナリ○或ハ曰ク論
 者ノ如ク荷物ノ買入代價ヲ基本トスルナレバ寧ロ被保者ノ位地ニ於
 テノ時相場ヲ其本トナスニ如カザルナリト是レ非ナリ第三百十九條
 ト矛盾シ且ツ不當ナリトス夫レ其相場ハ荷物ヲ買入タル時ヨリ積込
 ナシタルマデニハ高低アリ之レヲ以テ荷物ヲ評價スルトキハ其高
 キトキハ買主ヲ利シ其低キトキハ買主ヲ損ス何故ニ斯クナスヤ解ス

可カラザルナリ其荷物ハ之レヲ輸出スルチ目的トナシタルモノニシ
 テ買入ノ地ニ於テ賣拂フ可キモノニアラズ是故ニ相場ハ如何ニ有フ
 トモ買主ノ願ミザル所ナリ以上陳スル所ハ余輩ノ説ノ理由ナリトス
 法律ハ海船及ヒ附屬物ヲ評價スルノ方法ヲ船体ノ保險ノ諸令ニ示定
 セズ此ノ評價ハ鑑定人ノ陳述ニ依リテ評定スルヨリ外ニ方法ナキナ
 リ○(論題) 鑑定人ノ評價ヲナスニ出帆ノ地ニ於テ海船ノ有スル相場
 ニ依ル可キ乎又ハ到着ノ地ニ於テ其有スル相場ニ依ル可キ乎○理ニ
 於テハ鑑定人ハ到着ノ地ニテ海船ノ有ス可キ相場ニ依リテ海船ヲ評
 價ス可キナリ何トナレバ海船ハ航海中多少卑惡トナレ者ナルチ以テ
 艤裝者ノ海船ヲ消失シタルトキハ其失フ所ノモノハ海船ガ到着ノ地
 ニテ有スル價額ナリトス然レトモ現行ノ法律ハ海船賃貸料ヲ保險ス
 ルコトヲ許サズ斯ル法律ノ下ニアリテハ前論ノ如クナスコト能ハサ

ルナリ夫レ實際ニ於テ海船貸料ヲ保險セザルトキハ海船ノ出帆ノ地ニ於テ有スル價額ニ付キテ保險ヲナシタル者トナシ其價額ヲ以テ海船ヲ評價ス可キナリ何トナレハ被保者ハ難船ノ場合ニテ海船貸料ヲ失フテ以テ貸貸料中航海ニ依リテ海船ノ卑惡トナル所ヲ償フ可キ部分ヲ隨フテ失ヘバナリ

(第千三百三十六號) 今ヨリ結約者ガ海難ノ到來後ニ物件ノ評價ニ付キ生スル困難ヲ避クル爲メ如何ナス乎ヲ説カントス其困難ヲ避クル爲メ保險證書中ニ物件ノ評價ヲナス併シ其評價ハ二個ノ異別ナル條件ヲ以テナスヲ得可シ○若シ被保者保險證書中ニ物件ノ代價ヲ陳述シテ保險者ノ承諾又ハ同意ヲ得ザルコトアルトキハ其陳述ハ被保者ノミ之レヲ遵守シ違反スル能ハズ故ニ其陳述ハ被保者ガ後ニ如何ニ請求ヲナスモ超過スルヲ得サル高數ノ極ヲ示スニ過キザルナリ然レ

ドモ保險者ハ何レノ場合ニ於テモ被保者ニ對シ余輩ノ已ニ示シタル諸方法ヲ以テ陳述ノ正當ナルコトヲ証ス可シト請求スルヲ得○若シ前ニ反ノ被保者ガ陳述シタル代價ヲ保險者ガ承諾シ又ハ其代價ニ付キ同意ヲ表シタルトキハ保險者ハ其承諾アルヲ以テ被保者ニ陳述ノ正當ナルコトヲ證ス可シト求ムルヲ得ザルナリ其同意ヲ表シタルハ被保者ニ其證ヲナスノ責ヲ免シタルナリ其承諾シタルコトハ斯ク解スルヨリ外ニ意義ナシ故ニ若シ保險者ガ被保者ニ對シテ陳述ノ代價ノ不當ナル旨ヲ申述スルトキハ其不當ナル證據ハ之レヲ保險者自カヲ立テザル可カラス是故ニ保險證書中ニアル承諾シタル代價又ハ同意シタル代價(ウワルール、アグレエー)又ハウワルール、コンヴェニユ、ド、グレ、ア、グレ)ノ文言ハ證據ヲ立ツルノ責任ヲ被保者ヨリ保險者ニ移スノ効アルニ過キサル者トス荷物ニ付キテノ佛、國、保、險、證、書、第、十、五、條、ハ、右

文言ヲ余輩ノ如ク解釋スルヲ許サザルガ如シ蓋シ其條ニ曰ク「代價ニ
 付キ承諾ヲナスト雖トモ保險者ハ保險者ヨリ消失又ハ損害ノ償ヲ請
 求スルトキハ實價ヲ證明スルコトヲ請求スルヲ得且ツ其法外ノ場合
 ニ於テハ被保ノ高金ヲ減スルヲ得云云」ト本條ニ依ルトキハ承諾シタ
 ル代價ノ文言アルニ拘ハラズ被保者ニ證據ヲ立ツルノ責任ヲ負ハシ
 ムルナリ是レ余輩ノ考ニテハ佛國保險證書ノ一弊ナリトス蓋シ保險
 者ハ反對ノ證據ヲ立ツルハ自己ニ取リテ難キコト、ナシタルノ故ナ
 ラン果シテ然ラハ物件ノ評價ヲ承諾セザルニ如カザルナリ一旦承諾
 シテ之レヲ奉セザルハ其文言ヲ記シテ其意義ヲ捨ツルナリ此ノ
 十五條ハ佛國保險證書中ノミナラズ「巴里及ヒ「ホルド」」ノ保險證書中
 ニ於テモ新定ノ條ナリ此ノ條ハ荷物ニ付キテノ佛國保險證書ヲ他ノ
 諸地方ニ於テ認用セザルノ一原因タルナラン乎

或ハ一步ヲ進メテ保險者ニ承諾シテ保險證書中ニ記シタル評價ニ對
 シテ反對ノ証ヲ立ツルノ權ヲ奪フヲ欲スルモノアラシク是レハ承諾
 シタル代價ノ語意ヲ其權ヲ奪フノ意義ニ解釋シ又ハ其權ヲザルコ
 トヲ明記シ以テ爲メテ得ルナリ此ノ如キ意見ハ之レヲ許スコト能ハ
 ス而シテ契約者雙方互ニ其事ヲ明ラカニ承諾シ其文言ヲ明記スルモ
 其權ヲ奪ヒ其權ヲ棄ルコト能ハザルナリ何トナレハ是レ保險契約ノ
 本然ノ性質ヲ變更スレハナリ若シ評價ニ對シテ保險者故障ヲ述フル
 能ハサルトキハ互ニ同意ノ其評價ヲ法外ノ高ニ記シ保險契約ヲ賭博
 ト變セシムルコトアルナリ是レ余輩ノ論シタル如ク法律ニ於テ禁ス
 ル所ニシテ且ツ第三百三十六條ハ何レノ場合ヲ問ハズ保險者ニ評價
 シ匡正スルノ權ヲ與フナリ即チ

第三百三十六條 被保險物件ノ評價ニ於テ詐僞アル場合又ハ假設ノ場

合又ハ偽造ノ場合ニハ保險者ハ其物件ノ検査又ハ評價ヲナサシムルヲ得但シ民事又ハ刑事ノ總テノ訴訟ヲナスコト妨ケザル者トス

(第千三百三十七號) 第三百四十條ハ契約ニ於テ物件ノ評價ヲナサシムリシトキ全ク特別ノ場合ニハ第三百三十九條ハ適用セザルモノトス即チ

第三百四十條 物ト物ト交換シテ通商ヲナス國ノ歸リ荷物ニ付キ保險契約ヲナシタル其荷物ノ評價ヲ保險証書中ニナサザルニ於テハ其評價ハ交換ニ於テ與ヘタル荷物ノ代價ニ運送ノ諸入費ヲ加ヘタル高ニ準シテ爲スモノトス

又第三百三十八條ハ外國貨幣ヲ以テ物件ヲ評價シタルコト付生ズベキ爭訴ヲ判定シタリ即チ

第三百三十八條 凡ソ物件ニ付テ其代價ヲ契約ニ於テ外國貨幣ヲ以

テ定タルモノハ其定タル貨幣ガ其保險證書ノ手署ノ時ノ相場ニ從ヒ佛蘭西ノ貨幣ト交換スル價額ニ從テ評價ス可シ

第三 被保金高ノ事(第三百三十二條第十六項)

(第千三百三十八號) 被保金高ハ余輩ノ前ニ於テ論シタル評價ト同一ノ數ヲ以テ保險證書ニ記スコト多クアリト雖トモ二者互ニ混同ス可カラザルモノトス評價ハ被保者ガ物件ノ消シタルトキ受ク可キ損害ノ高ヲ示スナリ被保金高(ソノムアージュレ)ハ其損害ノ高ニ付テ保險者ガ引受クル高ヲ示スナリ若シ保險契約チ一人ノ保險者ガナシタルトキハ被保ノ金高ハ物件ノ評價ノ高ト同一ナリ然レトモ其保險契約チ數人ノ保險者ガ連續シテ段々コナシタルトキハ各保險者ガ保險シタル金高即チ被保金高ハ評價ノ高ノ一部分ニ當ル例ヘハ百ノ價額チ一人ノ保險者ハ其二十ニ付キテ保險シ其次ノ保險者ハ其十ニ付キテ

保險シ又次ノ保險者ハ其四十二付キテ保險スルノ場合ノ如シ又被保者ハ保險契約ニ於テ物件ノ代價ヲ皆ナ全ク保險セシメザルコトアリ例ヘハ百ノ價額ノ中六十ノ價額ノミテ保險セシムルガ如シ其被保金高ハ即チ其六十ノ價額ナリトス此ノ場合ニ於テハ被保者ハ其餘額四十二付キテハ所謂自カラ保險者タルナリ

若シ被保金高チ保險證書中ニ示記セザルコトアルトモ其レガ爲メ保險契約ハ無効トナラサレナリ此ノ場合ニ於テ他ノ記載ノ件々ニ依リテ其金高チ知ルチ得ルトキハ其記載ノ件々以テ金高チ定メタルモノトス例ヘハ通常ハ保險料チ被保金高ノ百分ノ若干高ト約定ス此ノ場合ニ於テ保險料ノ高チ示記スルハ之レ其被保金高チ知ルガ如シ如何ナル記載ノ件々ニ依ルモ其ノ金高チ示記セザルトキハ保險者ハ被保者受クル損害ノ金高チ保險セタルモノトナス是故ニ其被保金高ハ評

價ト同一ノモット看做スナリ

或ハ間フテ曰ク明定ノ約束ナキトキハ保險者ハ評價ノ高ヨリ以外ニ義務ヲ負フコトナキヤト○保險者ハ明定ノ約束ナシテ評價ノ高ヨリ以外ノ高ニ付キ價ヲナスノ義務ヲ負フコトアリ夫レ物件ノ所有者ハ奇怪ノ如クナリト雖トモ其物件ノ代價チ失フヨリ猶ホ餘計ニ損失チ受クルアリ例ヘハ保險契約ニ於テ海船チ百ト評價シ航海ノ途中ニテ毀損チ受ケ之レチ修繕スルニ六十チ費セタリ其後海船消失シタリトセンコト海船ノ所有者ハ百六十チ失フナリ保險者ハ其所有者ニ對シテ右ノ如ク受ケタル損害チ皆チ保險シテ償フコトチ約スルチ得之レチ名ケテ無限保險契約(アシユランス、イリミテト)ト云フ此ノ如キ保險契約ハ舊ト行ハレタルト雖トモ今日ニテハ全ク行ハレザルナリ明約ナキトキハ其契約チナシタルモノト推定スルチ得ザルナリ請フ其

理由ヲ説カン夫レ無限保険契約ハ保險者ヲシテ無限ノ損害ヲ被保者ニ償ハシムルナリ而シテ保險者ハ前以テ其損害ノ高ヲ知ルコト能ハス且ツ之レヲ知ル能ハザルノミナラス之レヲ概定スルヲ得ザルヲ以テ其損害ノ高ニ準シテ保険料ヲ約定スルヲ得ザルナリ我ガ法律ニ於テハ無限保険契約ヲ推定スルヲ得ザルノ前理由ヨリ最モ明確ナル理由アリ即チ海船ノ所有者ハ海船ノ價額ヨリ餘計ニ損失ヲ受クルハ至テ稀レナルコト是レナリ夫レ第二百十六條第二項ニ從フトキハ所有者ハ船長ガ航海中約定シタル義務ヲ海船ト其海船ノ賃貸料トノ價額ヨリ以外ニハ自カラ負擔セザルモノトス又海船ノ修繕ハ何レノ場合ニ問ハズ大体ハ船長自カラ金ヲ借入シテ以テ之レヲナス而シテ海船ノ所有者ハ海船ノ全ク消失シタルトキハ其借入ノ金高ヲ償還スルノ義務ヲ免カル、ナリ○蓋シ保險者ハ自カラ示記シタル金高ハ自己ノ

義務ノ制限ヲ示スモノニシテ其金高外ニハ決シテ償ヲ拂フコトナキヲ明約スヘキモノトス(荷物ニ付キテノ佛國保險證書第十三條及ヒ船体ニ付キテノ佛國保險證書第十六條參看スヘシ)

第四 積荷ノ證據

(第千三百三十九號) 此ノ證據ヲ立ツルハ船能ニ付キテノ保險契約ヲナシタルトキコノミ必要トスルナリ其證據ハ何レノ場合ヲ問ハズ大体ハ積荷目錄ニ由リテ生ス積荷目錄ガ第二百八十一條及ヒ第二百八十二條ニ定ムル所ノ諸法式ヲ具備シタルニ於テハ假令保險者ガ積荷目錄ノ記名ノ一人ヲバト雖トモ保險者ニ對シテ積荷目錄ハ完全ノ證據トナルモノナリト第二百八十三條ニ於テ定ムルナリ(第百二十七號參看)若シ海船ノ全ク消滅シタル場合ニ積荷ヲ證明スル諸證書其海船ト共ニ消滅シタルトキハ積荷ヲ證スルニ足ル一切ノ方法ヲ以テ之

レテ證スルコトヲ得斯ク其証據ヲナスノ自由權ハ法律ニ於テ之レヲ行フノ特別ノ法式ヲ定メザルヲ以テ決シテ之レヲ制限ヒズ充分ニ許サベシ可カラズ

但シ第三百四十四條及ヒ第三百四十五條ハ通常ノ證據ノ充分ノ信用ヲ呈セザル場合ニ於テ二三ノ注意ノ規則ヲ制定ス其證據ノ充分ノ信用ヲ呈セザルトハ或ハ船長ノ手署シタル積荷目録其自カラ積荷主タルニ於テ證據トナラス(第三百四十四條或ハ積荷主又ハ水夫若クハ船客ノ持來リタル積荷目録真正タルノ保證少クシテ或ハ船長ト押合フテ作リタルノ恐レアルトキ云フナリ)第三百四十五條即チ

第三百四十四條 船長ノ計算ニテ其指揮スル船舶ニ積入レテ保險セラルタル積荷ノ損失シタル場合ニ於テハ其船長ハ保險者ニ對シ其積荷ノ買入ヲ證明シ且ツ乗組人中重立タル者二名ノ手署シタル其

積荷目録ヲ供與スルノ義務アルモノトス

第三百四十五條

凡ソ乗組人及ヒ船客ニシテ外國ヨリ保險シタル積荷ヲ佛蘭西ニ持來ル者ハ其積荷ヲナス土地ニ於テ其積荷目録一通ヲ佛蘭西ノ領事ノ手ニ殘シ置ク可シ若シ其領事ナキトキハ商人ナル著名ノ佛蘭西人又ハ其土地ノ裁判官ノ手ニ殘シ置ク可シ

第五 前ノ諸規定ノ制裁

第三百五十七條 積入レタル物件ノ價額ヲ超過スル金高ニ付キテ承諾シタル保險又ハ保險ノ契約ハ被保者ノ方ニテ欺詭又ハ詐僞アルコトヲ證セラレタルトキハ被保者ノミニ對シテ無効ナリトス

(第千三百四十號)

商法典ハ本條ノ場合ニ於テ被保者が欺詭又ハ詐僞ヲ行フタルモノトス此事實ハ推測ス可キモノニアラズ故ニ保險者ハ被保者が欺詭ヲナシ又ハ詐僞ヲ行フタルコトヲ證明セザル可カラズ

○若シ此ノ證明チナシタルトキハ法律ハ被保者ノミニ對シテ保險契約ヲ無効トナスナリ是レ保險者ハ或ハ其契約ヲ執行スルトモ又ハ航海ノ終ルヲ待テ判決ヲ以テ其契約ヲ取消ストモ自由ナルコトヲ示スノ意ナリ契約ノ一般ノ原則ニ依ルトキハ右ノ場合ニ於テハ其目的物ノ缺クルニ由リテ保險契約ハ完全ノ無効トナル可キナレドモ本條ニ於テハ不完全ノ無効トナスガ如シ(王令第三編第六卷第二十二條)斯ク解スルハ皮相ノ見ナリ深ク考フルトキハ立法者ハ保險者ガ物件ノ安着シタルトキハ償金ノ名義ヲ以テ保險料ノ金高ヲ得ルノ權アルコトヲ示シタルナリ何トナレバ保險者ハ此ノ場合ニ於テハ保險契約ノ無効ヲ申立ルコトヲ得可クナレバナリ且ツ海難ノ到來シタルトキハ其無効ヲ申立テ償ヲ拂フノ義務ヲ免カル、ヲ得可ク固ヨリ此ノ場合ニ於テハ或ハ著大ナルカモ知レザル損害ノ償ヲ拂ハサルヲ申立ルノミニテ他ニ償金ヲ

求ムルコトハアラザルナリ本條ニ於テ法律ノ用キタル文言ハ法律上ニテ論スルトキハ甚タ不當ナレドモ實際ノ結果ハ其當ヲ得タル文言ヲ用キタルトキト同様ナリトス(普通法ニ於テハ完全ノ無効ト不完全ノ差異アルナリ然レドモ其ノ差異ハ本論ノ場合ニハ第四百三十二條ノ期滿得免ノ期限ヲ五年ト定ム○ベズリド氏第千三百三十八〇アロゼー氏第二千四百四十八如是)

第三百五十七條ハ保險者ガ被保者ノ陳スル評價ノ法外ナルヲ知リテ之レニ承諾シタル場合ニハ適用セザルナリ勿論目的物ノ缺タルキ(民法典第千八百八條)又ハ賭場若クハ勝負ノ所爲アルトキハ保險契約ハ完全ノ無効トナルモノトス(民法典第千九百六十五條)併シ保險者ハ何レノ場合ヲ問ハズ保險料ヲ我が所得トナスノ權ナキナリ

第三百五十八條 若シ欺詭モ又詐僞モアラザルトキハ其契約ハ約定シタル評價又ハ爲サシメタル評價ニ從フテ積入レタル物件ノ價額

ニ充ツルマデ適法ナルモノトス
 損失ノ場合ニ於テハ各保險者ハ其保險シタル金高ノ割合ニテ其損
 失ヲ贖償ス可キモノトス
 其保險者ハ其超過ノ價額ノ保險料ヲ受ク可カラズ然レドモ百分ノ
 一ノ半ノ償金ヲ受ク可シ

此ノ場合ニ於テハ被保物件ノ實價ニ準シテ被保シタル金高ノ超過ノ
 高ニ付キテハ保險契約ノ取戻アルナリ然レドモ被保者ノ過失アルヲ
 以テ保險者ハ償金トシテ被保金高ノ半即チ百分ノ一ノ半ノ金額ヲ
 受クヘシ法律ハ物件ノ爲サシメタル評價又ハ其約定シタル評價ヲ以
 テ超過ノ高ヲ算定スルノ基準トナシタリ然レドモ若シ約定シタル評
 價ノ高其物件ノ實價ヨリ超過シタルコト證明セラレタルキハ契約ハ
 其超過高ニ付キテハ余輩ノ前條ニ付キテ示シタル原則ニ從フテ無効

トナルナリ而シテ其ノ超過ノ高ニ付キテハ無効トナルモ保險者ハ償
 金ヲ求ムルコトナキモノトス

(第千三百四十一號) 第三百五十九條 同一ノ積荷ニ付キ詐偽ナクナ
 サレタル保險契約數個アリテ其ノ最初ノ契約積入レタル物件ノ全
 價額ヲ保險シタルトキハ其契約獨リ成立ス可シ
 其以後ノ諸契約ヲ手署シタル諸保險者ハ義務ヲ免カル可シ其諸保
 險者ハ各被保金高ノ百分ノ一ノ半ノミヲ受ク可シ
 若シ積入レタル物件ノ全價額最初ノ契約ニ依リテ保險セラレザル
 トキハ其以後ノ諸契約ヲ手署シタル諸保險者ハ其契約ノ日附ノ順
 序ニ從フテ其超過ノ高ヲ引受ク可シ

本條ニ於テ保險契約ノ儘カナル日附ニ附與シタル利金如何ノニトハ
 余輩已ニ之レヲ論シタリ蓋シ日附ノ最新ナル保險契約ハ最舊ナル日

第三百六十一條 若シ保險契約ヲ示定シタル數艘ノ船舶ニ積入ル可
 キ荷物ニ付キ其各船舶ニ付キテノ保險金高ヲ定メテ別々ニナシタ
 ル其全部ノ積荷ヲ一艘ノ船舶ニ積入レ又ハ其契約ニ於テ示定シ
 タル船舶ノ數ヨリ少數ノ船舶ニ積入レタルニ於テハ保險者ハ假令
 示定シタル一切ノ船舶ノ滅失スルトキト雖トモ其積荷ヲ受ケタル
 一艘又ハ數艘ノ船舶ニ付キテ保險シタル金高ノミヲ擔當ス可シ且
 ツ其保險者ハ取消トナリタル保險契約ノ金高ノ百分ノ一ノ半ヲ受
 ク可シ

若シ被保者各海船ニ付キテノ保險ノ金高ヲ定メテ之レヲ契約ニ記シ
 タルトキハ保險者ハ海船ニ付キテハ其海船ニ割付シタル金高ノミヲ
 負擔スルモノトス假令其海船ニ約束ヨリ餘計ニ荷物ヲ積込ムトモ又
 同一ノ保險者ガ保險シタル荷物ヲ積込ム可キ他ノ各海船ニ少量ノ荷

物ヲ積込ミテ滅失スルトモ決シテ之レニ關係セザルナリ是レ其約束
 ナ嚴然適施スルニ過キザル所トス○若シ被保者諸海船中一艘ノ海船
 ニハ餘計ニ荷物ヲ積入レ又ハ其一艘ノ海船ニ荷物ヲ全ク積入ル、コ
 トヲ欲セシナレハ初メ之レヲ保險者ニ告ク可キナリ

第三項 危險ヲ確定スル事

(第千三百四十三號) 余輩ハ危險ノ條件ヲ確定スルノ緊要ナルトテ再
 言セザルベシ其危險ハ保險者ノ義務ノ目的物タルモノナルヲ以テ之
 ナ確定スルノ緊要ナルハ言テ俟タザルナリ
 此ニ確定スベキ三箇ノ事件アリ即チ左ノ如シ

- 第一危險ノ場所タル海船○第二航海及ヒ其條件○第三危險ノ時限
- 第四ニハ余輩右諸事項ニ付テ法律ノ裁判ヲ説カントス

第一 危險ノ場所タル海船ノ事

(第一千三百四十四號) 海船ハ其保險契約ノ目的物タルキノミナラズ荷物ニ付テノ保險契約ニ於テモ被保物件ノ危險ヲ受クベキ場所タル限リハ契約中ニ如何ナル海船ナルカヲ記スベキモノトス危險ノ輕重損害ノ多少ハ海船ノ製造ノ良拙、噸數ノ輕重、年限ノ舊新、其性質ノ善惡ニ大ニ關係スルハ世人ノ知ル所ナリ、是故ニ世界ノ總テノ船舶ヲ以テ通商ヲナス者ヲ利スル事ニテ荷シモ參考トナル諸件ハ皆之ヲ網羅シテ世人ニ知ラシムル爲メ一社ヲ設立シタリ、佛蘭西、ロイ、ト云フ其諸件ハ其社ニテ發行スル雜誌ニ記載ス其記載實ニ精確ニシテ實用ニ便ズ之ヲ名ケテ「ウエリタ」ト云フ

海船ノ如何ナル船ナルカヲ叙記スルノ方法ニ付テハ余輩ハ海船ニ付テ保險契約ヲ説明シタル時ニ論シタリ之ニ讓リテ此ニ再論セズ○海船ヲ叙記スルニ當テ相違ノ廉アル時ハ保險契約ハ取消サルヘシ(第三

百四十八條)

保險者ハ荷物ヲ保險スル時ハ其荷物ヲ積入ルヘキ海船ヲ儘ニ叙記スルヲナサバラシムルヲ得而シテ其荷積ヲ如何ナル海船ニ積入ル、モ之ニ關セズ其荷物ヲ保險スルヲ得ルナリ之ヲ名ケテ「イヌコウ」イヌノ保險ト云フ(第三百三十七條比較)是レ海船モ亦保險契約ノ目的物タルニアラザレバ解スベカラザルナリ動保險證書ノ場合ノ如ク不確定ノ海船ニ就テ保險ヲナシタル時ハ被保者ハ其海船、何レノ海船ナルヲ知リタルキハ直ニ其海船ノ名前ト其海船ニ付テノ被保ノ金高トテ保險者ニ知ラシムベシ是レ多クノ保險證書ニ於テ別段ノ明文ヲ以テ定ムル所ナリ(荷物ニ付テノ佛國保險法書第七條ヲ參照スヘシ)余輩ハ第三百六十一條ニ於テ被保者ガ約束スル所ニ從テ積荷ヲナサバルキノ罰ヲ説キタリ(第一千三百四十二號ヲ參照スベシ)

(第千三百四十五號) 第三百三十二條ハ海船ノ名前ノ外ニ船長ノ名前ヲ記スベキモノトス此記載ハ海船ノ受クル危險ニ大ニ關係スルナリ何トナレハ海船及ヒ荷物等ノ安全ハ船長ノ航海業ニ巧ナルト拙ナルト其性ノ剛勇ナルト否トニヨレハナリ故ニ其船長ノ名ヲ記スルコトニ於テ相違ノ廉アル時ハ保險契約ヲ取消スコトヲ得船長ノ名前ヲ記スルハ最モ緊要ノコトアリ即チ保險者ガ船長ノ「ハラトリ」(船長ノ一切悪行ノ物ヲ脱漏スルコト日寄難船ヲナスコト其他船ノ持主)ヲ云フ例ヘハ荷ガ艤裝者等ニ對シテ行フタル取財ノ悪行ヲ云フ)ヲ保險シタル場合は是レナリ若シ船長ノ名前ヲ記シテ別ニ條件ヲ定メサル時ハ被保者ハ保險者ノ承諾ヲ得スシテ理由無ク船長ノ變更スルコトヲ得ストス但シ余輩ハ其名前ヲ記シタル船長死去シ又ハ病ニ罹リ又ハ全ク乗船スルコトヲ得サル故障ヲ生シタル場合ニハ其船長ヲ代換スルモ元止ヲ得サルニ出テタルコトナルヲ以テ保險契約ヲ取消スコトナキモノトス其

理由ヲ説カン○凡ソ契約ハ其双方間ニ於テ互ニ不意ヲ衝キ事ヲトス様ノコトナク其雙方不意ニ困難ヲ蒙ラシムルコトナキ様ニ解釋シテ執行スベキモノトス船長ノ死去シタル場合ニ於テ被保者其交代ノ者ヲ任セサル時ハ保險者ニ對シテ罪ヲ得其責ニ任ズベキナリ故ニ交代ノ者ヲ任スルコトハ被保者ノナスベキ義務ニシテ之ヲナスヲ禁スベカラサルナリ○保險者ハ全ク止ヲ得ザル場合ニ於テハ其船長ヲ代換スルコトヲ承諾セザルヲ得サルナリ

且又保險者ハ或ハ船長ノ名前ヲ保險證書ニ記載セス或ハ被保者ニ船長ヲ勝手ニ變換スルコトヲ許シテ其船長ノ善惡ニ付テ生スル保證ヲ拋棄スルコトヲ得ヘシ是レ斯クナスハ實際大ニ行ハル、所ナリ而シテ其代リニ誰ニテモノ文言ヲ船長ノ名前ノ後ニ記スルハ文例トナリタリ然リト雖モ其文言ヲ明記セザル時ハ其文言ハオノツカラ保險證書中

ニ包含スルモノト推定スルヲ能ハザルナリ

第二 航海及ヒ其條件ノ事

(第千三百四十六號) 第三百三十二條第十項及ヒ以下ハ「荷、物、ヲ、積、入、レ、タル場所又ハ荷、物、ヲ、積、入、ル、ベ、キ、場、所、又、ハ、其、海、船、ガ、出、帆、シ、タル、ベ、キ、港、又、ハ、其、海、船、カ、出、帆、シ、タル、港、又、ハ、其、海、船、ガ、積、荷、ヲ、ナ、シ、若、シ、ク、ハ、荷、卸、ヲ、ナ、ス、ベ、キ、港、若、ク、ハ、ト、ラ、イ、ド、又、ハ、其、海、船、ガ、入、ル、ベ、キ、港、若、ク、ハ、ト、ラ、イ、ド、」ト保、險、證、書、ニ、記、ス、ベ、シ、ト、定、ム、是、等、ノ、記、載、ハ、危、險、ノ、有、無、及、ヒ、其、輕、重、ヲ、知、ル、ニ、付、テ、必、要、ノ、モ、ノ、ト、ス、夫、レ、航、行、ス、ル、洋、海、航、行、ス、ベ、キ、海、邊、時、候、入、津、ス、ベ、キ、諸、港、寄、港、ノ、度、數、ノ、如、キ、ハ、危、險、ノ、有、無、輕、重、ヲ、推、知、ス、ル、ヲ、要、ス、ル、ナ、リ、就、中、港、ニ、危、險、ヲ、呈、ス、ベ、キ、港、ト、變、害、ヲ、受、易、キ、港、アリ、又、諸、港、ニ、立、寄、ル、ヲ、多、ク、レ、バ、危、害、ヲ、受、ク、ル、ヲ、恐、レ、多、シ、何、ト、ナ、レ、バ、海、船、ノ、危、災、ヲ、受、ク、ル、ハ、常、ニ、港、口、又、ハ、河、口、ニ、出、入、ノ、時、陸、地、ノ、近、傍、ニ、於、テ、多、ク、シ、テ、洋、中、ニ

於テ却テ至少ナレバナリ

(第千三百四十七號) 第三百三十五條第二項及ヒ以下 保、險、契、約、ハ、戰

時、又、ハ、平、時、若、ク、ハ、船、舶、ノ、航、海、前、又、ハ、航、海、中、ニ、爲、ス、ヲ、得、
保、險、契、約、ハ、往、路、及、ヒ、歸、路、ト、ニ、付、又、ハ、唯、其、二、路、ノ、一、ニ、付、又、ハ、航、海、ニ、
付、又、ハ、限、定、シ、タル、時、間、ニ、付、爲、ス、ヲ、得、
又、總、テ、ノ、航、海、ニ、付、及、ヒ、海、上、河、上、航、ス、ヘ、キ、堀、割、上、ノ、總、テ、ノ、運、送、ニ、付、
爲、ス、ヲ、得、

本條ニ於テハ第三百三十二條ノ記ス所ノ諸件ノ外ニ一件ヲ加記ス即
チ「戰、時、又、ハ、平、時」ノ「ヲ」ヲ記載スル是レナリ之ヲ保險證書ニ記載スルハ
必要ナリトス夫レ保險者戰時ノ危險ヲ保險セスト雖モ戰時ニ於テ船
長海船ヲ運轉スルヲ平時ヨリ最危害ナルヲアリ且又戰時ニ於テ航路
ヲ伸張スルハ平時ヨリ最モ害ヲ受クルヲノ恐レアリ其他ハ推シテ知

又本條ニハ保險契約ハ航海中ニモ爲ストテ得ルト定ム是レ保險者ニ害アルコトアラズ却テ航海中ニ保險ヲナスハ危險ヲ受クルコトノ恐レ初ヨリ少ナリトス但シ其被保者ハ保險ヲナス時海船ノ有スル形狀ヲ精細ニ保險者ニ陳告セサルヲ得ス尤モ其知り得ル件々ヲ述フルヲ以テ足レリトス(第三百四十八條及ヒ第三百六十條及ヒ以下第千三百五十一號第千三百五十四號參看スベシ)

本條第三項及ヒ以下ハ航海ノ定方ノ各種類ヲ記ス今其各種類ニ就テ論ゼン○先ツ第一ニ單航ヲ保險スルコトヲ得之ヲ詳言スレハ二箇ノ港ノ間ノ航行ニ付受クル所ノ危難ヲ保險スルコトナリ固ヨリ此場合ト雖モ余輩ノ後ニ論スル如ク其危難ノ始マルノ時及ヒ其終ルノ時ヲ明定スルヲ要スルナリ單航ト雖モ之ヲ分テ其一部分ノミヲ保險スルコト

得例ヘハ一線路ヲ航海スルニ於テ保險者ハ佛國ヨリ赤道マテノ危難ヲ保險シ又他ノ保險者ハ赤道ヨリ指定港マテノ危難ヲ保險スル場合ノ如シ○又前ニ反シテ單航ヨリ以上ノ航海ヲ保險スルコトアリ例ヘハ往路ノ航海ト歸路ノ航海ト共ニ保險スルガ如シ此航海ヲ名ケテ複航ト云フ(複航ヲ保險シタルキハ指定港ニ滞在中ノ危難ヲモ保險スルナリ往路ノ航海ト歸路ノ航海ト分テ別々ニ保險スルキハ右滞在中ノ危難ヲ保險セズ)而シテ其保險契約ヲアシコラレス、アブリ、アロゼー、氏第二千五百五十五號)而シテ其保險契約ヲアシコラレス、アブリ、イム、リエー、ト云フ(譯シテ重科保險契約トス)連航ヲ保險シタルキモ複航ヲ保險シタルキノ如ク指定港ニ滞在中ノ危難ヲ保險スルナリ連航トハ原名ウ、ヤ、イ、シ、ユ、ア、ン、カ、ラ、ウ、リ、ト云フ者ニシテ各數港ヲ航行スル數箇ノ小航海ヨリ組成スルモノヲ云フ其立寄ル各數港ニ於テハ船長荷物ヲ御シ又荷物ヲ積入レ遂ニ斯クシテ元ノ出帆ノ港ニ立歸ルナリ○又單航ノ保險契約ノ中ニ「フ、エ、イ、ル、エ、シ、エ、イ、ル」(梯子スルノ意)又「フ

エール、ニスカル（前同意）ノ文言ヲ記ス。得即チ約定ノ諸港ニ立寄ル
 一又ハ航海中勝手ニ各港ニ立寄ルヲ得ルヲ約定スルナリ其約定
 ナナスノ趣旨ハ航路ヲ少シニテモ變更シ即チ甲港ヨリ乙港ニ至ルノ
 直線路ヲ少シク離ル、一ニ依リテ直ニ保險契約ハ取消サル、ヲ以テ
 之ヲ避ルノ目的ニ外ナラサルナリ梯子航海ト連航トノ相異ナル所ハ
 梯子航海ニ於テハ各港ニ立寄リタルキニ海船ノ積荷ヲ全ク卸シテ更
 ニ積荷ヲナサマルコアリ○保險契約ハ期限ヲ定メテ之ヲナスコアリ
 之ヲ期限附ノ保險契約ト云フ此場合ニ於テハ其期限内ニ幾干ノ航海
 ナラストモ又一航海ノ一部分ダケヲナストモ決シテ之ヲ心配スルコ
 及ハサルナリ此保險契約ハ古昔ハ沿海航ノ場合ノミニナシタリト雖
 モ現今ハ定時航海ヲナス海路ニ付テハ其航路ノ非常ニ遠遠ナルキト
 雖モ期限附ノ保險契約ヲナスコ行ハル、ニ至レリ第三百六十三條ハ

右保險契約ニ付キ一ノ解釋ヲ與ヘタリ其解釋ハ當チ得タル者トス即チ

第三百六十三條

若シ保險契約ヲ限定シタル時間ニ付キナシタルキ
 ハ其時間ノ經過シタル後ハ保險者ハ自由ナリトス又被保者ハ新規
 ナル危難ヲ保險セシムルヲ得ベシ

若シ保險契約ヲ限定シタル時間ニ付且設定シタル航海ニ付ナシタル
 キハ其保險契約ハ約定時間ノ經過スルカ又ハ其約定ノ航海終ルカニ
 條件ノ内一條件ヲ終リタルキハ直チニ消滅スルモノトス是レ此契約
 ノ自然ノ意義ナリトス但シ他ニ契約者反對ノ存意アルコトヲ證スベキ
 モノアルキハ前段ノ例ニアラズトス

期限附ノ保險契約ヲナシタル場合ニ於テハ被保者ハ己レノ欲スル所
 ニ海船ヲ運航セシムルヲ得ルナリ然レモ別段ニ盟約ノ或ル航海ヲ
 ナシ又ハ危難多キ或ル海岸ヲ近傍チ航行スルヲ禁止スルコト往々アリ

トス例ハババ里、ポルドーノ保險證書ニ於テ何レノ時候ヲ問ハス(エ子
 ガール)ノ近傍及ヒ冬時北海ヲ船行スルヲ禁止シタルガ如シ(第四條)
 重料保險契約又ハ期限附ノ保險契約ニ於テハ保險者ハ被保金高ヨリ
 以外ニハ決シテ損失ヲ償ハザルヲ以テ其契約ハ被保者ニ取リテ不便
 トナスナリ夫レ被保者ハ數港ニ於テ海船ニ巨額ノ修繕ヲナスヲ要ス
 ルヲテリテ其海船爲メニ最初ノ價ヨリ四倍或ハ五倍モ高價ノモノト
 ナルナリ而シテ其海船ノ消失シタルキハ被保者ハ最初ノ價ヲ表示ス
 ル被保金高ノミヲ受ク是レ被保者ノ不便トナス所ナリ此不便ヲ除ク
 爲メ船体ニ付テハ佛、國保險證書ニ於テハ(第十六條)保險契約ノ單一ナ
 ルニ關セス被保者ガナス所ノ各航海ニ付キ損失ノ算定ヲ別々ニナシ
 被保者ハ其各算定ニヨリ被保金高ニ充ツルマデ損失ヲ償フベシト定
 ム是レ被保者ニ於テハ大便利タリ尤モ保險者ハ其割ニ準シテ保險料

ヲ収ムルハ論ヲ俟タサルナリ

(第千三百四十八號) 以上余輩ノ陳スル所ニ由テ「ウ、ワ、イ、ヤ、イ、シ、ユ、レ、
 ル」譯シテ實行航海トス(「ウ、ワ、イ、ヤ、イ、シ、ユ、ア、シ、ユ、レ、
 ト」區別セサル可ラス尙ホ其外ニ「ウ、ワ、イ、ヤ、イ、シ、ユ、レ、ガ、
 ト」譯ス)ト云フモノアリ實行航海トハ海船ノ或ル港ヲ出テ他ノ或ル港
 ニ入ルノ間ニナシタル航海ヲ云フ被保航海トハ右航海ノ一分部又ハ
 數實行航海ヲ合シタル航海又ハ實行航海ノ數部分ヲ合シタル航海ニ
 ノ保險契約ニ於テ保險シタルモノヲ云フ公定航海トハ船長出帆ノ時
 船内ニ携提シタル諸書面ニ於テ規定シタル航海ヲ云フナリ(第千百
 三十九號參看)

第三 危險ノ時間

(第千三百四十九號) 期限附ノ保險契約ニ於テハ危險ハ何時ニ始リテ

何時ニ終ルカ其時間ハ保險契約ヲナシタル期限ノ始ト終リトニ依リ
 テ定メラレタルヲ以テ別ニ論スベキナキナリ(但シ注意スベキナリ
 限内ニ生ノ其原因保險前ノ海上損失ニアル時ト雖モ保險者若シ其規
 上損失ノ生シタル時其海船若シ保險シタルニ於テハ其損失ノ保險者
 者之ヲ拂ハザルハ其損失トスルモ其海上損失ノ生シタル時保險者未
 保險セサルハ其損失トスルモ其海上損失ノ生シタル時保險者未
 然レモ千八百八十三年見ルベシ)

然レモ航海ヲ保險シタル場合ニ於テハ其航海ハ何時ニ始マリテ何時
 ニ終ルカヲ知ルヲ易クナラザルナリ即チ
 第三百四十一條 若シ保險契約危険ノ時間ヲ規定セサルハ危険ハ
 第三百二十八條ニ於テ運契約ニ付規定シタル時間ニ於テ始マリ且
 終ルモノトス

第三百二十八條 若シ危険ノ時間契約ニ於テ規避セラレサルハ其
 期間ハ海船諸綱諸器具諸艙裝諸食料ニ付テハ海船ガ出帆シタル日

ヨリ指定ノ港又ハ指定ノ場所ニ投錨シ又ハ碇泊シタル時間マテ經
 過スルモノトス
 荷物ニ付テハ危険ノ時間ハ其荷物ガ海船ニ積入ラレ又ハ其海船ニ
 運送スル爲メ小艇ニ積入レタルヨリ其荷物ガ陸揚ケラルマデ經
 過スルモノトス

本條第二項ハ荷物ニ付保險ヲナスキ其證書中皆之ヲ記載ス但シ其諸
 證書中ニハ商法典ニ定ムル所ヨリ時間起算ノ點ヲ最モ明確ニ荷積又
 ハ荷卸ノ時ヲ以テ其時間ヲ計算スルノ基礎トス商法典ノ如ク積入ノ
 日又ハ陸揚ノ日ヲ以テ其基礎トナサルナリ尤モ商法典編纂者ノ精
 神ニ於テハ荷卸ノ時又ハ荷積ノ時ト同時ニ用ヰタルナラン
 船体ニ付テハ保險契約ニ於テハ各地方ノ保險證書ヲ見ルニ危険ノ時
 間ニ付規定スル所商法典ノ定ムル所ヨリ其區域最廣シトス佛國保險

証書ノ如キハ從來ノ習慣ヲ取テ其約定ノ條トス(第六條)其證書ニハ保
險ノ時間ハ海船ガ荷物ヲ積ミ始メタル時ヨリ經過シ指定ノ場所ニ投
錨シ又ハ碇泊シタル後十五日ヲ經テ終ルモノトス十五日ノ期限ハ荷
卸ノ爲メニ猶餘シタルナリ積荷ヲナスニ付テハ其極度ノ期限ヲ定ム
ルヲ必要ナラストモテ定メサルナリ艤裝者ハ可成速ニ荷物ノ積荷ヲ
ナサシムルヲ以テ己ノ利益トスレハナリ

(第一千三百五十號) 第三百六十二條 若シ船長積荷ヲ補足スル爲メ又
ハ之ヲ交換スル爲メ各種ノ港ニ入ルノ自由權ヲ有シタルキハ保險
者ハ保險シタル物件ノ危難ヲ其物件ノ船内ニアルキノミ引受クル
モノトス但シ反對ノ契約アルキハ此限ニアラズ

本條ノ主意ハ保險者ガ「ガハール」(此物ヲ本船)及ヒ「アレーシユ」(船量ヲ輕
メ荷物ヲ卸シ之)ニ積入レタル荷物ノ危難ヲ保證セザルモノトスルニ
シ積入ル小船)ニ積入レタル荷物ノ危難ヲ保證セザルモノトスルニ

アラサルコトハ一般ニ許ス所ナリ(第三百二十八條)ノ末段其主意トスル
所ハ未ダ船ニ積入レズシテ陸ニアル荷物ノ危難ヲ保險契約ハ前以テ
取結ヒ且海船モ其荷物ヲ積入ル、ノ支度ヲナシタルヲ以テ其契約ノ
目的物ナリトノ口實ヲ陳シテ保險者ヲシテ其危難ヲモ引受ケシムル
コトヲ防クニアリ是レ「ルイ」第十四ノ王令ニ於テ本條ニ與ヘタルノ意
義ナリ而シテ商法典ニ於テモ其意義ヲ取リタルモノニシテ他ニ其反對
ノ意義アルコトヲ證スルモノナシトス(王令第三編第六卷第三十三條)

第四 法律ノ裁制

第三百四十八條 凡ソ被保者ノ方ヨリ「レ」ヲサレシムル(云フベキ事ヲ
取消ス)又云フ「タル」故「ラ」ニ「虛空」ノ陳述保險契約ト積荷目録ト
間ノ相違ノ件ニシテ危難ノ見込ヲ減少又ハ其危險ノ目的ヲ變更シ
シメタルモノハ保險契約ヲ取消スベシ

保○險○契○約○ハ○假○令○ヒ○レ○チ○サ○ン○ス○又○ハ○虛○空○ノ○陳○述○又○ハ○相○違○ノ○件○被○保○物○
件○ノ○損○害○又○ハ○消○失○ニ○影○響○チ○來○タ○サ○バ○ル○ト○雖○モ○無○効○ナ○リ○ト○ス○

(第一千三百五十一號) 余輩ハ今論スル第三項ノ外ニ商法典ニ於テ本條
ヲ適施シタルト屢々アルト見出シタリ蓋シ被保者ノ誰レナルトチ
示記シ又ハ被保物件ノ何物タルトチ示記スルニ相違ノ事トアルトハ
危難ノ輕重有無ヲ推考スルニ就キ大影響ヲ及ボスニアリ其大影響ヲ及
ボスコハ余輩ノ第三項ニ論シタル危險ヲ確定スルトニ於テ最モ甚タ
シトス其細精ナルハ余輩已ニ之レチ説キタレハ此ニ之ヲ再陳セザル
ナリ○法律ハ被保者ノ保險證書中ニ陳述スベキ件々チ定ム余輩ハ以上
ニ於テ之チ説明シタリ然レモ猶ホ他ニ附從ノ陳述スベキ事件アリ是
レハ法律ニテ必ス陳スベシトハ定メズ故ニ又余輩ノ是レマテ論シタ
ル件々中ニ入ラサルナリ然レモ危難ノ見込チ下スコニ付テハ非常ニ

關係ヲ來スモノナリ固ヨリ之チ法律ニ於テ命定セサルハ其件々ハ常
コチキトコトチ場合ニ依リテアルトナレバナリ右附從ノ陳述スベキ
件々トハ「ウエリタ」發行局ニテ海船ヲ其雜誌中ニ記載スルトチ拒絕シ
タルトノ如キ是レナリ又航海中保險ヲナシタルトハ其時々海船ノ形
狀ヲ定メタル陳述ノ件ノ如キ是レナリ此場合ニ於テハ被保者ハ自カ
ラ知ル所ノ一切ノ件々チ細密ニ陳述セザルチ得ス就中出帆ヨリ經過
シタル時間、航海中遭遇シタル變災、殊ニ又第三百六十五條中ニ入ラザ
ル不穩ノ風説及ヒ到來スベキ中ニ到來セザルキハ其遲延ノト是レ等
ノ件々ハ被保者ノ陳述スベキモノトス
右等ノ場合ニ於テ右等ノ件々チ單ニ陳セズ又單ニ僞リタル等ノ如キ
通常ノ「レチサンス」ハ虚空ノ陳述トシテ罰セサルチ得ズ尤チ真正ナル
虚空ノ陳述タルモノハ通常ノ「レチサンス」ヨリ最モ酷ニ罰セラル、モ

ノトス(若シ虚空ノ陳述危難ヲ審定スルコトニ全ク關係ナキハ)保險契約ヲ取消スルコトナキモノトス(右ノ諸場合ニハ)保險契約ハ無効トナルモノトス○又保保契約ハ假令「レチサンス」又ハ虚空ノ陳述ヲ欺詭又ハ詐偽ヲ以テ爲サズ唯タ被保者ノ事實ヲ知ラス善意ニテ爲シタル時ト雖モ無効トナルヘシ何トナレバ其欺詭又ハ詐偽ノ場合ヲ別ニ罰スルノ諸條アレハナリ

裁判官ハ「レチサンス」又ハ虚空ノ陳述ガ危難ノ具込テ下ニ事ニ影響ヲ及ボシタルカ否ヤノ事ヲ事實ニ付テ判定スルノ全權ヲ有スルモノトス是ニ反シテ「レチサンス」又ハ虚空ノ陳述ガ結約者就中保險者ノ右危險ノ輕重有無ヲ推定スルコトニ影響ヲ及ボス時ハ假令危難ノ到來ノ後其生セシメタル損失ノ多寡輕重ハ陳告セザル事項又ハ偽リタル事項ニ決シテ關係セサル時例ヘハ海船ハ戰ノ爲メ臟裝シタルコト陳告セシメテ後風波ノ爲メ消失シタル時ト雖モ其保險契約ハ無効ナリト

大其理由ヲ説カン○夫レ第三百四十八條第二項ノ主意ハ余輩ノ論意ニ外ナラサルナリ○且ツ保險者ヲシテ相當ノ保險料ヲ得セシメスレテ己レノ考ヘタル所ヨリ巨大ノ損失ヲ償ハシムルハ公平ノ理ニ合セサルモノトス

(第千三百五十二號) 前ニ於テ保險契約ハ無効トナルコトヲ説キタリ無効ニモ種々ノ性質アリ故ニ其無効ノ性質如何ノ問題ヲ論定セサルベカラス夫レ其無効ノ性質ハ場合ニ依リテ異ナリ一体ニ論ス可ラズ左ニ其場合ヲ論スヘシ即チ「レチサンス」又ハ虚空ノ陳述緊要ノ事項上ニ存シ現實ノ危險ハ陳述ノ危險トハ全ク他物ノ如クナリタル時ハ保險者ガ義務ノ目的物ニ錯誤アリタルモノトス故ニ其保約契約ハ完全ノ無効トナルナリ故ニ被保者ト雖モ其無効ヲ申立ルコトヲ得ルナリ○若シ前ニ反シテ其錯誤危險ノ諸條件ニ就テ存スルモハ保險契約ノ目的

物ノ物質上ニ錯誤アルモノトス故ニ其契約ハ不完全ノ無効トナルナリ(民法典第千百十條參看)

若シ前ノ如ク錯誤ノアルヲ認知セラレテ保險契約完全無効トナリタル時ト雖モ其契約ハ有式ノ契約ニ非サルヲ以テ契約者更ニ承諾シテ其保險契約ヲ有効トナスヲ得ベシ是レ其契約ヲ認知シタルト同様ナルモノトス○被保者其保險契約ノ無効タルヲ訴ヘ保險者ヲシテ其危険ヲ償ハシメタル時ハ被保者ハ暗ニ其契約ヲ認知シタル者トスルハ論ヲ俟タサルナリ故ニ被保者ハ其保險料ヲ拂ハサルヲ得ズトス

(第千三百五十三號) 右ノ場合ニ於テハ被保者ハ保險者ニ對シテ損害ハ償ヲ拂ハザルヲ得ル乎法律ハ此問題ニ付規定スル所ナシ然レモ右等ノ場合ニ於テハ大体ハ被保者ノ方コト過失アルナリ若シ其過失ア

レハ被保者ヲシテ償ヲ拂ハシムルニハ商法典中明定スレトナキモ民法典第千三百八十二條ヲ適用スルヲ以テ足レリトス諸家過半ノ說ノ如ク猶一步ヲ進メテ右場合ニハ其他ノ保險契約ノ取戻トナリタル場合ニ於ケル如ク其償金ヲ見積リテ豫メ定メタル規則ヲ適用セザルヲ得ズトス余輩ノ考ニテハ第三百四十八條ノ場合第三百五十七條及ヒ第三百五十八條ニ於テ定メタル區別ヲ適用スベキハ論ヲ俟タザルトス即チ危険ノ推定ヲ變更セシムベキレヲヤンス又ハ虛空ノ陳述被保者ノ欺詭又ハ詐偽ヨリ出テタル時ハ其被保者ハ償金トシテ保險料ノ金高ヲ拂ハサルヲ得ス○若シ其被保者ノ過失アル時ハ被保者ハ償金トシテ被保金ノ二百分ノ一ヲ拂フベキモノトス斯ク區別ヲナスハ如何ナル理由ノ在テ存スルカヲ説カン夫レ第三百四十八條ハ第三百五十七條及ヒ第三百五十八條ノ如ク保險契約ノ目的物上ニ錯誤アリ

タル場合ヲ定ム故ニ第三百四十八條ト右ニケ條トハ其定ムル場合相類似スルナリ故ニ第三百五十七條及ヒ第三百五十八條ヲ適用スベキナリ猶ホ一步ヲ進メテ第三百五十七條ト第三百五十八條トニ於テハ第三百四十八條ニ包含スル所ノ一ノ場合ヲ直接ニ定ムルモノト云ハサルヲ得ズ夫レ積荷ノ不足アルハ(第三百五十七條及ヒ第三百五十八條)乃チ保險契約ト積荷目録トニ記ス所ノ相異ナリタルニ外ナラザルナリ(第三百四十八條)故ニ第三百四十八條一ノ場合ト第三百五十七條ト及ヒ第三百五十八條トノ場合トハ二ニ區別シアレトモ其實ハ一ノ場合ナルニ相異ナル規則ヲ適用スルヲ能ハザルナリ

(第一千三百五十四號) 若シ保險契約ヲナス時ニ危險既ニ終リテ之ヲ結約者ノ知ルベキ時ハ其契約ハ完全ノ無効トナルナリ何トナレハ契約ノ目的物ナケレバナリ(民法典第一千二百二十六條ヲ參照スベシ)即チ、

第三百六十五條 凡ソ保險契約ニシテ被保物件ノ消失シタル後チ又ハ到着シタル後ニナシタルモノハ若シ其契約ノ手署前ニ被保者ガ其被保物件ノ消失シタルヲ知ルベキト又ハ保險者ガ其被保物件ノ到着シタルヲ知ルベキトノ推測アル時ハ無効ナリトス

本條ヲ反對視シテ解釋スル時ハ左ノ結果ヲ生スベシ即チ結約者双方被保物件ノ消失又ハ到着ノ一ヲ全ク知ラサルニ於テ契約ヲナスル多分ハ終リタルベキ危險ヲ保險スルヲ得ルモノトスル是レナリ又右場合ニ於テ假令ヒ其契約ヲナシテ後ニ契約ヲナセシキニハ危險ハ既ニナキトシテ認知スト雖モ其契約ハ適法ナリトス夫レ右ノ場合ニ於テハ其保險契約ニハ之ヲナシタルキハ目的物ハ存セザリシナリ尤モ其契約ノ時ニ既ニ危險ナカリシナリ然レモ是レ其雙方ノ者ノ知ラサル所ナリ被保者ハ自カラ保險ヲ受クヘシト信シ保險者モ亦タ危險アル

モノト信シタルモ互ニ約シテ其危険ヲ保險スルヲ能ハサルノ理由ナキナリ固ヨリ其契約ハ偶然ノモノナルヲ以テ保險契約一切ノ性質ヲ備有スルナリ

若シ前ニ反ノ其双方中一方ノ者其契約ヲナス時危険ハ既ニ終リタルヲ知リタル時ハ決シテ偶然ノコトアラサルナリ故ニ保險契約ナキモノトス且ツ其一方欺詭ヲナシタル時ハ他ノ一方ニ其償金ヲ拂ハサルヲ得ザルナリ○法律ハ右ニ陳スル諸原則ヲ適用スルコトニ付法律上ノ推測ヲ加定シテ第三百六十六條ニ於テ其推測ヲ詳明コナスナリ即チ

第三百六十六條 每一時間ニ一ミリヤメートルノ四分ノ三ト計算シテ船舶ノ到着ノ地又ハ其消失ノ地或ハ其到着又ハ消失ノ最初ノ通知ガ達シタル地ヨリ其通知ガ保險契約ヲナシタル地ニ其契約ノ手

署前ニ達シ得ベキ時ハ右推測ハ成立スルモノトス但シ其他ニ其證據アル時ハ之ヲ以テ證スルモ妨ケナシ

是レ實際ニ於テ一時間ニ一ミリヤメートルノ推測ト云フ此推測ハ音信到來ノ猶餘ノ期限ノ大數ヲ定メタルモノナリ故ニ反對ノ證ヲ許サザル推測ナリトス但シ双方契約者前以テ約定ヲ爲シ第三百六十六條ノ規定ニ反對ノコトヲ定メタル時ハ右ノ限リニアラズ(第三百六十七條然レモ孰レノ場合ニテモ一方ノ者右期限ノ前ニ音信ヲ實際知リシコトヲ證スルコトヲ得第三百六十六條ニ其他ニ其證據アルモ之ヲ以テ證スルモ妨ケナシト云フハ蓋シ此等ノ場合ヲ定メタルナリ

此推測ハ期限ノ大數ヲ定メタリト雖モ當今交通ノ迅速ナルニ比スル時ハ其當ヲ得ズ是故ニ保險契約書ニ於テ第三百六十六條ノ定期ニ反スルヲ常トス一方ノ者危険ノ止ミタルコトヲ自カヲ知リシコトヲ證スル

ハ至難ノトトス此證ヲ避クル爲メ保險契約書ニ於テ第三百六十六條ノ推測ノ代リニ他ノ推測ヲ設ケ一方ノ者ノ居住スル土地ニテ音信ノ知レタル時ハ其者ハ其時ニ音信ヲ知リタルモノトス此推測ハ甚ダ正當ナリ(船体ニ付テノ佛蘭西保險書第二十九條及ヒ船能ニ付テノ同保險書第十八條ヲ見ルベシ)

第三百六十七條 然レモ若シ善キ消息又ハ惡キ消息ノ上ニテ保險ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記シタル思量ノ許容セザルモノトス此場合ニ於テハ契約書手署ノ前ニ被保險人船舶ノ滅盡ヲ知リ又ハ保險人船舶ノ到着ヲ知リタルノ証アルニ非ザレバ契約ヲ取消ス可ラズ

善キ消息又ハ惡キ消息ノ上ニテ保險ヲ爲シタル時ハ第三百六十六條ニ記セル思量ヲ拋棄シタルモノトス而シテ其結約者雙方ハ危險ノ

消滅シタルトニ就キ直チニ自ラ知ル所ノ證據ヲナスベキナリ運送中荷物ノ買主又ハ其荷物ノ積荷目録ニ從テ荷爲換チナシタル銀行者ニ抵當ニテ保險契約書ヲ交付スベキ時ハ前ノ如ク善キ消息又ハ惡キ消息ノ上其契約書中ニ保險ヲナシタルトヲ記スルヲ要用ナリトス何トナレバ其保險契約書ヲシテ第三百六十六條ニ據リ無効トナラシメサルノ必要ナルヲ以テナリ○又前ノ如キ善キ消息或ハ惡キ消息ノ上保險ヲナシタル箇條ハ商法典ニ記セル保險契約書ヲ以テ契約上ノ書付ニ代ヘタルモノト思量スルヲ爲サ、ルノ効アリ斯ノ如ク其箇條ヲ解釋スルハ船舶ニ付テ爲シタル佛國保險契約書中ニ規定シテ許ス所タリ(第十八條前ノ如キ箇條ヲ保險契約書中ニ記スハ慣例ニシテ普通ノ文言タルモノトス)

(第一千三百五十五號) 第三百六十八條 被保險人ニ對スルノ証アル場

合ニ於テハ被保險人ヨリ保險人ニ其保險料ノ二倍ノ高キ拂フベシ
被保險人又ハ保險人ノ中ニテ其證ヲ立テラレタル者ハ刑法上ノ起
訴ヲ受クベシ

本條ニ定ムル所ハ刑罰ノ性質アリ何トナレハ保險契約者ノ中ニ過失
アル者ヨリ拂フ所ノ險料ノ二倍ノ金高ハ他ノ一方ノ受ケタル損害
高キ超過スルヲ通常一般ノコナレバナリ夫レ保險人損失ナクシテ被
保險人ヨリ約定ノ保險料ノ拂ヲ受クル時ハ少シモ危險ヲ受ケザルガ
故ニ已ニ充分ニ利益ヲ得タルヤ明カナリ況ンヤ其ニ倍ノ高キ受クル
ニ於テチヤ又被保險人未タ保險料ヲ拂ハズシテ今之ヲ拂フヲ要セザ
ル時ハ是亦其利益ヲ有スルヤ明ナリ況ンヤ其已ニ之ヲ拂ヒシ時其二
倍ノ金高ノ返還ヲ受クルニ於テチヤ是レ普通法ニ於テ自己ガ資本ノ
使用ヲ妨ケラレタル時最モ其損害ノ償ヲ得ル金高ヨリ過額ナリトス

○右ニ述ヘタル如ク其保險料ノ二倍ノ高キ拂フハ即チ一ノ刑ニシテ
其刑タルヤ一己人ノ利益ト爲ルモノナリ是我法典中特別ノコニシテ
羅馬法ニ於テ刑罰外ノ訴權ニ付キ許シタルコトヲ採リシモノナリ斯ク
本條ハ特種ノ性質アルト雖モ之ニ從テ以テ二倍ノ保險料ノ支拂ヲ申
渡スルハ全ク刑事裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト推論スルコト能ハサル
ナリ(余輩ガ全クノ語ヲ用キタリシハ假令其裁判管轄ノ商事裁判所ニ
タル犯罪ノ民事上ノ結果ニ付テ常何トナレハ刑事裁判所ハ通常右ノ
如キ申渡ヲナスコトナケレハナリ商事裁判所ニ於ケルモ同一ナリトス
尤モ第三百六十八條ハ右申渡シノ裁判權ハ商事裁判所ニ任シタルモ
ノト解スルハ至當ナリ商事裁判所ニ於テハ是レノミナラズ保險契約
ノ有効無効タルコトモ判定スルナリ斯ク本條ヲ解スルコトハ其條ノ末
項ニ據レハ明白タリ何トナレハ刑罰上ノ起訴ヲ爲スコトヲ刑事裁判所

ニ任シタレバナリ之ニ依ル時ハ前二項 裁判管轄ハ全ク刑事裁判所ニ屬セザルコト明瞭トス

第四項 保険料

(第千三百五十六號) 保険契約ニ於テ保険料ト云フモノハ猶ホ買賣契約ニテ代價ト云フガ如シ何トナレバ保険契約ヲ解シテ安心ノ買賣ナリト云フコト得レバナリ故ニ保険料ハ保険契約ヲ以テ定ムルヲ要ス(民法典千五百九十一條)若シ保険料ヲ定メザル時ハ保險契約アラサルモノトス但シ明カニ之ヲ定メサルモ其契約中他ノ箇條ニ據リテ其事自ラ定メアル場合ハ此例ニ非ストス其場合トハ例ヘバ保險料ノ高チ保險金高ノ幾割ト定メテ其保險金高チ契約書中ニ記セル場合ノ如キ是レナリ(民法典第一五九二條)若シ保險料ヲ受ケズシテ保險ヲナシタル時ハ之チ一種特別ノ契約ナリトス其契約タルヤ固ヨリ有効ナリト雖

凡贈與ノ性質タルヲ以テ贈與ノ手續ニ從ハザルベカラズ

保險料ハ大体貨幣ヲ以テ仕拂ヲ爲スト雖モ商品又ハ保險人ノ負フタル借金ノ差引ニテ之ヲ仕拂フコトアリ又交誼ニ報ユル爲メ之ヲ爲スコトアリ是レ買賣契約ト異ナルノ一ナリ

保險料ハ保險金高ノ幾割ト定ムルハ普通ノコトナレモ其契約ヲナス時ハ雙方ニ保險金高ノ未タ知レザルニ當リ豫シメ保險料ヲ幾許ノ金高ト定メテ保險ヲナスコトアリ○保險料ノ額ハ種々ノ情狀ト場合トニ從リテ一定ナラズ即チ航行ノ難易海上ノ性質着スベキ港ノ性質氣候ノ變遷戰時又ハ平時荷物ノ性質ヨリ生スル危難戰時禁制品、密賣品、氣發物又ハ可燃物ノ如シ又ハ被保物件ノ所有者ノ身分交戰國ノ人民ナルカ又ハ中立國ノ人民ナルカノ類如何ニ因リテ保險ノ額ヲ定ムルナリ且又積荷ノ毀損ヲ受ケルノ性質如何ニ因リテ保險料ヲ定ムルナリ是

等ノ情狀ニ從リテ保險料ノ額ヲ計算スルハ甚タ錯雜タルヲ以テ之ヲ避ケ是等ノ情狀ヲ其計算中ニ加入スル爲メ或ル方法ヲ用キタリ其方法トハ荷物ニ就テ海上損失ノ計算ニ係リ其賠償ノ除免ヲ約束スル是レナリ

(第千三百五十七號) 戰時ナルト平時ナルトニ依テ保險料ノ額ニ非常ノ變更ヲ來タシ且ツ危險ノ生スル時又ハ其危險ノ生セザル前ニ於テ其時代變遷シ遽然トシテ和戰孰レニ定ルコトアリ斯カル場合ニ於テ保險契約雙方ノ者豫メ之ヲ見サル時ハ其時代ノ變遷ニ從リテ約束ノ保險料ヲ増減スベキモノナルヤ否ヤ此問題ニ就テハ方今其解説一ナラズ最終ノ世紀ニ於テ參事院ノ判決二個ハ時代遽カニ平和ト爲ル場合ニハ保險料ノ減少スベキコト命ジタリ其判決ハ千七百四十八年一月十六日及ヒ千七百四十九年一月二十六日ニアリ然ルニ諸口學士ハ此

判決ハ自由ニ取結ヒタル契約ヲ遵奉スヘキ原則ヲ破リシモノトシ大ニ之ヲ誹謗セリ余輩ハ然ラズ是レ眞トニ理アリトス(民法典第千三百三十四條)其說ニ曰ク保險契約者雙方ハ初メ契約ヲ結フニ當リ時代ノ變遷ハ豫シメ之ヲ見ルヘキナリ然ルニ之ヲ豫見セザルハ其豫見セザリシ者ノ不注意ニシテ其結果ハ自ラ之ヲ負ハサルヲ得ズ且ツ其初メ契約スルヤ雙方之レガ額ヲ定メテ而シテ後ヲ如何ナル事變ニ遭遇スルモ豫シメ見テ定メタル者ナレバ其保險ヲ契約セシモノナルヤ明白ナリ故ニ判決ニ於テ其保險料ノ減價ヲ命スルハ則チ非ナリト商法第百四十三條ハ此說ヲ採ル而シテ本條ニ於テハ豫シメ保險料増減ノ一ヲ契約セザレハ之ヲ許サズ即チ左ノ如シ

第○三○百○四○十○三○條 平○和○時○保○險○料○ヲ○定○メ○而○シ○其○後○若○シ○戰○闘○ノ○起○ル○コ○ト○ア○ル○時○ハ○之○ヲ○增○加○ス○ベ○キ○旨○ヲ○約○定○シ○タ○ル○ノ○ミ○ニ○シ○テ○保○險○ノ○契○約○書

ニ其増加ノ量額ヲ定メザル時ハ裁判所ニ於テ其危険ト景況ト各個ノ保險契約書ノ約定トニ注意シテ其増加ノ額ヲ規定スヘシ

(第千三百五十八號) 保險料ハ通常之ヲ定ムルニ種々ノ方法アリ保險契約ノ種類ニ從テ之ヲ異ニス若シ一航海ニ付キ保險契約ヲ爲シタルキハ其保險料ヲ一定ノ額又ハ保險金高ノ幾割ト定メ而シテ往復ノ航海ニ就テ爲シタル時ハ往復ヲ合シテ一ノ保險料ヲ定ム此場合ニ於テハ往復ノ航海ニ就テ定メタル保險料ヲ以テ保險契約ヲナシタルモノト云フ(佛文之ヲ「アープリムリユ」ニ就テノ保險契約ト云フ)月定ニテ保險契約ヲナシタル時ハ保險料ハ月々若干ト定ム此場合ニハ日數一ヶ月ニ滿タズト雖モ一月ト見做ス(船体及ヒ船能ニ付テノ佛蘭西保險契約書第二十三條第六項ニ見ルベシ)○保險料ヲ定ムルハ概テ以上述ベタル如クナレモ尙他ノ方法ニ依リテ之ヲ定ムルコト得且他ノ方

法ニ依テ保險契約ヲナシタル時ハ他ノ計算法ヲ以テ保險料ヲ定ムルコト得ルナリ

(第千三百五十九號) 古昔ノ習慣及ヒ王命ニ從フ時ハ(王令第三編第六章第六條ヲ參看スベシ)保險料ハ現金拂タルベキモノトス之ニ因テ佛文之ヲ「プリム」ト云フ「プリム」トハ初メニ拂フノ義ナリ(「プリム」トハ保險料ノコナリ)商法典ニ於テハ斯ノ如キコトヲ定メズ且ツ通常ノ保險料ハ保險契約ノ後數時間若クハ數日又ハ數月ヲ經テ之ヲ拂ヒ或ハ危険ノ消滅シタル後ニ於テ拂フガ故ニ危険ヲ受ケタル場合ニハ保險金高ト保險料トヲ差引勘定スルコトアリ毎テニ多クハ被保險人が保險料ヲ拂フノ義務ヲ記シタル切手ヲ以テ證明シ其切手ヲ以テ保險料ヲ拂フニ代用ス故ニ之ヲ名ケテ保險料切手ト云ヒ佛文之ヲ「ヒュードブ」ト云フ此切手ハ流通スルモノニシテ或ハ船ノ到着シタル後ニ

アラザレバ流通スルヲ得ズト定ムルヲアリ蓋シ船ノ到着シタル後ハ
結契約双方ニ於テ争ヒテ生ゼザレバナリ此法「ホルトウ」府ニテ大ニ巧
ニシテ慣行セリ

保險料切手ヲ授受スルモ爲メニ其契約ノ變更ヲ來スヲ無シ何トナレ
ハ其變更ハ結約者双方ノ意志ニ非ザレバナリ(民法典第千二百七十三
條)故ニ保險人ニ對シテ陳述スヘキ抗辨ハ何レノ場合ヲ問ハズ其切手
ノ所持人ニ向テ述フルヲ得又所持人ハ何レノ場合ヲ問ハズ保險料
ノ支拂ヲ擔保スル先取特權ヲ有ス(第千三百六十九號ヲ見ルベシ)

第五項 再保險契約並保險料ヲ保險スル契約

第三百四十二條 保險人ハ其保險シタル品物ヲ更ニ他人ヲシテ再
保險セシムルヲ得ベシ
被保險人ハ其保險ノ費額ヲ保險セシムルヲ得ベシ

再保險料ハ初ノ保險料ヨリ更ニ少ク又ハ更ニ多キヲ得ベシ

(第千三百六十號) 本條第一項ハ再保險ノ何者タルヲ解シ且ツ之ヲ爲
スヲ許ス蓋シ保險人ハ自ラ或ル危險ヲ保証セシ者故ニ他人ヲシテ
己レガ責任ノ全部又ハ其一部ヲ免カレシムルハ當然ナルヲ以テ之ヲ
許サトルノ理由ナキナリ再保險契約ノノニ就テハ嘗テ通常保險契約
ノノニ付テ述ベタル總テノ事ヲ適用スベシ(再保險契約ニ於テハ再被
多額ヨリ意外ノ金高ナ保險スルハ其初メ保險シタル金高ノ全部ヲ失フ
タル場合ニ於テハ再保險人ハ其初メ保險シタル金高ノ全部ヲ失フ
ヲナシ何トナレバ其金高ノ一部ハ已レガ受ケタル保險料ヲ以テ償フ
ヲ得レバ他人ヲシテ故ニ其保險料ヲ扣除シタル上其殘保險金額ノニ
ラザレハ他人ヲシテ故ニ其保險料ヲ扣除シタル上其殘保險金額ノニ
ウワレハ令第三編第六章第二十條註解ルモニエ「氏第百四十五丁、
○反對ニハエミゴシユウイ氏第百四十五丁、
ド氏第百四十九號) 本條第三
項ニハ再保險料ハ初メノ保險料ヨリ更ニ少ク又ハ更ニ多キヲ得
ベシト故サラニ之ヲ記載セリ蓋シ初メノ保險ト再保險トハ全ク異殊

ノ契約ナルヲ以テ其保険料ニ差異アルヘシ抑モ保險者ハ安心ノ賣主
 アリ故ニ總テ商人ノ如ク其賣レタル物件ニ就テ利ヲ射ルヲ謀ルヘ
 ク若シ其物件ヲ善價ニ買フ者アレバ又之ヲ得テ利ヲ獲ルハ當然ノ
 トス故ニ再契約保險ニ於テ保險料ヲ初メノ保險料ヨリ増減シテ已レ
 ナ利スルハ至當ノトス此二個ノ保險契約ハ互ニ異殊特別アリ故ニ
 保險人自ラ破産ヲナシ其保險シタル金高ヲ全ク拂ヒ得ザルノ時ト雖
 再保險人ニ對シ再保險金高ノ全部ヲ要求スルヲ得ルナリ、
 (第一千三百六十一號) 本條第二項ニ從ヘバ被保險人ハ其保險料ハ保險
 セシムルヲ得唯々通常ノ保險ノミニテハ被保險人ハ自ラ受ケタル
 渾テノ損害ヲ償フヲ得不何トナレバ保險ノ生セシ場合ニ於テハ保
 險金額ヲ領収スルト雖再保險料ヲ拂ハザルヲ得ス其領收スヘキ保險
 金高ト其拂フヘキ保險料トヲ差引スル時ハ保險金高ノ内ニテ殘額ヲ

餘スノミ例ヘバ保險金高ノ一割ノ保險料ヲ拂ヒ一萬法^{フラン}ヲ保險セシメ
 タリトセンニ此場合ニ於テハ保險料ヲ拂ヘバ殘リ九千法^{フラン}ヲ所得トス
 ルナリ故ニ保險金高ト保險料トヲ合計シタル一萬一千法^{フラン}ヲ保險シテ
 其一千法ノ保險料ヲ保險セシムルヲ得バ前ノ如ク一千法ノ損失ヲ
 來サ、ルヘシ然レ再其保險料一千法ヲ保險セシムルニ就テハ尙又保
 險料ヲ拂ハザルヲ得ス若シ其保險料ヲ保險セシムルヲ許スヘキノ
 ミナラス保險料ノ保險料ヲ幾重ニモ保險セシムルヲ許サザルヲ得
 ス否ラサル時ハ被保險者ハ其損失ヲ道ル可ラズ今其保險料ノ保險料
 ヲ幾重ニモ保險セシメタル例ヲ左ニ示サン

海上危險ヲ受クヘキ貨
 物ノ保險、、、、一〇〇〇〇法

(第一千三百六十二號) 保險契約ノ解除ハ其契約ノトキヨリ以後ノ原因ニ由テ生シ其契約ノ取消ハ契約ト同時ノ原因ニ由テ生ス是レ其解除ト取消ト異ナル所ナリ保險契約ノ場合ニ於テハ其取消ト其解除ト併セテ「リストウルヌ」ト總稱ス、余輩ハ既ニ此語ヲ説明セシ時取消ノ原因ヲ論シタリ(第一千三百十七號ヲ參照スベシ)今ヨリ其解除ノ原因ヲ解カシ余輩ハ之ヲ左ノ三ヶニ分ツ第一結約者ノ破産ニヨツテノ解除第二被保險人ノ存意ニヨツテノ解除第三危險ノ變更ニヨツテノ解除是レナリ

第一結約者ノ破産ニ因テノ解除

(第一千三百六十三號) 本項ノ「」ヲ理解セント欲セバ其原因ニ遡ラザレ可ラス破産其者ハ契約解除ノ原因ニアラズシテ其一般ノ原因タルハ契約ノ條件ヲ履行セザル「」是レナリ(民法典第一千八百八十四條ヲ參照ス)

へし)

本條ヲ適用スルニ當リ先ツ初メニ義務已ニ履行スヘキモノトナリ而シテ一モ條件ニ關係セサル場合ヲ取ラン夫レ保險料ヲ直チニ支拂フヘキ時又ハ保險料切手己ニ支拂期トナリタル時被保險人之ヲ支拂ハザルニ於テハ保險者ハ彼レニ對シテ保險契約ノ解除ヲ求ムル「」ヲ得(民法典第一千六百五十四條ヲ參照スベシ)若シ被保險人其保險料ヲ拂フベキノ期ヲ過キ未タ之ヲ拂ハズシテ破産シタル時ハ其保險料ノ全額ヲ拂ヒ得ザル「」確實ナリ此場合ニ於テ總テノ原則ニ據ル時ハ其保險料ヲ拂ハサルヲ以テ契約ヲ解除スルヲ得ルナリ然レモ此解除ハ當然之ヲ爲ス「」ヲ得ズ破産ノ監財人ハ保險契約ヲ解除セシメサル爲メ保險料ノ全額ヲ拂フヲ以テ破産財主ノ利益ト爲ル「」アリ此場合ト同シク保險人被保險人ニ保險金高ヲ拂フヘキ期ニ至リテ破産ヲ爲シタル

時ハ被保險人ハ民法典第千八百八十四條ニ基キ他ノ條ニヨラザルモ保險料ノ支拂ヲ免ル、爲メ保險契約ヲ解除スルヲ得然レモ被保險人其解除ヲ求メテ利益ヲ受クルハ殆ント稀也何トナレバ其要求スヘキ保險金高ハ假令保險者が破産ノ爲メニ幾分ノ減少ヲ受クルモ多クノ場合ニ於テハ其保險料ニ比セバ最モ多額ナレバナリ故ニ此場合ニ於テハ被保險人ハ其契約ヲ解除セスシテ破産ノ債主トシテ其受クベキ保險金高ニ就キ破産配當ニ加ハルヲ以テ利益アルモノトス(問題此場合ニ於テハ被保險人ハ其支拂フヘキ保險料ノ金額ヲ己ノ方ニ留置キ其請求スヘキ保險金高ト差引スルヲ得ルカ被保險人ハ其保險料ノ額ニ付破産ニ因テ生シタル減少ヲ受ケザルヲ以テ己レノ利益トス故ニ被保險人ハ義務ノ相殺ニヨラスシテ(相殺ハ之ヲ爲スヲ能ハザル場負債分散ヨリ以後拂フヘキモノトナルハ)合アリトス何トナレバ一方ノ氏第百五十二號反對說ニハバルドシユ一氏第千二百二十六號)買主ノ

爲メ與ヘラレタル留置ノ權ニヨツテ其保險料ノ金額ヲ留置スルヲ得許サ、ルヲ得ス賣主ガ留置ノ權ヲ有スルハ民法典第千六百十二條第千六百十三條ニ於テ之ヲ許スナリ夫レ賣主ハ買主ノ未タ全ク代金ヲ拂ハサルニ於テハ其抵當トシテ賣リタル物件ヲ交付セサルノ權アリ之レト同シク被保險人ハ保險人ノ未タ全ク保險金額ヲ拂ハサルニ於テハ之ニ對シテ其保險料ヲ拂ハサルノ權アリ是ニ由テ之ヲ觀レバ被保險人ハ動産質ヲ有スル債主ニ與ヘラレタル留置權ト同様ノ留置權ヲ有スルナリ故ニ此事ニ就テハ商法典第五百四十七條第五百四十八條ノ諸定規ヲ適用スルヲ要ス保險人ハ被保險人ニ對シ保險金高ノ全部ヲ拂フニアラザレバ被保險人ノ抵當タル保險料ヲ請求スルヲ得ズ(第五百四十七條)若シ保險人其保險金高ヲ拂ハザルニ於テハ被保險人ハ其保險料ヲ己レニ有シ保險金額中未足高ニ付破産財主トシテ其

破産ノ配賦高ニ加フルヲ得

(第千三百六十四號) 今ヨリ保險契約者ノ義務未。覆行スヘキニ至ラサルニ先ク破産ノヲ生シタル場合ヲ説カン是レ第三百四十六條ニ於テ定ムル所ノ場合ナリ

第三百四十六條 若シ保險人が危險ノ未タ終ラサル時ニ於テ破産ヲ爲シタル時ハ被保險人ヨリ其保證人ヲ立ツルト又ハ契約ヲ取消スルヲ請求スルヲ得ベシ

保險人ハ被保險人ノ破産ノ場合ニ於テハ右ニ同シキ權利ヲ有スルモノトス(商四三七以下、四四三以下、民一八四、一八八、二〇四、二〇四、一、訴五一七以下)

本條ニ據ルトキハ保險ノ解除ニ當然生セサルモノトス破産ノ監財人本條ノ如ク保證人ヲ立ルヲ承諾スルニ於テハ其契約ノ解除ヲ免ル

ヘシ是レ定期賣買ノ場合ニ於テ民法典第千六百十三條ニ定ムル所ノ事トス即チ契約一般原則ノ適用タルニ過キサルナリ既ニ破産人ノ負債拂期トナリタルキハ破産監財人ハ其負債ノ全額ヲ拂フテ其契約ノ解除ヲ免ルヲ得之レト同シク未タ其拂期ニ至ラサルノ前ニ於テハ全額ヲ拂フヘキノ保證人ヲ立テ解除ヲ避クルヲ得○保證人ヲ立ルト否トハ破産監財人ノ隨意ニ屬スト雖モ被保險人ハ決シテ斯ノ如キ隨意ノ權ヲ許サズ本條ノ文而稍不明ナリト雖モ亦此趣意ニ反セス其不明ナルトハ佛蘭西保險契約ニ於テ此趣旨ヲ掲ケテ之ヲ正セリ(保險契約書第二十七條第十七條ヲ見ルヘシ)○以上述ヘタル如クナルガ故ニ實際ニ於テハ被保險人監財人ハ其隨意權ヲ行フコト多カルベシ何トナレバ保險契約ノ利益ハ保險者ヨリモ被保險人ノ方ニアリ之ニ反シテ保險者ノ破産人ハ保險料ニ比スレバ最も夥多ナル保險金ヲ拂フ

ニ就テハ保証人ヲ立テ最モ少額ナル保険料ヲ得ル爲メ保険ノ解除ヲ
避クルヲ勿ルベシ

保險人破産ノ場合ニ於テハ或人其保險契約ヲ解除スルニ就テノ理由
ヲ記スルモノアリト雖モ一般ノ原則ヲ以テ足レリトスルガ故ニ此說
明ニ依ルヲ要セズ假令其契約ノ解除アラサルモ被保險人ハ其保險金
高ノ全部ヲ得ル能ハス何トナレバ破産シタル保險人ニ對シ全ク之ヲ
得ル能ハズ且ツ他ノ保險人ヲシテ同一ノ危險ヲ保險セムルヲ能ハ
ザレバナリ(第三百五十九條ヲ參照スベシ)

第二被保險人ノ存意ニ從テ解除

(第一千三百六十五號) 第三百四十九條 若シ船舶ノ出帆前ニ航行ヲ止
ムタル時ハ假令保險人ノ所爲ニヨルト雖モ其保險契約ヲ取消ス者
トス其保險人ハ賠償ノ名義ヲ以テ保險高ノ百ニ付五厘ヲ收受ス

本條ヲ講スルニ當リテハ之ニ先タテ本條ヲ適用スルニ就テ欠ク可ラ
ザルノ條件ヲ知ラザル可ラス其條件ハ他ニアラズ即チ航行ノ停止船
ハ出帆前ニアルコト是レナリ若シ危險ノ生シテ然ル後チ其航行ヲ停止
スルトモ被保險人ハ孰レノ場合ヲ問ハス保險料ヲ拂ハザルヲ得ズ(第
千三百七十五條ヲ參照スベシ)此出帆前ノ語ハ決シテ其文字ニ就テ解
釋ヲ下ス可ラズ若シ保險契約者ニ於テ積荷ニ因リ危險ヲ生スルモノ
ト爲シタル時ハ此時ヨリシテ本條ヲ適用スベシ

抗拒ス可ラザル災變ニ因リ航行ヲ停止シタル時ハ普通法ノ適用ニ依
テ保險契約ヲ取消スナリ夫レ航行ナケレバ則チ危險ナシ危險ナケレ
バ則保險契約ノ目的ヲ生セザルナリ○若シ其停止被保險人ノ所爲ニ
由ル時ハ本條ニ於テ保險契約ヲ取消スコトヲ許スハ例外ノコトナラン
何ントナレハ双方適正ニ取結ビタル契約ヲ其一方ノ者ノ存意ニ依テ

取消ニ得ルハ一般原則ノ許サ、ル所ナシバナリ然リト雖モ保險契約ハ被保險者が船舶又ハ荷物ニ付射利ヲ謀ルノ附屬物ニ過キサルモノトナストハ古昔ヨリ見認ル所ニシテ亦至當ノトトス抑モ無慮百端ノ情況ヲ生スルアリテ被保險者が企テタル航行ノ目的ヲ失ハシムルヲアリ自ラ其航行ヲ止メントスル場合ニ於テ猶保險契約ヲ保存スヘキモノトスルハ酷ナリトス且ツ保險者ハ其保險契約タルヤ斯ノ如キ情狀アルニ由テ取消トナルハ性質アルハ固ヨリ之ヲ知ルヘキナリ故ニ被保險人が主タル目的ノ航行ヲ遂クルヲ能ハサル時ハ其從タル保險ハ自ラ不用トナルヘキトハ豫メ之ヲ知リツ、保險ヲナシタル者ト見做サバ爾ヲ得ズ且ツ其保險契約ノ取消トナルハ亦其利益ナリトス何トナレバ凡ソ保險ヲナスコ當リ千慮萬考歟ク之ヲ爲スト稀レナル可テレバナリ

航海ノ停止船舶ノ出帆前ニ成ル時ハ保險者ハ孰レノ場合ヲ問ハズ百ニ付五厘ノ賠償ヲ受クルノミ是レ余輩が既ニ第千三百十七號ニ於テ論セシ如ク保險ヲ爲セシニ付テノ入費其契約書ヲ記スルニ就テノ勞力及ヒ他ノ契約ヲ爲スノ妨ケトナリタルトニ付テノ賠償金ニシテ其金額ヤ法律ニ於テ豫メ之ヲ定メタルナリ此債金額ハ百ニ付五厘ヲ以テ足レリトス何トナレバ假令航海ノ停止被保險人ノ所爲ニ出ルト雖モ保險者ニ於テハ初メ契約ヲ爲スニ當リ能ク此事アルヲ知ルベキヲ以テ其保險料ヲ定ムルニ付豫メ之ヲ算入スベキ者ナレバナリ又抗拒スベカラザル災變ニ因リ航海ヲ停止スル場合ニ於テハ其債金トシテ前ノ如ク百ニ付五厘ヲ拂フベキ者トス尤モ一般ノ原則ニハ抗拒スベカラザル災變ノ場合ハ債金ヲ拂ハズト雖モ此、ニ之ヲ拂フハ即チ例外ナリ此賠償タル元是レ保險者ノ現ニ受ケタル損害ヲ償フニ過ギザ

ルモノニシテ其保險契約ヲナサシメタル被保險者ニ在テ之ヲ負擔スルハ至當ナリトス且ツ參事院ニ於テ商法草案ノ答議アリシ時立法者ハ抗拒スベカラザル災變ニ因リテ航海ヲ停止スル場合ト其他ノ原因アリテ之ヲ停止スル場合トヲ區別スルコトヲ望マザリシナリ

(第千三百六十六號) 往復ノ航海ニ付荷物ノ保險ニ於テ其荷物ヲ積入レザル時ニ拂フベキ償金ノコトヲ第三百五十六條ニ定ム其主義ハ前同
一ナリト雖モ其適用ニ至リテハ少シク變更アリ

第三百五十六條 若シ往返共ニ商品ヲ目的トシテ保險ヲ爲シ而シテ船ノ其初メ差向ラレタル地ニ達シタル上ニテ歸路ノ積荷ヲナサシムル時又ハ歸路ノ積荷ノ不充分ナル時ハ保險人其合意シタル保險料ノ割合ヲ以テ其三分ノ二ノミヲ收受ス可シ但シ之ニ反シタル約權アル時ハ格別ナリトス

或人曰ク本條ノ場合ニ於テ保險料ヲ減少スルハ甚タ奇怪ナリ何トナレハ往還ノ航海ハ契約ニ從ルキハ二個ノ航海ニアラスシテ一個ノ航海ト見做シ其保險料ヲ定メズシテ之ヲ往返ニ別々定メズ故ニ航海ヲ始メタル以上ハ已ニ危險ノ生シタルヲ以テ其保險料ノ全額ヲ拂ハサル可ラズ決シテ之ヲ減少スルノ理由ナケレバナリト夫レ或ハ然ラン然リト雖モ商法典ニ於テハ此場合ニ於テ其航海ヲ以テ一個ノモノト見做サズシテ且ツ被保險人ニハ豫メ復航海ニハ積荷アルヲ期スヘカラサルヲ以テ必ズ之ヲ保險セシムルノ義務ヲ負擔スルコトヲ欲セサルヘシ故ニ保險者ニ於テモ其復航海ノ保險ヲ特ム可ラサレナリ是レ本條ニテ保險料ノ減少ヲ免レタル所以ナリ

茲ニ本條ノ所謂償金ハ第三百四十九條ノ場合ニ異ナリ被保險者ハ往路航海ノ積荷ニ付其保險料ノ三分ノ二ヲ拂ハザル可ラズ悉ク之ヲ

解釋セハ其保險料ヲ二分ニ各半額ハ往路ト歸路トノ航海ニ適用ス而
 ヲテ其二分ノ一又ハ六分ノ三即チ往路ノ航海ニ就テノ保險料ノ全額
 チ拂フナリ之ヲ至當ト謂ハザルヲ得ズ何トナレバ全ク其航海ヲナシ
 タレバナリ且ツ其外歸路航海保險料ノ三分ノ一即チ往返ノ航海ニ就
 テノ保險料全額ノ六分ノ一チ拂ハザル可ラズ(往路ニ就テノ保險料六
 分ノ三ニ此六分ノ一チ加フレバ即チ六分ノ四トナリ六分ノ四ハ即チ
 三分ノ二ナリ)此歸路ニ就テノ保險料ノ三分ノ一ハ歸路ニ就テノ保險
 金額ノ百ニ付五厘ヨリ超過スルヲ最モ多シ故ニ一般ニ就テ論スル時
 ハ第五百五十六條ノ計算法ハ第四百四十九條ノ計算法ヨリ保險者ニ
 利益アルヲ多キモノトス
 歸路ノ航海ニ付積荷アラザル時ハ第三百五十六條ヲ適用スルヲ容易
 ナリ被保險人ハ其保險料ノ全額ノ三分ノ二チ拂フテ足レバナリ然レ

ハ歸路ノ積荷一部分アリシ時ハ本條ヲ適用スルニ疑ヒナキ能ハズ蓋
 シ歸路ノ航海ニ付積入タル荷物全部ナル時ハ保險料ノ全額チ拂ハザ
 ル可ラズ何トナレバ其積荷ノ爲メ往路ノ航海ヲ爲シタレバナリ然ル
 ニ歸路ノ航海ニ往路ノ積荷ニ相比シ積荷不足スル時ノミ其保險料
 チ三分ノ二ニ減スルナリ

本條ハ商買取引上ノ都合ヨリシテ被保險者ニ於テ歸路ニ付積荷チナ
 サル場合ノミニ適用ス往路ノ航海中船舶滅盡シタルニヨリ歸路ノ
 積荷チ爲ス可能ハサル場合ニハ適用セズ何トナレバ本條ニ於テハ船
 舶其初メニ指向ケラレタル地ニ達シタル場合ヲ期定シタル事ハ明文
 アレバナリ船舶滅盡ノ場合ニ於テハ保險料ノ全額チ拂ハサル可ラズ
 何トナレバ此場合ニ於テハ其締約者双方ノ契約ニハ歸路ト往路トノ
 危険ニ付之ヲ區別セズシテ其保險ヲ定ムレバナリ且ツ保險者ハ往路

航海ノ危険ノ場合ニ於テハ其保險金ヲ拂ハサル可ラズ然ルニ其受クベキ保險料ヲ減スルハ甚ク以テ酷ナレハナリ○以上述べタル理由ニヨリ本條ハ往路ノ航海ニ付船舶ヲ滅盡シタルヲ保險者ノ負擔スベキ事爲ニ依ラサル時ト雖モ尙適用ス例ヘハ保險者ハ負擔スヘキ事爲ニアラサル場合トハ戰爭ノ危険ヲ保險セサル場合ニ敵ノ掠奪ニヨツテ船舶ヲ失フタル場合ノ如キ是レナリ

本條ハ荷物ヲ付テノ保險ノ場合ノミヲ定ム故ニ船体ノ保險ニハ適用セサルナリ

第三 危険ノ變更ニ依テノ解除

(第千三百六十七號) 危険ハ元保險契約ノ目的タルヲ以テ其締約者一方ノ存意ニヨリ之ヲ變更スルヲ得ス故ニ其危険ヲ定ムルニ付事實ニ違フニアレバ爲メニ保險契約取消トナル又其變更アル時ハ契約ヲ解

除セラルヘシ實際ニ於テハ取消ト解除ノ二語ハ「リストルス」ノ語ヲ以テ總稱スルナリ危険變更ノ場合ニ於テモ亦然リトス而シテ商法典ニテハ其取消ノ「ト」解除ノ「ト」ハ數條ニ於テ之ヲ同時ニ定ムルナリ其數條トハ即チ第三百五十七條ヨリ第三百六十二條ニ至ルノ諸條ナリ此諸條ニハ積荷ニ相比シ保險價格ノ非常ニ超過シタル場合ヲ定ム此際ハ其契約書ノ記載ニ逕庭シタル「ト」積荷ノ時被保險人ノ意志ノ變更シタル「ト」ニヨルナリ○第三百五十一條ハ船路航行船舶ノ變更アルニ於テハ「リストルス」ノアルモノトス本條ハ又船長變更ノ場合ニモ適用ス又假令船舶ヲ保險契約書中ニ明記セサル時ニ其船舶ノ變更シタル場合ニ適用スヘシ

是等總テノ場合ニ於テハ保險者ニ償金トシテ百ニ付五厘ヲ拂ハザル可ラズ但シ未ダ危険ノ生ゼザル場合ニ限ルベシ(第三百五十一條ノ場

合ニ、第三百五十八條第三百五十九條第三百六十一條ヲ適用スベシ
○之ニ反シテ危險既ニ生シタル時又ハ被保險人ノ詐偽謀計ヲ行ヒタ
ル場合ニ於テハ保險料ノ全額ヲ拂ハザル可ラズ(第三百五十七條)

(第千三百六十八號) 第三百六十四條ハ第三百五十一條ノ定期ヲ或ル
格段ノ場合ニ限り之ヲ適用ス此場合ニ就テハ適用上少ク困難ナリ

第三百六十四條 若シ被保險人カ契約書ニ指定シタル地ヨリ更ニ遠
キ地ニ船ヲ送リタル時ハ假令其地ガ契約書ニ指定シタル地ト同一

ノ路筋ニアル時ト雖モ保險人ハ其保險ノ義務ヲ免除セラレテ保險
料ヲ得ベシ

若シ航行ノ路筋ヲ短クシタル時ハ保險ノ完全ノ効力アルモノトス

(商三五六三九一以下)

同一ノ船路ニ於テ約束ヨリ航行ヲ進ムルトモ其航行ヲ變更セザルモ

トト論ズルヲ得ルナリ此場合ニハ危險ノ増シタルトハ論ヲ俟タズ
故ニ其保險契約ヲ解除スルヲ得○此場合ニハ假令保險契約ニ於テ
約定シタル航行中ニ危險ヲ受クルトモ其船ノ方向ヲ變更シタル時ハ
保險契約ヲ解除セラル、ナリ又保險契約ニ於テ許シタル海上ニ立歸
リタル上ニテ危險ヲ受クルト雖モ一旦契約ニテ禁シタル海上ヲ航行
シタル時モ前同様ナリ

若シ航行ノ船線ヲ約束ヨリ短縮シタル時ハ保險料ノ全額ヲ拂フベシ
何トナレハ危險ノ已ニ生シタルヲ以テナリ若シ船舶方向ヲ變更シ最
初定メタル港ヨリモ近クシテ最初ノ船路上ニアリ港ニ其船ヲ差向タ
ル時ハ船路短縮ニアラズシテ變更ト謂ハサルヲ得ス但シ保險契約ニ
從ヒ最モ近キ港ニ入ルヲ要スル時又ハ不慮ノ事變、爲メ已ヲ得サル
港ニ入ルベキ時ハ此例ニアラズ、

第二節 被保險者ノ義務

(第千三百六十九號) 被保險者ノ義務ハ甚ダ簡單ナルモノナリ即チ保險料ヲ拂フノ義務是レナリ且ツ此ノ義務ハ毫モ偶生スルコトアラスシテ保險料ハ貨物安着ノ場合ニ於テモ又ハ海難ヲ受ケシトキト雖トモ之レヲ拂フ可キモノトス但シ海難ヲ受ケシ場合ニ於テハ其保險料ハ被保險者が受ク可キ賠償金ト差引勘定ヲナスナリ(船体ニ於ケル佛國保險書第二十六條貨物ニ於ケル佛國保險書第十六條參看)最モ此ノ條ニ於テハ特別ナル二三ノ規定ヲナスモ余輩ハ之レヲ講セサルナリ余輩ハ被保險者ノ保險料ヲ拂フニ付キテ與ヘラレタル通常ノ期限ヲ説明シタリ通常保險料ヲ算定スルノ方法ハ保險料切手ニ依リテ之レヲナス余輩ハ又保險者が破産ノ場合ニ於テ被保險者ハ其拂フ可キ保險料ヲ受ク可キ賠償金ノ内ヨリ差引スルコトヲ得可キ乎ノ問題ヲ論

究シ余輩ハ之レヲ得ルモノト論定セリ余輩ハ是等ノコトヲ再說セサル可シ

保險料ノ支拂ハ被保險物上ノ特權ニ因リテ之レヲ保証スルナリ最モ船体ニ關スル保險ノ場合ニ於テ然ルモノトス余輩ハ第九十一條第十項ヲ説明セントキ船体上此ノ特權ノコトヲ論究シタリ(第千三百三十六號參看)論題此ノ特權ハ貨物ニ付キテノ保險ニ及ホス可キ乎如何余輩ハ許多ノ學者ト共ニ此ノ問題ヲ可決ス特權ハ固ヨリ其區域狹隘ナル權利ナルヲ以テ類似ノ解釋法ニ依リ一般ニ之レヲ及ホスコト能ハサルハ論ヲ俟タス今茲ニ論スル場合ニ於テハ其場合相類似スルノミナラス乃チ全ク相同シ且ツ保險ノ目的船体ニアルト其貨物ニアルトニ因リテ區別ヲナスノ理由アラサルナリ法律ニ於テ唯タ船舶上ニ就テノ特權ノミヲ記載セシハ船舶ニ付キテノ特權ニ關シ特ニ數條ヲ設

ケシ故ナリ然レトモ商事ニ關スル貨物上ノ特權ハ悉ク之レヲ記載セ
 サリシ商法典第三百二十條ニ於テハ第九十一條第九項ノ定規ヲ再
 出シ之レニ加フルニ貨物ニ付キテ同項ト同シキ特權ヲ以テセリ是ニ
 由テ觀レハ則チ立法者ハ船体ト貨物トニ付キテノ特權ニ關シ異殊ノ
 取扱ヲナスノ意志ナキコトヲ知ルナリ故ニ第九十一條ノ第十項ニ
 付キテハ第三百二十條ニ於テ第九十一條第九項ニ付キテ與ヘシ解
 釋ヲ與フルコトヲ要ス是レ余輩ガ該問題ヲ可決スルノ理由ナリ
 (第一千三百七十號) 余輩ハ一ノ緊要ナル規則ヲ論セサル可カラズ即チ
 保險料ノ全額ハ危險ノ生スル時ヨリ直チニ之レヲ拂フ可キモノトス
 但シ其危險ノ生スルコトヲ止メラレタル原因如何ヲ問ハサルナリ(第
 三百五十一條第三百六十四條參看)此ノ規則ハ義務ノ原因ニ就テノ一
 般ノ原則ヨリ直チニ生スルナリ即チ保險料ヲ拂フ可キ義務ノ原因ハ

保險者ノ自ラ危險ヲ引受ケルコトヲ約束スル是レナリ故ニ其危險ノ
 生シタルヤ否ヤ保險者ハ保險料ヲ請求スルノ權アリ且ツ保險者ハ唯
 シ危險些少ノ間ノミ繼續セシキト雖トモ保險價額ノ金額ヲ拂フノ義
 務アルヲ以テ保險者ハ保險料ノ全額ヲ請求スルノ權利アリ蓋シ船舶
 ハ港外ニアルコト一時間ト雖モ全ク破損スルコトアリ是レ風波ノ爲
 オニ止ムヲ得ス再ヒ入港スルニ於テ最モ明白ナル事實ナリトス且又
 船舶信號ヲ以テ歸港ノ命ヲ受ケ以テ歸航スル時ト雖トモ亦然ルモノ
 トス殊ニ注意ス可キハ出港ノ際及ヒ陸地ノ近方ニ於テ假令風波ナク
 トモ最モ危險ヲ受クルモノナリ○若シ出港前ニ危險ヲ呆レタルトキ
 例ヘハ船舶荷物ヲ積載スルトキヨリ危險ヲ保セシトキ(船体ニ就キテ
 ノ佛國保險書第六條參看)雖トモ右ト同一ナル理由及ヒ同一ナル規
 則ヲ適用セサル可ラス即チ斯カル場合ニ於テ保險ノ目的ハ積荷ノ間

ニ最モ多キ損失ノ生スルコトアレハナリ例ハ船舶火災ニ罹リ又ハ他船ノ爲メニ沈没スルコトアレハナリ保險者ハ是等ノ危険ヲ負擔スルヲ以テ其保險料ヲ請求スルノ權利アリ

保險ノ費用ハ一般ニ被保險者ノ負擔ニ屬ス是レ特別ノ約定ナキニ於テハ民法典第千五百九十三條ノ規則ヨリ生スルナリ何トナレハ被保險者ハ物件ノ買主ト同視ス可キモノニシテ保險者ハ安全ノ買主タルモノナレハナリ且ツ保險契約ハ第一被保險者ノ爲メニ之レヲナスモノナレハナリ且又佛國保險書ニ於テハ明カニ此ノ事ヲ定ムルナリ(船体ニ關スル佛國保險書第三十一條貨物ニ關スル佛國保險書第二十條參看)

第三節 保險人ノ義務

(第千三百七十一號) 保險者ノ主タル義務ハ被保物件ノ受ケタル損失

ヲ被保險者ニ對シテ賠償スルコト是レナリ且ツ此ノ義務ハ被保金額ニ止マリ又ハ保險ニ依リテ貨物金額ヲ保險セサレトキハ保險金額ノ割合ヲ以テ其賠償金ヲ拂フナリ。○此ノ義務ハ法律ニ於テ被保者ニ貨物ヲ拋棄スルヲ許スニ因リ大ナル損失ノ場合ニ於テハ變更ヲ受ケルコトアリ即チ被保險者ハ被保物件ノ所有權及ヒ被保物件ニ付キテ有スル總テノ訴權ヲ拋棄シテ被保金ノ全額ヲ保險者ニ對シテ請求スルコトヲ得ルナリ此ノ物件ヲ拋棄スルノ權ハ以テ海難ヲ大小ニ區別スルヲ要ス即チ第一小海難是レナリ此ノ海難ハ唯々海上損失ニ付キテノ訴權ヲ生スルノミ即チ受ケタル損害ノ賠償ヲ求ムル訴權ノ生スルノミ第二大海難是レナリ大海難トハ被保險者ニ或ハ海上損失ノ訴權又ハ物件ノ拋棄ノ權ヲ其好ム所ニ因リテ與フルモノナリ、物件拋棄ノ規則及ヒ物件ノ拋棄ニ因リテ生セシムル海難ノ規則ハ第

三章ニ説キシヲ以テ余輩ハ茲ニ於テ左ノ事ヲ二項ニ分テ論究ス可シ
即チ第一項ニ於テハ保險者ノ負擔ス可キ海上損失第二項ハ海上損失
ノ算定即チ被保險者ニ拂フ可シテ海上損失ノ訴權ニ因リテ請求セ
ラル、賠償金算定ノコトヲ論究ス可シ

第一款 保險者ノ負擔ス可キ海上損失

(第一千三百七十二號) 保險者ハ被保者ニ賠償ヲナスノ義務アルニハ荷
物ノ損失海上ニ於テ生スルヲ必要ナリト雖トモ之ヲ以テ足レリトセ
ス且又危險ノ時及ヒ場所ニ於テ其損失ノ生スルヲ以テ必要トセス固
ヨリ其時ト場所トニ於テ損失ノ生スルハ缺ク可カラサルコトナリト
ス何トナレハ保險契約ノ條件及ヒ保險料ハ余輩ノ既ニ説明シタル如
ク此ノ危險ノ目的トシテ定メタルモノナレハナリ假令其場所ト其時
トニ於テ危險生スト雖トモ保險者ハ總テノ損失ヲ擔當セス例ハ被

保險者ノ過失ニ因リテ生シタル損失ノ如キ是レナリ故ニ保險者ノ擔
當ス可キ損失ハ如何ナルモノナルカヲ確定スルヲ要スルナリ
商法典ニ於テハ此ノ點ニ付キテ確定ノ原則アリ實際保險契約者ニ於
テ常ニ之レニ由ルコトナリト雖トモ之レヲ知ルハ緊要ナリ立法者ニ
據ルトキハ保險者ハ海上ノ事故ニ因リテ生シタル損失即チ海上ニ於
テ生シタル出來事ニシテ不慮ノ時變又ハ抗拒ス可カラサル力ノ性質
アルモノニ因リテ生シタル損失ノミヲ擔當スルモノトス(第三百五十
條ニ記載スル所ヲ觀ル可シ)(一)抗拒ス可カラサル力ノ中ニハ雷ニ天災
ノミナラス船舶及ヒ積荷ニ關係セサル者ノ犯シタル總テノ暴行ヲモ
含ムナリ○之レニ反シテ被保險者荷物又ハ船舶ノ所有者荷主又ハ船
長(第三百五十一條第三百五十二條參看)及ヒ乗組人(第三百五十三條參
看)ノ所爲又ハ過失即チ要スルニ被保險者ガ選擇シ又ハ承引シタルモ

ノ、所業又ハ過失若クハ物件ノ性質不慮ナルコトハ以テ損失ノ原因トナラサルモノトス(第三百五十二條參看)又通常航海費用ハ海上損失ト見做ス能ハサルナリ(第三百五十四條及ヒ第四百六條參看以上第一千二百七十號參觀ス可シ)

(二)海上損失海上ニ於テ生シタル出來事ノ結果タルニ於テハ其損失海上ニ於テ生スルコトヲ必要トセス例ヘハ海上ノ危難ニ因リテ生シタル入費第一千二百七十條參看)難船又ハ暗礁ニ乗上ケ止テ得ス荷物ノ上陸セシニ因リ荷物損失シ又ハ敵ニ略奪セラレタル如キ是レナリ(ボナエー氏第五十五號)エミッリゴン氏第十二章第二十九款)メルリン氏海上保險書第一部第十六號)バルドゥユー氏第七百七十號)ベシサンヌ氏第三卷第二百六十二丁)ルモコエー氏第七百七十四丁)ベヌワード氏第一千二百三十二號及ヒ以下)アロゼー氏第一千四百十四號參

觀本可シ

右ニ反シテ實際保險者ニ於テハ(ナント)府ノ保險書ハ此ノ限ニアラス)先ツ法典ヨリ他ノ區別ヲナスナリ即チ右保險書ニ於テハ平時ノ危険ト戰時ノ危険トヲ區別ス是レ第三百五十條ニ於テハ混同スル所ノモノナリ保險者ハ當然平時ノ危険ヲ保證スルモノニシテ戰時ノ危険ハ保險者ニ於テ特別ノ約束アル場合ニアラサレハ之レヲ保證セサルモ(トス)荷物及ヒ船体ニ付キテノ佛國保險書第一條及ヒ第二條參看ス可シ)此ノ區別ハ全ク被保險者ノ利益トナルナリ何トナレハ戰時ノ危険ハ最も多キモノナルガ故ニ最も高キ保險料ヲ拂ハサルヲ得ス故ニ若シ保險者ガ戰時ト平時トノ區別ナク共ニ之レヲ保證スルニ於テハ之レニ從フテ保險料ヲ計算シ被保險者ヨリ最も其高キモノヲ徵收スルニ至ル可シ)之ニ反シテ保險者ハ唯々平時ノ危険ノミヲ保證スルガ

故ニ通常ノ場合ニ於テハ最モ多ク保險料ヲ減少スルヲ得ルナリ且ツ
 戰時ノ場合ニ於テハ保險契約ヲ改正スルコト容易コシテ此ノ改正ハ
 豫メ保險書中ニ定ムルヲ得ルナリ○總テノ保險者ニ於テハ平時ノ危
 險中ニ船長及ヒ乗組人ノ過失及ヒ不正ノ所業ヲ含蓄セシムルナリ其
 趣旨ハ被保險者ヲシテ荷物ノ運送中ニ受ク可キ總テノ危険ヲ免カレ
 シムルニアリ被保險者ハ何レノ場合ヲ問ハス全權ヲ船長ニ與ヘ其爲
 ス所ニ放任セサルヲ得ス最モ被保險者ハ船長ヲ撰擇シ之レニ付キ注
 意ヲナスコトヲ得ルト雖トモ彼ニ欺ムカレサルヲ保スル能ハス故ニ
 被保險者ハ其過失及ヒ不正ノ所業ニ付キテノ危険ヲ免カル、ヲ要シ
 且ツ保險者ハ之レヲシテ危険ヲ免カラシメントナセシナリ、
 (第千三百七十三號) 以上ニ記セシ説明ニ據ルトキハ第三百五十條以
 下ハ之レヲ解スルコト容易ナリ

第三百五十條

風波難波ニ逢フ事暗礁暗砂ニ乗上ケル事船舶ノ衝突、
 止ヲ得スシテ船ノ路筋航行又ハ船ヲ變易スルコトニ因リ又ハ投入、
 火災捕拿、擄略、或國ノ命令ニ依レル差止、交戰ノ公告、敵ノ復讐ニ因リ
 及ヒ總テ一般ニ其他ノ海上ノ事故ニ因リ其保險セラレタル物件ニ
 付キ生シタル總テノ滅盡及ヒ損害ハ保險人ノ引受ル危険中ニア
 モノトス

本條ニ列記セル過半ノ事件ハ之レヲ解スルコト容易ニシテ毫モ困難
 ナ生セサルナリ是等出來事ノ爲メニ荷物及ヒ船舶ヲ抛棄スルヲ許ス
 ハ如何ナル出來事ナルカヲ知ルノ問題ハ之レヲ解スルコト最モ困難
 ナリトス是レ余輩ガ第三百六十九條ヲ解スルトキニ論セントスル所
 ノ問題ナリトス且ツ本條ニ列記スル事件ハ以テ本條ノ末項ニ記セル
 ガ如ク制限ヲ示シタルモノニアラス故ニ其各出來事ヲ一々説明スル

ハ甚タ緊要ナラス唯タ能ク余輩ガ前ニ説明シタル最終ノコトヲ了解
スルヲ以テ足レリトスルノミ故ニ余輩ハ唯タ其出來事中困難ナルモ
ノニ付キ二三言ヲ陳述ス可シ

船舶ノ衝突ハ意外ノコトニ因リテ生シタルコトアラサレハ保險者ニ於
テ之レヲ擔當セス(第四百七條第一項以上第千三百二號參觀ス可シ)被
保險者ノ船長過失ニ因リテ生シタル船舶ノ衝突ハ(第四百七條第二項
參看保險者ニ於テ之レヲ賠償スルヲ要セス是レ商法典ニテ船長過失
及ヒ不正ノ所業ヲ保證スルコトヲ定メサルノ結果ナリ故ニ保險書ニ
ハ此ノ區別ヲ爲サ、ルナリ

(論題)原因ノ確カナラサル曖昧ノ衝突ハ保險ノ船舶ニ歸スル部分ニ付
キテハ保險者ニ於テ之ヲ負擔ス可キヤ如何商法典第四百七條第三項
ハ雙方ノ船長ニ過ナルモノト推定スルコトヲ許スニ於テハ此ノ論

題ヲ否決セサルヲ得ス然レトモ余輩ハ此ノ說ヲ許サス且又同條第三
項ニハ衝突ヲシテ雙方ノ船舶ノ負擔トナス雙方船長(第二項ニハ船長
ト記スト雖トモ第三項ニハ然ラス)ノ負擔ニアラストナスガ故ニ余輩
ハ此ノ曖昧ナル衝突ハ船長ノ過失中ニ入ラス且何人ノ過失タルコト
明カナラサルガ故ニ其衝突ノ損害ハ保險者ニ於テ之レヲ負擔ス可キ
モノトナスナリ(第千三百二號參觀ス可シ)

第三百五十條ニ列記スル出來事ノ過半生シタルモハ不慮ノコトニ因
リテ生シタルモノト見做スナリ保險者ニ於テ其出來事ヨリ生スル損
失ヲ賠償スルコトヲ免カレント欲スルモノハ其出來事ハ船長ノ過失
ニ依リテ生シタルヲ証明セサルヲ得ス且又船長ノ過失及ヒ不正ノ所
業ヲ保證セサルトキニアラサレハ其証ヲ舉グルヲ許サス最モ船ノ路
筋航行又ハ船ヲ變易スルハ任意ノ決定ニ因リテ之レヲ爲ス故ニ不慮

ノコトニ因リテ生シタルモノト見做サ、ルナリ而シテ被保險者ニシテ其不慮ノ事件ニ因リテ已チ得ス之レヲ爲シタルコトヲ証明スルコトアラザレバ保險者ニ於テ其責ニ任セザルナリ。○火災ノ場合ニ於テハ或ハ不慮ノコトニ因リテ生シタルモノト推測スル能ハザルモノトス何トナレバ天災及ヒ敵ノ放火ノ場合ノ外火災ハ必ス船長乗組人又ハ船客若クハ物件固有ノ瑕瑾ニ因リテ生シタルモノトナサベルヲ得ザレハナリト然レトモ本條ニ列記スルハ充分ナルモノトセス何トナレハ顯然タル原因ナクシテ火災ノ生スルコト屢々之レアリ且ツ此ノ場合ニ於テハ火災ハ物件固有ノ瑕瑾ニ因リテ生スルモノトナス能ハス何トナレハ其物件偶然發火ス可キモノタラサルコトアレハナリ。且又第三百五十條ノ他ノ總テノ場合ニ於テハ已チ得ス船ノ路筋航行又ハ般舶ヲ變易スルヲ除クノ外皆意外ニ生シタルモノト見做ス可キモノニ

シテ法律ニ於テハ即チ之レヲ明言ス火災ノ場合ニ於テハ其意外ナルト否トハ法律ニテ之レヲ明言セスト雖トモ又意外ニ生シタルモノト見做サ、ルヲ得サルナリ

(第千三百七十四號) 保險書ニシテ戰時ノ危險ヲ保證セサルモノハ保証ス可キ危險中ニ海賊ノ奪略及ヒ暴行ヲ明記スルナリ何トナレハ是レ戰時ニアラサルモ平時ニ於テアル可キ盜賊ノ所業タレハナリ。○保險書ニハ亦常ニ已チ得ザル寄港ノ場合ヲ記載ス最モ之レヲ記載スト雖トモ爲メニ海上ノ總テノ事故ヲ總轄スル一般ノ文言ト抵觸セサルモノトス是レ止ヲ得ザル寄港ノ場合ヲ記載スルハ其寄港ノ費用及ヒ是レニ由テ生スル費用ハ海上損失ノ如ク能ク取扱フ可キコトヲ知ラシムルカ爲メナリ(以下第千三百八十號參看)

保險書ニテ常ニ保險セサル戰時ノ危險ノコトニ付キテハ(商法典ニ據

レハ保險スルヲ得ルモノトス)

或國ノ命令ニ依レル差留ニ付キテ二三言ヲ陳セサルヲ得ス○第一保險書ニ於テハ差留ノコトヲ戰時ノ危險中ニ記スト雖トモ戰時ニアラザルモ或政府ヨリ其ノ差留ノ命令ヲ降スコトアリ然レトモ此ノ危險ハ戰時ノ危險ノ如ク全ク例外アルモノニシテ保險料ヲ増加セキルガ爲メ保險書ニ於テハ此種ノ危險ヲ保証セサルナリ或國ノ差留ハ船舶ノ略奪ト區別ス可キナリ船舶ヲ差留ムルト雖トモ之ヲ略奪セサルコトアリ其他略奪ニ付キテ種々ノ區別アリ第一ハ單一ナル差留ナリ是レハ一船舶又ハ二三ノ船舶ヲ差留ムルコトナリ第二ハ一船舶ノ差留ナリ是レハ一港内ノ總テノ船舶ヲ差留メ又ハ或國ノ總テノ船舶ヲ差留ムルコトナリ第三ニハ「アンガレー」ナリ是レハ政府ノ運送ヲ爲スガ爲メ船舶ヲ官ニ沒収スルコトナリ○船舶ノ差留メニ因リテ生シタル

總テノ費用ハ保險者ニ於テ之レヲ負擔ス臨時噸稅、碇泊賃、水夫ノ給金、差留中ニ生シタル損失等是レナリ差留中毀損ヲ受ケタル荷物ニ付キテハ其毀損ハ差留ニ因リテ生シタルヤ又ハ物件固有ノ瑕瑾ニ因リテ生シタルカヲ區別セザル可カラズ通常ノ航海ニ於テハ仮令其航海長タリシトキト雖トモ不意ノ時變アラザルニ於テハ荷物ノ毀損セザルコト判然タリシニ其差留中荷物ノ毀損シタルトキハ毀損ハ保險者之レヲ擔當セサルヲ得ス若シ毀損ノ原因曖昧ナルトキハ差留メモ尙ホ其一原因タルヲ以テ保險者ニ於テハ裁判官ノ判定スル價額ノミ其責ニ任セザルヲ得ズ

商業ノ禁止ハ船舶差留メノ反對ナリ何トナレハ商業ノ禁止ヲ以テ船舶ノ入港スルコトヲ妨クレハナリ然レトモ其効果ハ船舶ノ差留メト相同シ即チ航海ノ延長スルコト新タニ危險ノ生スルヲ是レナリ故ニ